

平成30年度

年 報



令和元年9月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

# 目 次

1. 保健学部門の活動	.....	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動:看護学分野	.....	5
2-2. 分野の活動:医用量子線科学分野	.....	9
2-3. 分野の活動:検査技術科学分野	.....	13
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動:看護学分野	.....	15
3-2. 教員の活動:医用量子線科学分野	.....	56
3-3. 教員の活動:検査技術科学分野	.....	82
4. 教員組織および委員会一覧	.....	97

# 1. 保健学部門の活動

## ❖ 保健学部門の活動

### 1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年4月1日	新部門長の就任	保健学部門長に樗木晶子教授が就任した。任期は平成30年4月1日～令和2年3月31日	
平成30年7月	学術交流協定及び学生交流協定の終了	ニューヨーク市立大学ハンター校ハンターヘルプビュー看護学部との学術交流協定及び学生交流協定の終了	保健学部門会議資料
平成30年8月31日	第3期法人評価に係る「研究業績説明書」「現況調査表」の作成	第3期法人評価に向けて保健学部門の「研究業績説明書」および「現況調査表」の作成を行った。	大学評価委員会専門委員会資料
平成30年11月	次期医学研究院長の決定	医学研究院において次期医学研究院長候補者として北園孝成教授を選考した。	医学研究院教授会資料
平成31年1月	新医学研究院長の就任	北園孝成教授が医学研究院長へ就任した。任期は平成31年1月1日～	
平成31年2月～3月	総合研究棟3階教員室の退去	検査技術科学分野 教員室が総合研究棟3階より退去し、基礎B棟へ集約化された。	

### 2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年 4月 4日	学部入学式	新入生150名（看護：75、放射：38、検査：37）が入学した。	学生名簿
平成30年 4月 4日	大学院入学式	修士32名（看護：8、助産学：6、医用量子：13、検査技術：5）、博士9名（看護：7、医療技術：2）が入学した。	学生名簿
平成30年 4月22日	新入生合宿研修	新入生、2年生のリーダーと教員が医系体育館および医系食堂にて研修を行った。	学生委員会 議事録
平成30年 8月23日	修士課程入学試験	46名（看護：6、助産学：14、医用量子：17、検査技術：9）が志願した。	入試実施要領
平成30年 9月7日	就職セミナー（マイナビ）看護	参加：3年生17名 会場：5番講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成30年 9月13日	博士後期課程入学試験	10名（看護：3、医療技術：7）が志願した。	入試実施要領
平成30年 9月20日	保健学部門FD	会場：総合研究棟ITルームおよび105号室 テーマ：「新入試制度QUEB導入に向けて」 内容：入試実施委員会委員長佐々木雅之先生より保健学科入試の変遷と現状について、アドミッションセンター立脇洋介先生より新入試制度QUEBの概要および取組事例等について講演を頂いた。その後教員間で保健学科における一般入試の主体性評価についてグループ討議を行った。（参加人数：50名）	保健学部門FD報告書
平成30年 9月25日	秋期学位記授与式	博士1名（医用量子〔アジア保健学コース〕：1）	学生名簿
平成30年10月 1日	保健学国際コース学生10月入学	修士1名（医用量子〔アジア保健学コース〕：1）	学生名簿

平成30年10月31日	就職セミナー（マイナビ）放射・検査	参加：3年生39名（放射15名、検査24名） 会場：総合研究棟102講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要な選考対策を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成30年11月7日	就職セミナー（マイナビ）放射・検査	参加：3年生42名（放射15名、検査27名） 会場：総合研究棟102講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要な自己分析を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成30年11月14日	就職セミナー（マイナビ）放射・検査	参加：3年生41名（放射15名、検査26名） 会場：総合研究棟102講義室 マイナビから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成31年 1月 19, 20日	大学入試センター試験		学年暦
平成31年1月22日	就職セミナー（インターナショナル・エアアカデミー）放射・検査	参加：3年生58名（放射25名、検査33名） 会場：6番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナー講習を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成31年1月29日	就職セミナー（インターナショナル・エアアカデミー）放射・検査	参加：3年生58名（放射25名、検査33名） 会場：3・4番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要な模擬面接を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成31年 2月 2日	入学者選抜：A0入試Ⅱ〔第2次選抜〕	56名（看護：27、放射：16、検査：13）が受験した。	九大HP入試選抜実施状況
平成31年 2月5, 7日	修士論文発表会	修士2年37名（看護：16、医用量子：13、検査：8）が発表を行った。	
平成31年 2月 25, 26日	入学者選抜：個別学力検査（前期日程）	275名（看護：134、放射：74、検査：67）が志願した。	九大HP入試選抜実施状況
平成31年 3月20日	卒業式・学位記授与式	学士143名（看護：69、放射：39、検査：35） 修士37名（看護：8、助産：8、医用量子：13、検査：8） 博士6名（医療技術：6）	
平成31年 3月22日	就職セミナー（インターナショナル・エアアカデミー）看護	参加：3年生69名 会場：3・4・5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナー講習及び模擬面接を中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録

### 3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年 7月	留学生受入	看護：香港大学から3名、高雄医学大学から2名、マヒドン大学から2名の計7名を15日間受入（うち、タイのマヒドン大学から2名、台湾の高雄医学大学へ1名、計3名はJASSO支援活用）	看護学分野国際交流学生受け入れ報告書 H30年度JASSO海外留学支援制度
平成30年 4月 1日 ～ 平成31年 3月31日	学生派遣	看護：タイのマヒドン大学へ2名、台湾の高雄医学大学へ2名、それぞれ2週間派遣、香港大学へ2名を10日間派遣 量子：マレーシアのマラヤ大学へ1名、台湾国立清華大学へ1名、タイのチュラロンコン大学へ2名それぞれ2週間派遣	H30年度JASSO海外留学支援制度

平成30年8月15日 ～8月22日	学生派遣	看護：修士助産学コース2名 モンゴル助産師会(7日間)	モンゴル母子保健セミナー報告(助産師、2月号2019)
平成30年9月15日 ～9月22日	大学院生派遣	看護：フィンランド オウル大学に博士課程大学院生5名を8日間派遣 研究交流・視察	第13回九州大学保健学国際フォーラム報告書
平成30年11月2日	第13回九州大学保健学国際フォーラム	第1部 特別講演 演者 九州大学留学センター生田博子先生テーマ The Arctic in the Globalized World:Climate Change, Indigenous People, and Medical Care 第2部 Student Meeting 各分野にて海外より講師(Mahidol University、釜山大学、Universiti Malaysia SabahFudan Universityより計6名)を迎え、交流会を開催 「保健学の明日を考える会」の企画により教員/学生の研究成果をポスター展示し発表した。	第13回九州大学保健学国際フォーラム報告書
平成31年1月13日 ～1月15日	マヒドン大学訪問	九州大学国際医療部、九州大学決断科学センターなどの教職員とともに、マヒドン大学を、樗木部門長、地域国際連携推進委員長(橋口)の2名が訪問、視察。国際医療と連携のQRプロジェクトおよびNEEPについての今後の活動についての討議を行った。	2019年マヒドン大学訪問報告書

#### 4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年6月16日	大学院入試説明会	保健学専攻修士課程及び博士後期課程の受験希望者を対象に大学院の概要について説明会を開催した。 参加者：修士課程希望者74名 博士後期課程希望者8名 会場：保健学科講義棟・本館	入試実施委員会議事録
平成30年 7月12日 平成30年 7月25日	高校への出前講義	明善高校(田中延和 助教) 明治学園(栗崎宏憲 講師)	
平成30年 8月 6日	オープンキャンパス	保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象にオープンキャンパスを開催した。 参加者：1092名 全体説明会：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館で展示	学生委員会議事録
平成30年 9月15日	保健学公開講座 第16回	会場：医学部保健学科棟 3階 第5番講義室 テーマ：「広げよう医療と保健の知識 ～今を健康に生きるために～」 講演-1「胎児のころから始まるヒトの健康」諸隈 誠一 教授、 講演-2「最新のX線画像検査」田中 延和 助教 講演-3「超音波検査、何をみてる」安田 洋子 助教  受講者 79名(一般参加者 58名、本学教員 21名)	保健学公開講座プログラム アンケート資料

## 5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年12月11日	教育の質向上支援プログラム (NEEP) 採択	「保健学における国際教育・研究におけるジェミニ・プロジェクトの推進」が採択された。	九大学企第542号 (結果通知)

## 6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年4月 1日	諸隈 誠一 (看護・教授)	採用 (九州大学病院より)	
平成30年4月 1日	水野 晋一 (検査・教授)	採用 (九州大学病院より)	
平成31年3月31日	大喜 雅文 (医用量子線・教授)	定年退職	
平成31年3月31日	栢森 裕三 (検査・教授)	定年退職	
平成31年3月31日	藤本 秀士 (検査・教授)	退職	

## 7. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料
平成31年3月27日	検査・看護	総合研究棟ゼロックス複合機を本館5階へ移設	
平成31年3月	全分野	保健学科本館へPHSアンテナ設置	

## 2. 各分野の活動



## ❖ 看護学分野の活動

### 1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年4月24日 平成30年5月29日 平成30年6月26日 平成30年7月24日 平成30年9月25日 平成30年10月31日 平成30年11月28日 平成30年12月18日 平成31年1月29日 平成31年2月27日 平成31年3月19日	看護学分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

### 2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年4月	学部生（第16期）の入学	担任：橋口暢子教授、川田紀美子准教授、前野有佳里准教授、道面千恵子助教	分野会議議事録
平成31年2月19日	看護学分野FD	テーマ：「看護教育に活かすデザイン思考」とし、芸術工学研究院平井康之教授より、レクチャーをうけ、後半はサブテーマとして、教育の場、看護の場を考えるワークショップを行った。（参加者28名）統合基礎学講座が担当した。	平成30年度看護学分野FD報告書

### 2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年4月23日 平成30年5月28日 平成30年6月25日 平成30年7月23日 平成30年9月18日 平成30年10月22日 平成30年11月19日 平成30年12月18日 平成31年1月29日 平成31年2月18日 平成31年3月18日	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。	実習委員会議事録
平成30年5月11日 平成30年7月13日 平成30年11月9日 平成31年1月11日 平成31年3月8日	看護キャリアセンター会議	九州大学病院で行われる看護学実習および九大病院看護部と看護学分野における人事交流に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に検討した。	看護キャリアセンター会議議事録
平成30年度 通年	臨地実習に関する説明会（九大病院以外）	老年、精神、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成30年9月4日	3校合同九州大学病院臨地実習打ち合わせ会議	九州大学病院で実習予定の他校（福岡女学院、福岡看護大学）と九州大学病院看護部とで、平成31年以降の実習予定について相互に確認、検討を行った。	3校合同会議議事録

平成30年4月～7月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った	実習要項
平成30年6月6日	九州大学病院実習連絡会議	九州大学病院における臨地実習を円滑かつ適正に実施するために、看護学分野の全科目担当者が、看護部および実習に関連する全部署の看護管理者および実習指導者に実習の説明を行った	実習連絡会議議事録
平成30年7月31日	福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に副幹事校として出席した。	福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会議事録
平成30年11月14日	在宅看護学実習指導者連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護学実習に関して、実習施設（訪問看護ステーション）の実習指導者に説明を行った。	実習指導者連絡会議資料

## 2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成31年2月20日	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者について、筆記試験（小論文）と面接試験を行った。	分野会議議事録

## 2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年9月11日	博士後期課程特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成30年9月～11月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
平成30年11月27日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
平成31年2月5日	修士課程看護学特別研究の最終試験	修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。	分野会議議事録
平成31年2月7日	修士課程看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

## 2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年度通年	国家試験学内模擬試験（看護師、保健師）	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。詳細は、以下のとおり。看護師国家試験模試計6回、保健師国家試験模試 計2回	分野会議議事録
平成31年2月	第108回看護師国家試験 第105回保健師国家試験 第102回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験100%、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率であった。	分野会議議事録

### 3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年 7月9日～7月20日	マヒドン大学・高雄 医学大学・香港大学 との国際交流	マヒドン大学・高雄医学大学・香港大学よ り、計7名の留学生を受け入れ、本学学生との 国際交流を図った。	Exchange Program 資料
平成30年 8月27日～9月7日	タイ・マヒドン大学 看護学部との国際交 流	学部3年生2名がタイ・マヒドン大学を訪問 し、Exchange Programに参加した。	Exchange Program 資料
平成30年11月2日	第13回九州大学保健 学国際フォーラム	国際フォーラムでは、高雄医学大学看護学部 Prof.Yajai Sitthimongkolを招致し、 「Current and Educational Challenges for Nursing Thailand」をテーマに特別講義をお 願いした。また、釜山大学より教員2名来校 され、今後の国際交流についての討議を行っ た。	国際フォーラム資 料
平成30年 12月16日～12月18 日	香港大学国際フォー ラム参加	香港大学において開催された第8回国際フォー ラムにco-organizerとして招待され、看護学 分野の教員が参加した。	第8回香港大学国 際フォーラムプロ グラム
平成31年 3月4日～3月15日	高雄医学大学看護学 部との国際交流	学部4年生2名が高雄医学大学看護学部を訪問 し、Exchange Programに参加した。	看護学分野国際WG 委員会議事録
平成31年 3月18日～3月26日	香港大学看護学部と の国際交流	学部2年生2名が香港大学を訪問し、Exchange Programに参加した。	Exchange Program 資料

### 4. 社会連携 1) 人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年通年	九州大学病院の看護 研究コース指導	看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施 講義：中尾久子教授、能登裕子講師、松尾和 枝講師 研究指導：潮みゆき助教、木原深雪助教、酒 井久美子助教、前野里子助教、道面千恵子助 教、松本美晴助教、山口優助教、木村一絵助 教、佐藤洋子助教、福田陽子助教、藤田貴子 助教	看護研究コース資 料
平成30年 5月29日～6月6日	九州大学病院教育担 当者・指導者研修会 (一般、アドバンス)	研修講師：中尾久子教授、藤田君支教授、橋 口暢子教授、青本さとみ講師	九州大学病院教育 担当者指導者研修 資料
平成30年11月28日	九州大学病院の看護 研究コース中間発表 会	講義：中尾久子教授、松尾和枝講師 研究指導：潮みゆき助教、木原深雪助教、酒 井久美子助教、前野里子助教、道面千恵子助 教、松本美晴助教、山口優助教、木村一絵助 教、佐藤洋子助教、福田陽子助教、藤田貴子 助教	看護研究コース資 料
平成31年1月25日	九州大学病院看護師 研修会	クリニカルラダーIIIを目指す看護師のための 研修会：コーチングの基本的スキルを修得 し、看護実践や後輩の指導に適應するために 実施。講師：谷口初美教授	平成30年度院内 「コーチング」資 料
平成31年2月12日	九州大学病院の看護 研究コース成果発表 会	講義：中尾久子教授、松尾和枝講師 研究指導：潮みゆき助教、木原深雪助教、酒 井久美子助教、前野里子助教、道面千恵子助 教、松本美晴助教、山口優助教、木村一絵助 教、佐藤洋子助教、福田陽子助教、藤田貴子 助教	看護研究コース資 料

平成30年4月2日	九州大学病院新採用者合同研修	九州大学病院に新規に採用された看護師を含む医療従事者・事務職約500名に臨床倫理についての講義を行った。講師：中尾久子教授	九州大学病院臨床教育センター資料
平成30年10月1日	九州大学病院職員中途採用者合同研修	九州大学病院に年度途中に採用された看護師を含む医療従事者・事務職約100名に臨床倫理についての講義を行った。講師：中尾久子教授	九州大学病院臨床教育センター資料

#### 4. 社会連携 2) 看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年 8月19日～8月20日	全国保健師教育機関協議会 夏季研修会	公衆衛生看護学の教育内容・方法・評価の方略について、全国の公衆衛生看護を教授する教員が交流し考える機会とする。	全国保健師教育機関協議会夏季研修会資料
平成30年10月23日	全国保健師教育機関協議会 秋季研修会	公衆衛生看護学の教育内容・方法・評価の方略について、全国の公衆衛生看護を教授する教員が交流し考える機会とする。	全国保健師教育機関協議会秋季研修会資料
平成30年 8月23日～8月24日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会および夏季研修会	コアカリキュラムに対する取り組みや保健師教育に関わる情報交換を行った、また、地域包括ケアシステムの構築についての意見交換を行った。	全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会資料
平成30年1月15日	福岡県公衆衛生看護実習指導者合同研修会	福岡県内の公衆衛生看護学実習を指導する自治体保健師および大学教員が実習の質向上を目的とする研修会について、副幹事校として計画し、実施した。	福岡県公衆衛生看護実習指導者合同研修会資料
平成30年 6月9日～6月10日	全国助産師教育協議会定時社員総会および研修会	第9回(通算54回)公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会が、高崎健康福祉大学で開催された。総会および教育課程別の検討会・交流を行った。	全国助産師教育協議会定時社員総会および研修会資料
平成30年 7月12日～7月13日	国立大学助産師教育専任教員会議および研修会(三重大学)	国立大学助産師教育加盟校により、国立大学助産師教育について協議および意見交換を行った。	国立大学助産師教育専任教員会議資料
平成30年8月4日	九州・沖縄地区助産師教育協議会および研修会(鹿児島大学)	九州、沖縄地区の加盟校により全国助産師教育の検討課題および教育、実習の情報交換について協議・意見交換を行った	九州・沖縄地区助産師教育協議会資料
平成30年 10月29日-30日	平成30年度看護学教育ワークショップ	千葉大学において開催された。「自大学の強みや使命を活かすCQI-自大学をとらえなおす・CQIへのエネルギーを得る」をテーマに講演と報告、GWを行った。	分野会議議事録

#### 4. 社会連携 3) 公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年9月15日	第16回九州大学医学部保健学科公開講座講演	地域住民の方を対象に講演会を実施した。テーマ：胎児の頃から始まるヒトの健康 講師：諸隈誠一教授 参加者：79名	公開講座資料

#### 5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

#### 6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年11月1日	福岡県知事賞	母子保健及び家族計画の普及と向上に尽力され地域住民の健康と福祉の増進に寄与した。 受賞：谷口初美教授	

## ❖ 医用量子線科学分野の活動

### 1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年 4月 11日 平成30年 5月2日 平成30年 6月 6日 平成30年 7月 4日 平成30年 9月 5日 平成30年10月3日 平成30年11月7日 平成30年12月11日 平成31年 1月15日 平成31年 2月12日 平成31年 3月6日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

### 2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年 4月4日	学部生(第17期)の 入学	主担任:田中 副担任:納富 オリエンテーションは4月6日	分野会議議事録 学生便覧
平成30年 4月5日	大学院生(第12期)の 入学	オリエンテーション実施	分野会議議事録
平成30年 4月10日 平成30年 6月5日 平成30年 8月 7日 平成30年 10月9日 平成30年 12月11日 平成31年 1月 8日 平成31年 2月 5日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	
平成30年 5月23日	修士および博士課程 中間発表会		
平成30年7月13日 および20日	先端技術科学セミナーの開催	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナープログラム
平成30年 8月27日	学生ソフトボール大会	教員・学生65名が参加した。	
平成30年 9月27日 ～28日	九重研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と分野内教員が参加して、卒業研究と臨地実習に関する研修会を開催した。 会場:九重研修所・九大山の家	
平成30年9月 29日	2018年度医学物理士 認定試験	大学院生7名中3名合格	<a href="http://www.jbmp.org/certification/passers/">http://www.jbmp.org/certification/passers/</a>
平成29年11月10日 ～11日	第13回 九州放射線 医療技術学術大会	学部4年生が参加して講演の聴講を行ない、学部生18名が筆頭発表者として学術研究発表を行った。	第13回 九州放射線医療技術学術大会プログラム
平成30年12月6日 および7日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生39名が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 卒業研究発表会プログラム
平成31年2月7日	修士研究発表会	医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士2年生13名が修士研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 修士研究発表会プログラム
平成30年2月21日	第71回診療放射線技 師国家試験	40名が受験し37名が合格した。	官報

### 3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年12月13-27日	大学院生の海外派遣	JASSO(協定派遣)により、マレーシアのマラヤ大学に、修士大学院生1名を約2週間派遣した。	大学への海外渡航届け
平成30年12月13-15日	留学生のリクルート活動	スーパーグローバル大学創成支援事業により、マレーシアのマラヤ大学で留学生のリクルート活動、及び大学院生に対して講義を行うことで、医学物理に関する教育・研究の意見交換を行った(有村秀孝教授)	スーパーグローバル大学創成支援事業による海外出張報告書
平成31年3月3-5日	留学生のリクルート活動	スーパーグローバル大学創成支援事業により、韓国の東西大学を訪問し、学術協定締結の可能性の調査、交換留学・留学生のリクルート活動、及び学部生に対する講義を通じた、医学物理ならびに放射線技術科学に関する教育・研究の意見交換を行った。(ユンヨンス助教、河窪正照助教)	スーパーグローバル大学創成支援事業による海外出張報告書
平成31年3月26-29日	留学生のリクルート活動	スーパーグローバル大学創成支援事業により、韓国の高麗大保健科学大学を訪問し、交換留学・留学生のリクルート活動、及び学部生及び大学院生に対する講義を通じた、医学物理及び放射線技術科学に関する教育・研究の意見交換および共同研究に関する意見交換を実施した。(有村秀孝教授、ユンヨンス助教)	スーパーグローバル大学創成支援事業による海外出張報告書
平成31年3月10-12日	国際的がんプロフェッショナルの取組みに関する情報収集及び意見交換	「新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン」支援事業により、インドネシアのDeponegoro大学訪問し、国際的がんプロフェッショナルの取組みに関する情報収集及び意見交換を行った。(藤淵准教授、大学院生3名)	<a href="http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/topi/elist/">http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/topi/elist/</a>

### 4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年6月14日	第19回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	神戸にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。(藤淵俊王准教授)	分野会議議事録 会議報告書
平成30年6月15日	第63回全国診療放射線技師教育施設協議会	神戸にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。(藤淵俊王准教授)	開催プログラム
平成30年7月12日	福岡県立明善高等学校における出前講義	福岡県立明善高等学校において、高校生および教員を対象に診療放射線技師の業務内容と九州大学医学部保健学科の広報を行った。(田中延和助教)	

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年4月21日	第7回臨地実習講習会	平成30年4月21日(参加人数77名)を開催した。この講習会は、医療技術向上・実習指導者教育研修プログラムを兼ねる。	<a href="http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/KK/">http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/KK/</a>
平成30年6月24日	第8回臨地実習講習会	平成30年6月24日(参加人数94名)を開催した。この講習会は、医療技術向上・実習指導者教育研修プログラムを兼ねる。	
平成30年7月8日	第9回臨地実習講習会	平成30年7月8日(参加人数101名)を開催した。この講習会は、医療技術向上・実習指導者教育研修プログラムを兼ねる。	
平成30年8月25日	第10回臨地実習講習会	平成30年8月25日(参加人数86名)を開催した。この講習会は、医療技術向上・実習指導者教育研修プログラムを兼ねる。	
平成30年10月26日	第11回臨地実習講習会	平成30年10月26日(参加人数35名)を開催した。この講習会は、医療技術向上・実習指導者教育研修プログラムを兼ねる。	
成26年度から平成30年度	文部科学省が推進する大学改革推進事業のひとつである「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に採択された九州大学の取組「実践能力強化型チーム医療加速プログラム(プロジェクトリーダー杜下淳次, サブリーダー藪内英剛, 藤淵敏王実施委員代表)」の実施	教育機関(大学)と臨床の医療機関が集まって必要な診療放射線技師の教育等を協議する「実践能力強化型チーム医療連絡教育会議」の定期開催を実現した。臨地実習指導者講習会(兼、医療技術向上・実習指導者教育研修プログラム)では、大学教員と臨地実習指導者が専門家による最先端の話題を提供した。この再教育を通じて、大学教員と医療スタッフが最新の医療技術をとともに学び、それらを学生への指導に反映させる仕組みとした。そして臨床で活躍しながら学生の臨地実習にも携わる技師で受講ポイント数を満たした162名の方を臨地実習指導者として認定した。また、平成27年度に鹿児島大学(36名)と山口大学(26名)、平成30年度に福岡大学(48名)と久留米大学(34名)の診療放射線技師に業務拡大に関するシミュレーショントレーニングを実施し、学外者144名と学生149名、合計293名に修了証を発行した。本プロジェクトで実施した新しいシミュレーション実習による各種トレーニングや講義の一部は、国立8大学とその近隣の私立大学の教員そして韓国でも紹介し、新しい時代に必要な技師教育の広報と普及に努めた。	<a href="#">実践能力強化型チーム医療加速プログラムの年度報告書</a>
平成30年4月28, 29日	PHITS講習会	モンテカルロコードPHITSの講習会を日本原子力研究開発機構と共催して実施した。(世話人: 有村秀孝教授、納富昭弘准教授、藤淵俊王准教授)	
平成29年8月	放射線取扱主任者試験第1種国家試験	合格者 3年生10名合格、4年生3名合格、修士課程4名合格	官報

平成31年2月9日	平成30年度第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会	卒後教育として医学物理に関する講演会を開催した。「放射線治療におけるターゲット位置と線量分布精度向上のためのデータ解析手法」京都大学 中村 光宏 先生、「グリオーマの可視化技術の開発～脳腫瘍画像の読影解釈の困難性とそれが治療におよぼす影響について～」大阪大学 木下 学 先生、「がん組織反応に関する放射線健康影響の最新トピックス」電力中央研究所 浜田 信行 先生、3名の講師による講演会で、50名程度が参加した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。	<a href="http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/">http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/</a>
平成31年2月22日	平成30年度第2回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会	卒後教育として医学物理に関する講演会を開催した。「医療AIのための次世代医用画像サイエンス」奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科情報科学領域 大竹 義人 先生	<a href="http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/">http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/</a>
平成31年2月27日	平成30年度第3回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会	卒後教育として医学物理に関する講演会を開催した。「HIMACにおける炭素線治療の概要と関連する放射線防護研究について」量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 米内俊祐 先生	<a href="http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/">http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/</a>

#### 6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料



## ❖ 検査技術科学分野の活動

### 1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年4月25日 平成30年5月23日 平成30年6月27日 平成30年7月25日 平成30年8月22日 平成30年9月26日 平成30年10月31日 平成30年11月28日 平成30年12月26日 平成31年1月23日 平成31年2月27日 平成31年3月27日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成31年3月末	微生物学担当、藤本 先生が退任		保健学部門会議資料
	臨床化学担当、栢森 先生が退任		
	遺伝子担当、水上先 生が退任		
	病理組織担当、藤原 先生が退任		

### 2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年4月	新入生研修	保健学科	分野会議議事録
平成30年5月8日	九大病院検査部との 臨地実習打ち合わせ	平成30年度臨地実習の実施にあたり、九州大学病院検査部長、技師長、実習担当技師の各先生と保健学科検査技術科学分野教員間で、事前の打ち合わせを実施した。	分野会議議事録
平成30年5月9日	九大病院検査部との 臨地実習反省会	九州大学病院検査部部長、技師長をはじめ臨地実習担当の臨床検査技師の先生方と、保健学部門検査技術科学分野教員間で、平成30年度臨地実習の実施状況報告と令和元年度の実施計画について討議した。	分野会議議事録
平成30年9月10日	大学院博士課程・ 修士課程中間発表会	修士課程・博士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表を行った。	分野会議議事録
平成30年12月19日	卒業研究発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
平成30年7月23日 平成30年9月15日 平成30年11月17日 平成31年1月12日	国家試験模擬試験	検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対策として、1回の校内模試と3回の国試業者模試を実施した。	分野会議議事録
平成31年2月14日	修士課程論文審査会	修士課程大学院生の修士論文審査会が行われた。	分野会議議事録
平成31年2月21日	臨床検査技師国家試験		分野会議議事録

平成31年 9月10日	検査技術科学分野FD		分野会議議事録
-------------	------------	--	---------

### 3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年11月2日	国際フォーラム Student Meeting	Student Meetingにおいてマレーシア Universiti Malaysia Sabah(UMS)からDr. DAISUKE MORIを招致し、サバ州における保健医療、特に感染症に関する現状などについて講義を受け、大学院生を中心にディスカッションを行った	Student Meeting 配布資料

### 4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成30年8月6日	オープンキャンパス 実施	高校生、その保護者、高校教員へ対して検査技術科学で行っている実習の一部や研究に関する展示や体験を実施した。具体的には、手指採血した血液を利用した血糖検査のサービス、手洗い効果の判定、寄生虫のホルマリン標本観察、がん細胞の顕微鏡で観察、遺伝子検査で使用する器具の展示、心電図、肺機能検査、超音波検査のデモを実施、その他に臨床検査技師の業務内容についてのDVDの上映、といったものである。さらには、現役学部学生や教員を交えた進学相談コーナーを設置し、受験生や保護者からの様々な問い合わせに応じた。	学生委員会
平成30年8月7日	安田助教：九州大学 医学部保健学科公開 講座講演	地域住民を対象にテーマ「広げよう医療と保健の知識～いまを健康に生きるために～」の講演を実施した。	公開講座資料

### 5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

### 6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

### 3-1. 教員の活動：看護学分野

## 看護学分野

### 《統合基礎看護学》

教授	樗木 晶子
教授	中尾 久子
教授	藤田 君支
教授	橋口 暢子
教授	諸隈 誠一
准教授	濱田 裕子
講師	青本 さとみ
講師	木下 由美子
講師	能登 裕子
講師	松尾 和枝
講師	丸山 マサ美
講師	宮田 潤子
助教	潮 みゆき
助教	木原 深雪
助教	酒井 久美子
助教	道面 千恵子
助教	藤田 紋佳
助教	前野 里子
助教	松本 美晴
助教	山口 優
助教	森口 晴美

### 1. 教育活動

#### 1. 大学院講義

生体情報解析学Ⅰ	樗木	前期
生体情報解析学Ⅱ	樗木	後期
健康支援ケアシステム論Ⅰ	樗木	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	樗木	後期
国際医療システム論	樗木	前期
臨床看護学特論Ⅰ	樗木	通年
臨床看護学特論Ⅱ	樗木	通年
看護組織・マネジメント論	中尾	後期
ヘルスサイエンス論	中尾	前期
臨床看護学特論Ⅰ	中尾	通年
看護学研究方法論Ⅰ	中尾	春学期
臨床看護学特論Ⅱ	中尾	通年
健康支援ケアシステム論Ⅰ	中尾	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	中尾	後期
健康支援ケアシステム論（分担）	藤田（君）	前期
臨床看護学特論Ⅱ（分担）	藤田（君）	前期
臨床看護学特論Ⅰ（分担）	藤田（君）	通年
保健学研究論（分担）	藤田（君）	通年

看護教育方法開発学Ⅰ	橋口	前期
看護学研究方法論Ⅱ（分担）	橋口	夏学期
看護学研究方法論Ⅰ（分担）	橋口	春学期
看護教育論（分担）	橋口	前期
基礎看護学特論Ⅱ（分担）	橋口	後期
基礎看護学特論Ⅰ（分担）	橋口	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ	諸隈	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ	諸隈	前期
病態情報解析学Ⅰ	諸隈	前期
リプロサイエンスⅠ（分担）	諸隈	前期
先端医療論	諸隈	後期
リプロサイエンスⅡ（分担）	諸隈	後期
小児家族看護学	濱田	後期
感性コミュニケーション概論（分担）	濱田	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ	濱田	後期
発達看護学特論Ⅰ	濱田	前期
看護学研究方法論Ⅱ	濱田	前期
生命倫理・遺伝相談カウンセリング論	濱田	冬学期
看護学研究方法論Ⅱ	木下	春学期
基礎看護学特論Ⅱ（分担）	能登	後期
基礎看護学特論Ⅰ（分担）	能登	後期
看護研究方法論Ⅱ（分担）	能登	前期
看護研究方法論Ⅰ（分担）	能登	前期
基礎看護学特論Ⅰ（分担）	松尾	前期
基礎看護学特論Ⅱ（分担）	松尾	後期
医療と生命倫理（分担）	松尾	後期
看護教育論（分担）	松尾	前期
看護組織・マネジメント論（分担）	松尾	後期
生命倫理学	丸山	前期
医療と生命倫理	丸山	後期
リプロサイエンスⅠ（分担）	宮田	前期
発達看護学特論Ⅰ（分担）	宮田	前期
先端医療論（分担）	宮田	前期
周産期の薬理学（分担）	宮田	前期
発達看護学特論Ⅰ	藤田（紋）	前期

## 2. 大学院実験・実習 なし

## 3. 大学院演習

看護学特別研究	樗木	通年
保健学特別研究	樗木	通年
保健学特別研究	中尾	通年
看護学特別研究	中尾	通年
健康支援ケアシステム論Ⅱ（分担）	藤田（君）	後期
看護学特別研究	藤田（君）	通年
保健学特別研究	藤田（君）	通年
保健学特別研究	諸隈	通年
病態情報解析学Ⅱ	諸隈	後期

保健学特別研究	諸隈	通年
ユーザー感性学PT(感性コミュニケーションⅠ)	濱田	前期
看護学特別研究	濱田	通年
特別研究(2)	濱田	通年
特別研究(1)	濱田	後期
母子発達ケアシステム論Ⅱ	濱田	後期
小児・家族コミュニケーション演習	濱田	前期
看護学特別研究	木下	通年
健康支援ケアシステム論Ⅱ	木下	後期
看護教育論(分担)	能登	前期

#### 4. 大学院修士課程修了者

池田彩乃	新卒看護師の精神的健康と生活習慣の変化に関する研究
松田美由紀	中堅看護師のワーク・ライフ・バランスと仕事意欲, 健康関連 QOL との関連
富永美千代	造血細胞移植看護に携わる看護師のとまどい – 再移植患者への関わりを中心に –
田中希実	妊娠中期における初産婦の胎児愛着に影響を及ぼす要因
原田起代枝	ストーマ患者の健康関連 QOL に影響する要因

#### 5. 大学院博士課程修了者 なし

#### 6. 学部講義

人体の構造と機能Ⅰ	樗木	前期
臨床病態学	樗木	後期
医学総論	樗木	後期
国際保健と医療	樗木	後期
医療倫理・看護倫理	中尾	夏学期
老年看護学概論	中尾	夏学期
老年看護学各論Ⅰ	中尾	後期
老年保健・疾病論	中尾	秋学期
老年看護学各論Ⅱ(分担)	中尾	前期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	藤田(君)	前期
成人慢性期看護論Ⅰ(分担)	藤田(君)	春学期
成人看護学概論(分担)	藤田(君)	秋学期
国際保健と医療(分担)	藤田(君)	後期
看護研究Ⅰ(分担)	橋口	春学期
看護研究Ⅱ(分担)	橋口	夏学期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	橋口	前期
看護理論(分担)	橋口	夏学期
看護学概論(分担)	橋口	春学期
看護教育論	橋口	秋学期
看護過程論(分担)	橋口	後期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	橋口	後期
臨床倫理	橋口	後期
臨床医学論Ⅰ	諸隈	後期
臨床病態学	諸隈	後期
母性疾病論	諸隈	春学期
公衆衛生学	諸隈	春学期

人体の構造と機能Ⅱ	諸隈	前期
臨床病態学	諸隈	後期
臨床医学論Ⅰ	諸隈	後期
小児看護学各論Ⅱ	濱田	前期
看護研究Ⅱ	濱田	夏学期
小児看護学各論Ⅰ	濱田	冬学期
小児看護学概論	濱田	秋学期
精神看護学概論	青本	秋学期
精神保健・疾病論（分担）	青本	前期
精神看護学各論	青本	前期
成人慢性期看護論Ⅰ	木下	春学期
がん看護論	木下	夏学期
看護研究Ⅱ	木下	夏学期
成人慢性期看護論Ⅱ	木下	前期
成人急性期看護論Ⅱ（分担）	木下	前期
救急蘇生学	木下	後期
看護過程論（分担）	能登	後期
看護理論（分担）	能登	前期
看護研究Ⅰ（分担）	能登	前期
基礎看護技術学Ⅰ（分担）	能登	前期
基礎看護技術学Ⅱ（分担）	能登	後期
看護学概論（分担）	松尾	前期
看護過程論（分担）	松尾	後期
基礎看護技術学Ⅰ（分担）	松尾	前期
基礎看護技術学Ⅱ（分担）	松尾	後期
災害とチーム医療論論（分担）	松尾	後期
バイオエシックス入門	丸山	春学期
バイオエシックス入門	丸山	夏学期
医療系統合教育「インフォームド・コンセント」	丸山	夏学期
医療系統合教育「薬害」	丸山	秋学期
医療倫理学Ⅰ	丸山	秋学期
医療倫理学Ⅱ	丸山	冬学期
コミュニケーション論	丸山	冬学期
課題提示科目 Life	丸山	後期
基幹教育セミナー	丸山	夏学期
卒業研究	丸山	通年
医学総論Ⅱ（分担）	宮田	後期
臨床医学論Ⅱ	宮田	後期
臨床病態学（分担）	宮田	後期
医療系統合教育科目「漢方医薬学」（分担）	宮田	前期
人体の構造と機能Ⅱ（分担）	宮田	前期
小児疾病論	宮田	前期
卒業研究	宮田	通年
成人急性期看護論Ⅱ	潮	前期
成人急性期看護論Ⅰ	潮	前期
看護倫理・ターミナルケア論（分担）	潮	後期
精神看護学各論（分担）	木原	前期
精神保健・疾病論（分担）	木原	前期

卒業研究	木原	通年
看護研究Ⅱ	木原	夏学期
老年看護学概論（分担）	酒井	夏学期
老年保健・疾病論（分担）	酒井	後期
老年看護学各論Ⅰ（分担）	酒井	後期
老年看護学各論Ⅱ	酒井	前期
医療安全論（分担）	道面	秋学期
看護過程論（分担）	道面	後期
基礎看護技術学Ⅱ（分担）	道面	後期
基礎看護技術学Ⅰ（分担）	道面	前期
看護理論（分担）	道面	夏学期
看護学概論（分担）	道面	春学期
小児看護学各論Ⅱ	藤田（紋）	前期
成人看護学概論（分担）	前野（里）	前期
成人慢性期看護論Ⅰ（分担）	前野（里）	前期
成人慢性期看護論Ⅱ（分担）	前野（里）	前期
卒業研究	前野（里）	通年
医療安全論（分担）	松本	秋学期
看護過程論（分担）	松本	後期
基礎看護技術学Ⅰ（分担）	松本	前期
基礎看護技術学Ⅱ（分担）	松本	後期
救急蘇生学（分担）	山口	秋学期
成人急性期看護論Ⅰ（分担）	山口	春学期
成人急性期看護論Ⅱ（分担）	山口	前期
災害とチーム医療論（分担）	山口	後期

## 7. 学部の実験・実習・演習

老年看護学実習（分担）	中尾	前期
総合実習（分担）	中尾	前期
看護研究Ⅲ（分担）	中尾	通年
看護研究Ⅳ（分担）	中尾	通年
総合実習（分担）	藤田（君）	前期
成人老年看護学実習Ⅰ（分担）	藤田（君）	後期
成人老年看護学実習Ⅱ（分担）	藤田（君）	後期
老年看護学実習（分担）	藤田（君）	前期
卒業研究（分担）	藤田（君）	通年
看護研究Ⅲ（分担）	藤田（君）	通年
看護研究Ⅳ	藤田（君）	通年
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	橋口	前期
基礎看護学実習Ⅱ（分担）	橋口	後期
卒業研究（分担）	橋口	通年
総合実習（分担）	橋口	前期
看護研究Ⅲ（分担）	橋口	通年
看護研究Ⅳアドバンス（分担）	橋口	後期
母性看護学実習（分担）	諸隈	後期
小児看護学実習Ⅰ	濱田	前期
小児看護学実習Ⅱ	濱田	後期
看護研究Ⅲ	濱田	通年



総合実習 (分担)	濱田	前期
総合実習 (分担)	青本	前期
卒業研究 (分担)	青本	通年
精神看護学実習 (分担)	青本	後期
精神看護学実習 (分担)	青本	前期
成人老年看護学実習Ⅰ (分担)	木下	後期
成人老年看護学実習Ⅱ (分担)	木下	後期
卒業研究 (分担)	木下	通年
看護研究Ⅲ (分担)	木下	通年
総合実習 (分担)	能登	前期
基礎看護学実習Ⅱ (分担)	能登	後期
基礎看護学実習Ⅰ (分担)	能登	前期
卒業研究 (分担)	能登	通年
看護研究Ⅲ (分担)	能登	通年
基礎看護学実習Ⅰ (分担)	松尾	前期
基礎看護学実習Ⅱ (分担)	松尾	後期
看護研究Ⅲ (分担)	松尾	後期
総合実習 (分担)	松尾	前期
卒業研究 (分担)	松尾	通年
コミュニケーション論	丸山	冬学期
課題提示科目 Life	丸山	後期
基幹教育セミナー	丸山	夏学期
小児看護学演習 (分担)	宮田	後期
看護研究Ⅲ (分担)	潮	通年
卒業研究 (分担)	潮	通年
総合実習 (分担)	潮	通年
成人老年看護学実習Ⅰ (分担)	潮	後期
成人老年看護学実習Ⅱ	潮	後期
老年看護学実習 (分担)	潮	前期
精神看護学実習 (分担)	木原	前期
総合実習 (分担)	酒井	前期
成人・老年看護学実習Ⅱ (分担)	酒井	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	酒井	後期
看護研究Ⅲ (分担)	酒井	通年
卒業研究 (分担)	酒井	分担
基礎看護学実習Ⅰ (分担)	道面	前期
基礎看護学実習Ⅱ (分担)	道面	後期
総合実習 (分担)	道面	前期
卒業研究 (分担)	道面	通年
看護研究Ⅲ (分担)	道面	通年
総合実習 (分担)	藤田 (紋)	前期
卒業研究 (分担)	藤田 (紋)	通年
看護研究Ⅱ (分担)	藤田 (紋)	前期
総合実習 (分担)	前野 (里)	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	前野 (里)	後期
成人慢性期看護論Ⅱ (分担)	前野 (里)	前期
成人老年看護学実習Ⅱ (分担)	前野 (里)	後期
卒業研究 (分担)	前野 (里)	通年

基礎看護学実習Ⅱ（分担）	松本	後期
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	松本	前期
総合実習（分担）	松本	前期
卒業研究（分担）	松本	通年
看護研究Ⅲ（分担）	松本	通年
卒業研究（分担）	山口	通年
成人・老年看護学実習Ⅱ（分担）	山口	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ（分担）	山口	後期
老年看護学実習（分担）	山口	前期
総合実習（分担）	山口	前期
看護研究Ⅲ（分担）	山口	通年
卒業研究（分担）	森口	後期
小児看護学実習Ⅰ（分担）	森口	前期
小児看護学実習Ⅱ（分担）	森口	後期

## 8. 卒業論文作成者

朝野玲菜	ダウン症者における睡眠時無呼吸関連症状とパルスオキシメータ指標の関連、および看護支援の検討
弘中愛美	循環器疾患を伴う睡眠呼吸障害患者の持続陽圧呼吸(CPAP)治療アドヒアランス向上にむけての看護支援
相島功治	終末期ケアにおいてチャプレンの果たす役割と看護師のチャプレンとの連携の在り方について
東歩美	看護師の二交代制勤務における仮眠が及ぼす影響
青柳啓太	慢性心不全患者に対する服薬アラームを用いた介入研究-スマートフォンアプリの服薬厳守への有効性-
伊勢本なつか	認知症高齢者の家族介護者における介護負担を軽減する介入について
相浦美華	術前不安に対する看護介入の実態と不安軽減に関する文献検討
近藤志織	認知症高齢者の転倒予防に対する看護職・介護職の思い
佐藤里圭子	音楽が及ぼす生理的効果に関する文献検討
古庄未来	不妊治療後妊婦の心理的特徴についての文献研究
三原優希	正期産児における早期皮膚接触の効果に関する文献検討
仮屋龍太	小児がん患児の親の意思決定に関する課題—親の思いの分析から—
畠山敬伍	児と死別した親の悲嘆と支援—流産を経験した親に焦点をあてて—
松田瑞季	自閉症スペクトラム障害児を育てる母親の思い
黒田咲希	ADHD 児の自尊感情の回復に対するトークンエコノミーの効果
蓑毛達也	精神科病棟における身体拘束廃止の取り組みによる拘束実施率の違い
ト部里彩	緩和ケアにおける、がん性疼痛管理に対して看護師が抱く困難感についての文献検討
田中 桜	認知症高齢者の介護を行う心理状態についての文献検討—家族役割による比較—
渡邊倫子	転移・再発がん患者における長期的心理過程についての文献検討—『治療継続期』『再発・転移期』『エンドオブライフ期』の推移—
寺島柚葉	糖尿病患者の食事療法への看護についての文献検討—食事療法における阻害因子・促進因子—
葛城千紘	タクティールケアの身体的・心理的効果タクティールケアの身体的・心理的効果
大海健也	地域で療養している高齢者の QOL に関わる因子
福田比奈子	呼吸管理を必要とする在宅療養者の災害支援
山口亜希子	在宅で生活する高齢者の口腔ケアに関する現状と課題
宗方 葵	看護学臨地実習における指導者・教員の効果的な関わりの探索

宗 孝将	アルツハイマー型認知症患者の感情に関する文献研究
福永真衣子	痛みの概念の検討を目的とした文献研究
三浦佳代子	「看護実践能力」の概念の検討-看護の知を手掛りに-
橋本純子	看護におけるコミュニケーションに関する文献研究-患者・看護師間の信頼関係における傾聴の一考察-
松添和希	看護における看護師の感受性に関する文献研究
山口みのり	終末期看護に関する文献研究-看護師の共感に焦点をあてて-
前田有希菜	1型糖尿病学童期患者における新たな自己管理方法に対する支援
水之江杏樹	総排泄腔遺残症を抱える子どもの小児期から成人期の移行期医療支援
小川幸菜	集中治療を受ける術後患者の回復意欲を高める要因と看護支援の検討
田中香	手術を受ける小児へのプレパレーション効果に関する文献検討
有田智美	精神疾患を持つ患者の家族に対する退院支援のあり方の検討
博田陽和	身体疾患を併発した精神疾患患者を取り巻く現状と課題の検討
谷口舞佳	バリデーションの効果とその関わり方における文献検討
平田能子	認知症高齢者の家族介護者の性別別・続柄別にみる介護特性
久賀谷友絵	看護師が感じる認知症看護における困難とその対応
土橋涼央	高齢透析患者の療養生活の体験に関する文献検討
石田優生	集中治療を受ける子どもの親の思いと体験-PICUに緊急入室後の家族の体験に焦点をあてて-
前菌布乃佳	乳幼児期に生体肝移植を受けた思春期の子どもとその家族に対する移行期支援
永尾いぶき	2型糖尿病患者の睡眠障害の実態とその支援
長崎万由子	筋萎縮性側索硬化症患者の心理的变化とその支援
本山永里子	手術を受ける患者に向けた術前オリエンテーションの現状と課題
眞弓春菜	救急の現場で働く看護師のストレス要因とその対策

9. 研究生 なし

## 2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

1	漢方看護教育	樗木
2	ダウン症者における睡眠時無呼吸や睡眠障害の疫学研究及び介入研究	樗木
3	先天性心疾患の患者教育とトータルライフケアをめざした医療情報集約システムの構築	樗木
4	医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ (がん医療, 看護)	中尾
5	高齢者特有の症状と QOL に関する研究	中尾
6	ストレスおよび生活行動の関連性, 看護者の well-being	中尾
7	高齢者の身体拘束とQOL	中尾
8	人工股・膝関節全置換術患者における身体活動量	藤田 (君)
9	認知症高齢者の介護者におけるエンパワーメント	藤田 (君)
10	医薬品添付文書の活用における実態とその要因	橋口
11	長時間立位における下肢疲労, むくみ発生に関する研究	橋口

12	基礎的看護ケア(身体の清潔の援助)が及ぼす生理・心理的影響に関する研究	橋口
13	療養環境における温熱的快適性に関する研究	橋口
14	高齢者における家庭内事故(溺死, 入浴事故)に関する研究	橋口
15	高齢者や心疾患患者における体温調節反応および皮膚温度感受性に関する研究	橋口
16	母体の生活習慣が妊娠合併症, 胎児および生後発達に及ぼす影響に関する研究	諸隈
17	胎児行動学	諸隈
18	ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成	濱田
19	障がい児と家族の暮しを支える小児訪問看護ステーションに関する研究	濱田
20	外来通院中の精神障がい者を抱えた家族のリカバリーの実態とその構造	青本
21	アジア系アメリカ人のがんスクリーニングの予測因子に関する研究	木下
22	化学放射線療法を受ける食道がん患者のQOL向上と治療の完遂を目指した後ろ向き・前向き研究	木下
23	集学的治療を受ける直腸がん患者のQOL向上に向けた外来看護システムの構築	木下
24	高齢者の家庭内転倒リスクを考慮したウェアラブル端末の開発	能登
25	看護職のキャリアディベロップメントに向けた支援の検討	松尾
26	認知症と視覚情報との関連についての研究	松尾
27	緑内障患者の点眼アドヒアランス向上に関する研究	松尾
28	コミュニケーション教育・研究－看護のためのマイクロカウンセリング－	丸山
29	古医書・貴重書の書誌的研究-史料を活用した倫理教育・研究	丸山
30	医療倫理学教育・研究－死生観の国際比較, Informed consent－	丸山
31	生殖補助医療における生命倫理研究	丸山
32	総排泄腔異常に伴う性機能障害に対する継続的ケアシステムの構築	宮田
33	総排泄腔遺残症患者の継続的・包括的支援の研究	宮田
34	発達障害児の排便障害に対する漢方治療の有効性に関する研究	宮田
35	在宅脳卒中患者の身体活動量に関する研究	潮
36	アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラム開発の検討	木原
37	高齢者の口腔ケア	酒井
38	看護師の退院調整能力と看護実践能力に関する調査	酒井
39	患者教育における看護師のピリーフ	道面
40	小児看護におけるケアの効率化に関する研究	藤田 (紋)
41	肝移植後の子どもと家族の QOL に関する研究	藤田 (紋)
42	2型糖尿病高齢者の身体活動と睡眠に関する研究	前野 (里)
43	2型糖尿病患者の身体活動に関する研究	前野 (里)
44	静脈確保技術における熟練看護師の暗黙知の可視化	松本
45	看護学実習に関する研究	松本
46	急変時のチームビルディングスキル向上のための机上シミュレーション	山口
47	救急看護コンピテンシーの評価尺度の開発と検証	山口
48	都市的環境と子育て支援に関する研究	森口

## 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

樗木 晶子

- 「基盤研究 (B)」高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築, 樗木 (代表).
- 「基盤研究 (B)」高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成, 樗木 (分担).
- 「基盤研究 (C)」胃切除術後患者への ICT を活用した自己管理支援プログラムの構築と有効性の検証, 樗木 (分担).
- 「基盤研究 (C)」ホームモニタリングによるダウン症児の特異な睡眠体位と睡眠呼吸障害の関連の検討, 樗木 (分担)

- 「基盤研究 (C)」睡眠を妨げない転倒予防のための照明の開発, 樗木 (分担).
- 中尾 久子
- 「基盤研究 (B)」高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築, 中尾 (分担).
  - 「基盤研究 (C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発, 中尾 (代表).
  - 「基盤研究 (C)」肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 中尾(分担).
  - 「基盤研究 (C)」災害救援活動に従事した看護師のストレスコーピング及び長期的適応プロセスの構造化., 中尾 (分担).
  - 「基盤研究 (C)」情報提供を基盤とした術後せん妄に対する看護師と家族の協働的ケアプログラムの開発, 中尾 (分担).
- 藤田 君支
- 「基盤研究 (C)」認知症ワーキングケアラーのエンパワメントを高める教育支援プログラムの開発と検証, 藤田 (君) (分担).
  - 「挑戦的研究 (萌芽)」肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 藤田 (君) (分担).
  - 「基盤研究 (C)」人工股関節患者のライフスタイルの違いや豪雪寒冷地による影響と対策ツールの開発研究, 藤田 (君) (分担).
  - 「基盤研究 (C)」アジアの人工股関節患者の座式生活における QOL データベースの構築, 藤田 (君) (代表).
- 橋口 暢子
- 基盤研究 (B)」高齢者の入浴事故防止に向けた生活指導ガイドラインの作成, 橋口 (代表).
  - 「基盤研究 (C)」睡眠を妨げない転倒予防のための照明の開発, 橋口 (分担).
- 諸隈 誠一
- 「基盤研究 (B)」微小粒子状物質 (PM2.5) とその成分曝露がもたらす妊婦・胎児の健康影響評価, 諸隈 (分担).
  - 「基盤研究 (B)」 「育てにくさ」と胎児行動との関連に関する研究, 諸隈 (代表).
  - 「挑戦的萌芽研究」胎児期睡眠形成と子どもの睡眠障害との関連に関する研究, 諸隈 (代表).
  - 「基盤研究 (A)」 『機能リズム障害としての自閉症』仮説検証, 諸隈 (分担).
- 濱田 裕子
- 「基盤研究 ビジュアルナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成, 濱田 (代表).
- 青本 さとみ
- 「基盤研究 (C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発, 青本, (分担).
- 木下 由美子
- 「基盤研究 (B)」高機能データベースを用いた先天性心疾患患者のための包括的看護支援システムの構築, 木下 (分担).
  - 「基盤研究 (C)」糖尿病を併存する消化器がん患者の自己報告アウトカム評価の基盤構築, 木下 (分担).
  - 「基盤研究 (C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発, 木下 (分担).
  - 「基盤研究 (C)」経口抗がん剤治療を行う就労がん患者の服薬アドヒアランス支援プログラムの開発, 木下 (分担).
  - 「基盤研究 (C)」肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 木下 (分担).
  - 「基盤研究 (C)」集学的治療を受ける直腸がん患者の外来における看護支援モデルの構築 Construction of Nursing Support Model in Outpatient Department for Patients with Rectal Cancer who Receive Multidisciplinary Therapy, 木下 (代表).
- 能登 裕子
- 「挑戦的萌芽研究」高齢者の特性と家庭内転倒リスクを考慮した衣服型ウェアラブル端末の開発と検証, 能登 (代表).
- 潮 みゆき
- 「若手研究 (B)」脳梗塞再発予防のための身体活動量指標の確立に向けたデータベースの構築, 潮 (代表).
  - 「挑戦的萌芽研究」肝移植レシピエントに対する術後の身体活動基準の確立に向けた基礎的研究, 潮 (分担).
  - 「基盤研究 (C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発, 潮 (分担).
- 木原 深雪
- 「基盤研究 (C)」アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラム開発の検討, 木原 (代表).
- 酒井 久美子
- 「基盤研究 (C)」病院看護師の倫理研修の企画と評価システムの開発, 酒井 (分担).

道面 千恵子

- 「基盤研究 (C)」患者教育における看護師のピラー尺度の開発, 道面 (代表).
- 「基盤研究 (C)」看護教員を対象とした協働参加型授業改善プログラムの開発, 道面 (分担).
- 「基盤研究 (C)」看護教員コンピテンシーモデルの開発と検証, 道面(分担).

藤田 紋佳

- 「基盤研究 (C)」ビジュアル・ナラティブを用いた同期的対話によるグリーフケアの生成, 藤田 (紋) (分担).
- 「基盤研究 (C)」肝移植後の学童後期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築, 藤田 (紋) (代表).

前野 里子

- 「基盤研究 (C)」糖尿病をもつ高齢者における睡眠と身体活動量に関する研究, 前野 (里) (代表).

山口 優

- 「若手研究」救急看護コンピテンシーの評価尺度の開発と検証, 山口 (代表).

### 3. 学内研究経費の受入れ

- 「研究補助者雇用支援 (短期)」研究補助者雇用支援 (短期), 宮田 (代表).
- 「出産・育児復帰者支援」出産・育児復帰者支援, 宮田 (代表)
- 「研究補助者雇用支援 (短期)」脳卒中再発予防のための看護支援, 潮 (代表).
- 「研究補助者雇用支援 (短期)」研究補助者雇用支援. 藤田 (紋) (代表).
- 「研究補助者雇用支援 (短期)」研究補助者雇用支援 (短期), 松本 (代表).

### 4. 奨学寄付金の受入れ なし

### 5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「富士ゼロックス 心疾患診断への応用に向けた生体センサの研究」, 樗木.
- 「株式会社ノーリツ 寒冷環境における入浴行為による身体負担と血圧変動及び心理反応についての研究」, 橋口.
- 「理化学研究所 医科学イノベーション推進プログラム・健康医療データ多層統合プラットフォーム推進グループ・発達障害データ多層統合ユニット」, 諸隈.

### 6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

### 7. 研究成果の報告

#### a. 学会誌・学術専門誌

- Nagamatsu Yuki, Satoh M, Toyofuku K, Miyazono M, Chishaki A.: Medication Adherence among Colorectal Cancer Patients Receiving postoperative adjuvant Chemotherapy: a longitudinal Study, *福岡医学雑誌*, 110, 1, 24 - 38, 2019年03月. (査読あり)
- Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Susumu Takase, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Predictive value of the induction test with atrial burst pacing with regard to long-term recurrence after ablation in persistent atrial fibrillation. *Journal of Arrhythmia*: 35:223-229, 2019年1月
- 永吉絹子, 樗木晶子, 武富貴久子, 藤野ユリ子, 中村雅史, 赤司浩一, 石橋達郎: 九州大学病院における全医療人の働きやすい環境を目指したキャリア支援策, *日本医師会雑誌*, 2018年12月. (査読あり)
- 姜旻廷, 宮園真美, 橋口暢子, 金岡麻希, 木下由美子, 藤田香奈枝, 森山宣子, 澤渡浩之, 岩谷友子, 濱田正美, 宮田潤子, 貝沼茂三郎, 樗木晶子: 漢方医学セミナーを受講した臨床看護師の健康増進行動変化に関連する要因, *国際ナショナル Nursing Care research*, 17, 31 - 40, 2018年04月. (査読あり)
- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 樗木晶子: 健常高齢女性の冷え症状, 睡眠, および血管内皮機能に対する下肢加温2ヶ月連続使用の効果, *日本循環器病予防学会誌*, 53, 2, 114 - 122, 2018年05月.

- Inoue H, Kodani E, Atarashi H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H; (Chishaki A) J-RHYTHM Registry Investigators: Renal dysfunction affects anticoagulation control with warfarin and outcomes in Japanese elderly patients with non-valvular atrial fibrillation., *Circ J.*, 82, 9, 2277 – 2283, 2018 年 08 月. (査読あり)
- Inoue H, Kodani E, Atarashi H, Okumura K, Yamashita T, Okuyama Y, Origasa H; (Chishaki A) J-RHYTHM Registry Investigators: Time in therapeutic range and disease outcomes in elderly Japanese patients with nonvalvular atrial fibrillation, , 82, 10, 2510 – 2517, 2018 年 08 月. (査読あり)
- Kodani E, Atarashi H, Inoue H, Okumura K, Yamashita T, Origasa H, (Chishaki A) on behalf of the J-RHYTHM Registry Investigators: Impact of creatine clearance on outcome in patients with non-valvular atrial fibrillation: a subanalysis of the J-RHYTHM Registry., *European Heart Journal-Quality of care and Clinical Outcome*, 4, 1, 59 – 68, 2018 年 10 月. (査読あり)
- 新裕紀子, 中尾久子: 経験 5 年以上の外科系看護師におけるポジティブ感情の変化の構造, *日本ヒューマン・ケア研究(日本ヒューマン・ケア心理学会)*, 19, 1, 23 – 33, 2018 年 12 月. (査読あり)
- Kiyoko Makimoto, Kimie Fujita, Rie Konno: Experience of patients following lower limb joint replacement: a systematic review protocol, *JBI database of systematic reviews and implementation reports*, , 2018 年 04 月. (査読あり)
- 上杉裕子, 藤田君支: 人工関節置換術後患者の 1 年後の QOL 日本の日常生活環境との関連, *日本運動器看護学会誌*, , 2018 年 05 月. (査読あり)
- Fujita K, Kang HS, Mawatari M, Makimoto K, Lee M, Hwang J.: Quality of life, effects on Asian Lifestyle, and perceived satisfaction after total hip arthroplasty in Japan and Korea., *International Journal of Orthopaedic and Trauma Nursing*, , 2018 年 09 月. (査読あり)
- 田中るみ 藤田君支 前野里子: 糖尿病患者の中強度以上の身体活動量一介入研究に関する文献レビュー, *日本糖尿病教育・看護学会誌*, 22, 2, 77 – 85, 2018 年 09 月. (査読あり)
- Tsuji M, Koriyama C, Ishihara Y, Yamamoto M, Yamamoto-Hanada K, Kanatani K, Yu Ait Bamai, Onishi K, Senju A, Araki S, Shibata E, Morokuma S, Sanefuji M, Kitazawa H, Saito M, Umezawa M, Onoda A, Kusuhara K, Tanaka R, Kawamoto T, the Japan Environment & Children’s Study Group: Associations between metal levels in whole blood and IgE concentrations in pregnant women, based on data from the Japan Environment and Children’s Study., *J Epidemiol.*, , 2019 年 01 月. (査読あり)
- Seiichi Morokuma, Takehiro Michikawa, Kiyoko Kato, Masafumi Sanefuji, Eiji Shibata, Mayumi Tsuji, Ayako Senju, Toshihiro Kawamoto, Shoichi Ohga, Koichi Kusuhara: Non-reassuring foetal status and neonatal irritability in the Japan Environment and Children’s Study A cohort study, *Scientific Reports*, 8, 1, – , 2018 年 12 月. (査読あり)
- Tanaka R, Tsuji M, Asakura K, Senju A, Shibata E, Kusuhara K, Morokuma S, Sanefuji M, Kawamoto T; Japan Environment and Children’s Study Group: Variation in Men’s Dietary Intake Between Occupations, Based on Data From the Japan Environment and Children’s Study, *Am J Mens Health*, 2018 Jun 1:1557988318780847, 2018 年 06 月. (査読あり)
- Tsuji M, Shibata E, Morokuma S, Tanaka R, Senju A, Araki S, Sanefuji M, Koriyama C, Yamamoto M, Ishihara Y, Kusuhara K, Kawamoto T; Japan Environment & Children’s Study Group: The association between whole blood concentrations of heavy metals in pregnant women and premature births: The Japan Environment and Children’s Study (JECS), *Environ Res*, 2018 Jun 28;166:562–569, 2018 年 06 月. (査読あり)
- Suga R, Tsuji M, Tanaka R, Shibata E, Tanaka M, Senju A, Araki S, Morokuma S, Sanefuji M, Oda M, Mise N, Baba Y, Hayama-Terada M, Kusuhara K, Mitsubuchi H, Katoh T, Kawamoto T: Factors associated with occupation changes after pregnancy/delivery: result from Japan Environment & Children’s pilot study, *BMC Womens Health*, 2018 Jun 5;18(1):86, 2018 年 06 月. (査読あり)
- Morokuma S, Maehara K, Okawa H, Nakauchi S, Kato K. Mine Y, Nakauchi S: Simplified wide-range ultrasonic measurements using the sensor three-dimensional system, *Journal of Medical Ultrasound*, Vol. 26, No. 2, April–June 2018, pp. 100–102, 2018 年 04 月. (査読あり)
- Morisaki N, Nagata C, Yasuo S, Morokuma S, Kato K, Sanefuji M, Shibata E, Tsuji M, Senju A, Kawamoto T, Ohga S, Kusuhara K; Japan Environment and Children’s

Study Group: Optimal protein intake during pregnancy for reducing the risk of fetal growth restriction: the Japan Environment and Children's Study. *Br J Nutr.* 120(12):1432-1440, 2018年12月(査読あり)

- Kinoshita Y, Izukura R, Miyazono M, Nagai S, Oki E, Kanaoka M, Nakao H, Chishaki A, Mibu R: Effect of age factors on health-related quality of life in patients with lower rectal cancer after sphincter-saving surgery: A 1-year longitudinal study, *Archives of Gerontology and Geriatrics*, 79, -, - 185-191, 2018年09月. (査読あり)
- Yumiko Kinoshita, Rieko Izukura, Mami Miyazono, Shuntaro Nagai, Eiji Oki, Maki Kanaoka, Hisako Nakao, Akiko Chishaki, Ryuichi Mibu: Effect of age factors on health-related quality of life in patients with lower rectal cancer after sphincter-saving surgery: A 1-year longitudinal study, *Archives of Gerontology and Geriatrics*, 79, , 185 - 191, 2018年09月. (査読あり)
- 福元清剛, 石内愛美, 中島弘貴, 能登裕子, 佐土原道人, 福田修, 村木里志: 日本人男女の下肢筋横断面積の加齢変化, *日本生理人類学会誌*, 23, 3, 87 - 95, 2018年08月. (査読あり)
- Miyuki Ushio, Maki Kanaoka, Yumiko Kinoshita, Satoko Maeno, Kimie Fujita: Moderate-to-vigorous physical activity and the risk of stroke recurrence in patients with a history of minor ischemic stroke in Japan: a retrospective analysis, *Topics in Stroke Rehabilitation*, 25, 8, 591 - 598, 2018年10月. (査読あり)
- 前野里子, 田渕康子, 松永由理子, 藤田君支: 認知機能障害のある高齢者における夜間睡眠の実態とADL及びBPSDとの関連, *老年看護学会誌*, 22, 2, 31-39, 2018年05月. (査読あり)

#### b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Keiko Yamasaki, Hiroyuki Sawatari, Nao Konagai, Chizuko Kamiya, Jun Yoshimatsu, Jun Muneuchi, Mamie Watanabe, Terunobu Fukuda, Atsushi Mizuno, Ichiro Sakamoto, Kenichiro Yamamura, Tomoko Ohkusa, Hiroyuki Tsutsui, Koichiro Niwa, Akiko Chishaki: Predictors of cardiovascular events in pregnant women with congenital heart disease, ESC2018, 2018年08月26日, Germany.
- Syunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Circumferential conduction delay within the pulmonary veins (PV) rather than the PV-LA conduction delay has a key role in the onset of atrial fibrillation - A quantitative analysis., ESC2018, 2018年08月27日, Germany.
- Min-jeong Kang, Ichiro Sakamoto, Hiroyuki Sawatari, Tomoaki Kouho, Keiko Yamasaki, Shintaro Umemoto, Kohtarō Abe, Kenichi Hiasa, Tomomi Ide, Mari Nishizaka, Kenichiro Yamamura, Yoshihiko Kodama, Shiro Ishikawa, Ryoji Shinbara, Hiroaki Chishaki, Hiroyuki Tsutsui, Akiko Chishaki: The Best Abstract (Junior) Award Competition "Serial electrocardiographic changes after transcatheter closure of atrial septal defects", ICE 国際心電学会, 2018年06月29日, Japan.
- Anita Rahmawati, Akiko Chishaki, Mami Miyazono, Hiroyuki Sawatari, Nobuko Hashiguchi, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Mori Nakai, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Yasushi Mukai, Shujiro Inoue, Hiroaki Chishaki: Sex disparities on psychological responses among implantable cardioverter defibrillator patients with underlying heart diseases, ICE 国際心電学会, 2018年06月29日, Japan.
- Yasuko Yoshioka, Hiroyuki Sawatari, Shinichi Ando, Nobuko Moriyama, Akiko Chishaki, Anita Rahmawati, Mari Nishizaki, Hiromi Kuroda, : Age Dependent Risk Factors of Sleep-disordered Breathing School Age to Adult Down Syndrome People., 国際小児睡眠学会, 2018年04月26日, France.
- Matsukiyo Yumiko, Nakao Hisako, Tategaki Yuko: Cognitive Evaluation of Stress in Disaster Relief Activities of Disaster Relief Nurses and Stress-Coping, 5th Research conference of World Society of Disaster Nursing, 2018年10月18日, Germany.
- Kiyoko Makimoto, Kimie Fujita, Rie Konno: Meta-aggregation of the experience patients with the joint replacement in the era of rapidly shortening length of stay, 7th Global Congress for Qualitative Health Research held in Seoul, 2018年06月, Japan.
- Tae Gondo, Tae gondo, Kimie Fujita, Mika Nagafuti, Tukasa Gondo, Daisaku Ikeda: SURGICAL SITE INFECTION GENERATION FACTOR OF HEAD AND NECK CANCER PATIENTS, APCCMI cum IICC 2018, 2018年08月, Hong Kong.
- Nobuko Moriyama, Hiroyuki Sawatari, Akiko Chishaki, Anita Rahmawati, Mari Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Hiromi Kuroda, Shin-ichi Ando: Age and Sex Impact



on Symptoms of Sleep-disordered Breathing in People with Down Syndrome –A Nation-wide Study in Japan–, Sleep 2018, 2018年06月4日, UnitedStatesofAmerica.

- Mami Miyazono, Akiko Chishaki, Aya Oho, Anita Rahmawati, Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Hiroyuki Sawatari, Nobuko Hashiguchi, Harumizu Sakurada: Different quality of life and psychological tendency of implantable cardioverter defibrillator patients with or without organic heart diseases, ICE 国際心電学会, 2018年06月28日, Japan.
- Nobuko Hashiguchi, Fumika Kinnou, Tomoaki Kozaki, Shigeko Shoyama, Akiko Chishaki, Yutaka Tochihara: Elucidation of factors that promote and inhibit preventive behaviour for fatal accidents during bathing in elderly Japanese, 8th Hong Kong International Nursing Forum, 2018年12月17-18日, Hong Kong.
- Masami Maruyama, The study of the historical materials in Kyushu University:From the standpoint of professional ethics, 12th Kumamoto University Bioethics Roundtable
- Chieko Domen, Nobuko Hashiguchi, Miyako Oike: Nurses' Beliefs in Patient Education ~Comparison with Public Health Nurses' Belief~, The 8th Hong Kong International Nursing Forum cum 2018 International Council on Women's Health Issues Congress, 2018年12月17-18日, Hong Kong.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 藤田香奈恵, 榑木晶子, 弘中愛美, 姜 旻廷, 西坂麻里, 安藤眞一: 閉そく性睡眠時無呼吸患者における持続性陽圧呼吸(CPAP)治療継続の検討-心疾患合併の有無による違い-, 生体医工学会九州支部学術講演会, 2019年03月2日, 福岡(九州大学馬出地区).
- 姜旻廷, 澤渡浩之, 皇甫智明, 山崎啓子, 新原亮史, 藤田佳奈恵, 坂本一郎, 日浅謙一, 筒井裕之, 榑木浩朗, 榑木晶子: 心房中隔欠損症(ASD)患者における経カテーテル閉鎖術前後の心指標の変化と看護支援に関する検討, 第83回日本循環器学会学術集会, 2019年03月23日, 神奈川(横浜).
- 藤田香奈恵・榑木 晶子・澤渡浩之・橋口 暢子・宮園 真美・山崎 啓子・姜 旻廷・森山宣子・西坂 麻里・安藤 眞一: 心血管系疾患を伴う閉塞性睡眠時無呼吸患者における持続陽圧呼吸(CPAP)治療アドヒアランスの検討, 第83回日本循環器学会学術集会, 2019年03月24日, パシフィコ横浜.
- 山崎啓子, 澤渡浩之, 新原亮史, 姜旻廷, 藤田香奈恵, 宗内淳, 坂本一郎, 榑木晶子: 成人を迎えた先天性心疾患(CHD)患者と家族のQOLに基づく看護支援の検討, 第83回日本循環器学会学術集会, 2019年03月24日, パシフィコ横浜.
- 河合俊輔, 向井靖, 中岡和宏, 坂本和生, 井上修二郎, 矢加部大輔, 池田翔太, 榑木晶子, 筒井裕之: Clinical Predictors of Left Atrial Low Voltage Area in Patients with Atrial Fibrillation, 第83回日本循環器学会学術集会, 2019年03月24日, パシフィコ横浜.
- 河合俊輔, 向井靖, 中岡和宏, 坂本和生, 井上修二郎, 矢加部大輔, 池田翔太, 榑木晶子, 筒井裕之: Presence of Low Voltage Area Predicts Atrial Fibrillation Inducibility with Atrial Burst Pacing following Pulmonary Vein Isolation., 第83回日本循環器学会学術集会, 2019年03月25日, パシフィコ横浜.
- 佐藤翼, 坂本一郎, 日浅謙一, 坂本隆史, 梅本真太郎, 澤渡浩之, 姜旻廷, 藤田香奈恵, 森山宣子, 筒井裕之, 榑木晶子: 心房中隔欠損症患者における経胸壁心エコーで測定した右室拡張末期面積と心臓MRIから得られた右室拡張末期容積の相関についての検討, 第83回日本循環器学会学術集会, 2019年03月24日, パシフィコ横浜.
- 長岡和宏, 向井靖, 河合俊輔, 坂本和生, 井上修二郎, 矢加部大輔, 池田翔太, 榑木晶子, 筒井裕之: Morphological Characteristics of Atrial Functional Mitral Regurgitation in Patients with Atrial Fibrillation, 第83回日本循環器学会学術集会, 2019年03月24日, パシフィコ横浜.
- Daisuke Yakabe, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Kazuo Sakamoto, Hidetaka Kaku, Takeo Fujino, Kisho Ohtani, Taiki Higo, Toru Hashimoto, Tomomi Ide, Akiko Chishaki, Yoshihisa Tanoue, Akira Shiose, HiroyukiTsumsui: Duration of Heart Failure History and Enlarged Left Ventricle are

Associated with Ventricular Arrhythmia after LVAD Implantation, 第 83 回日本循環器学会学術集会, 2019 年 03 月 23 日, パシフィコ横浜.

- Kazuo Sakamoto, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Shota Ikeda, Shujiro Inoue: A Simple Criteria by Intra-atrial Activation Sequence to Localize Non-pulmonary Vein Fociduring Catheter Ablation for Atrial Fibrillation, 第 83 回日本循環器学会学術集会, 2019 年 03 月 25 日, パシフィコ横浜.
- Hiroyuki Sawatari, Anwar Chahal, Brady Peter, Gersh Bernard, Nkomo Vuyisile, Akiko Chishaki, Shin-Ichi Ando, Pellikka: Intermittent Hypoxemia Due to Sleep-disordered Breathing: Relationship to Atrial Fibrillation in Patients with Aortic Stenosis, 第 83 回日本循環器学会学術集会, 2019 年 03 月 25 日, パシフィコ横浜.
- 永松有紀, 豊福佳代, 佐藤実, 菊田志保, 篠原義剛, 樗木晶子: 術後補助化学療法中の大腸がん患者の有害事象に関する実態調査, 第 33 回がん看護学会学術集会, 2019 年 02 月 23 日, 福岡(福岡国際会議場).
- 藤田香奈恵, 樗木晶子, 橋口暢子, 宮園真美, 澤渡浩之, 山崎啓子, 姜旻廷, 森山宣子, 西坂麻里, 安藤眞一: 閉塞性睡眠時無呼吸患者の CPAP 治療アドヒアランスにおける性差について, 第 12 回日本性差医学・医療学会学術集会, 2019 年 01 月 19 日, 埼玉.
- 澤渡 浩之, 西坂 麻里, 黒田 裕美, Anita Rahmawati, 橋口 暢子, 樗木 晶子, 安藤眞一: 学童期のダウン症者における睡眠呼吸障害に関する性差, 第 12 回日本性差医学・医療学会学術集会, 2019 年 01 月 20 日, 埼玉.
- 長岡和宏, 向井靖, 池田翔大, 河合俊輔, 坂本和生, 樗木晶子, 筒井裕之: アブレーション後の肺静脈高度狭窄に対して経皮的肺静脈ステント留置を行った 1 例, Catheter Ablation 2018(カテーテルアブレーション関連秋季大会 2018), 2018 年 11 月 10 日, 沖縄.
- 庄島耀子, 向井靖, 池田翔大, 河合俊輔, 石北綾子, 長岡和宏, 坂本和生, 坂本一郎, 林谷俊児, 樗木晶子, 筒井裕之: 両側上大静脈, 下大静脈欠損, 右胸心, 房室中隔欠損症術後の心房頻拍にアブレーションが有効であった 1 例, 日本循環器学会九州地方会, 2018 年 12 月 1 日, 福岡.
- 長岡和宏, 向井靖, 今給黎智美, 池田翔大, 河合俊輔, 坂本和生, 樗木晶子, 筒井裕之: 急性心筋梗塞後の無脈性心室頻拍に対し, Impella 挿入下のアブレーションが奏功した一例, 第 31 回心臓性急死研究会, 2018 年 12 月 15 日, 東京.
- 河合俊輔, 向井靖, 長岡和宏, 池田翔大, 矢加部大輔, 坂本和生, 樗木晶子, 筒井裕之: 心房細動発生部位としての背條若期限の電気整理学的検討, Catheter Ablation 2018(カテーテルアブレーション関連秋季大会 2018), 2018 年 11 月 10 日, 沖縄.
- 樗木晶子, 山崎啓子, 神谷千津子, 丹羽公一郎: 成人先天性心疾患と妊娠, 第 22 回日本心不全学会学術集会, 2018 年 10 月 13 日, 東京.
- 山崎啓子 澤渡浩之 平方多美子 宗内淳 坂本一郎 新原亮史 樗木晶子: 会長賞 16 歳以上の先天性心疾患患者のセルフケア能力と QOL の検討, 第 54 回小児循環器学会学術集会, 2018 年 07 月 6 日, パシフィコ横浜.
- Daisuke Yakabe, Yasushi Mukai, Nobuyuki Enzan, Hidetaka Kaku, Shunsuke Kawai, Kasuhiro Nagaoka, Tomomi Ide, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Prognosis after CRT Implantation in Patients with Inotrope-dependent Heart Failure, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 12 日, 東京国際フォーラム.
- Soichiro Kashihara, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Hiroko Deguchi, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: A Simultaneous Isolation of Left PV with a "Crosstalk" Phenomenon during Cryoballoon AF Ablation, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 12 日, 東京国際フォーラム.
- Daisuke Yakabe, Yasushi Mukai, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: A Case of Heart Failure Due to Persistent AF and LBBB Treated with a Hybrid Therapy of Catheter Ablation and CRT, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 12 日, 東京国際フォーラム.
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Soichiro Kashihara, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Radiofrequency Catheter Ablation for Paroxysmal Atrial Fibrillation Via Jugular Vein in Patient with Occluded Inferior Vena Cava, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 12 日, 東京国際フォーラム.
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Soichiro Kashihara, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Designated Linear Ablation Targeting Non-Pv Foci and Low Voltage Areas Can be an Effective Strategy for

- Refractory Atrial Fibrillation, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 12 日, 東京国際フォーラム.
- Kazuhiro Nagaoka, Yasushi Mukai, Soichiro Kashihara, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Usefulness of the Ripple Mapping for Defining Slow Conduction Isthmus in Catheter Ablation of Macroreentrant Atrial Tachycardia, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 13 日, 東京国際フォーラム.
  - Hiroko Deguchi, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Ichiro Sakamoto, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Catheter Ablation of Atrial Fibrillation in a Patient with Total Cavo-pulmonary Connection, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 13 日, 東京国際フォーラム.
  - Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Does the Atrial Low Voltage Areas Extend in a Few Months Under Persistence of AF?, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 13 日, 東京国際フォーラム.
  - Shunsuke Kawai, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Kazuhiro Nagaoka, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Comparison of Left Atrial Voltage Mapping Using a Duodecapolar Ring Catheter versus a Pentaray Catheter in Patients with Atrial Fibrillation, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 13 日, 東京国際フォーラム.
  - Masashi Sada, Yasushi Mukai, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Kazuhiro Nagaoka, Susumu Takase, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Optimal Periprocedural Anticoagulation for Catheter Ablation of Atrial Fibrillation in the DOAC Era, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 14 日, 東京国際フォーラム.
  - Soichiro Kashihara, Yasushi Mukai, Kazuhiro Nagaoka, Hiroko Deguchi, Masashi Sada, Daisuke Yakabe, Shunsuke Kawai, Akiko Chishaki, Hiroyuki Tsutsui: Mapping and Ablation of Macroreentrant Atrial Tachycardia after Cardiac Surgery with Rhythmia Electroanatomic Mapping System, 第 65 回日本不整脈心電学会学術大会, 2018 年 07 月 14 日, 東京国際フォーラム.
  - 河合俊輔, 向井靖, 池田翔大, 長岡和宏, 坂本和生, 樗木晶子, 筒井裕之: 心房細動発生部位としての肺静脈起源の電気生理学的検討, 第 28 回九州不正脈研究会, 2018 年 07 月 21 日, ホテルセントラーゼ(福岡).
  - 山崎啓子 樗木晶子: 成人先天性心疾患患者のケア～看護師の役割～, 第 66 回日本心臓病学会学術集会, 2018 年 07 月 8 日, 大阪国際会議場.
  - 河合俊輔, 向井靖, 矢加部大輔, 長岡和宏, 樗木晶子, 筒井裕之: 経力カテーテルアルコール心筋焼灼術(PYSMA)と肺静脈隔離術のハイブリッド治療が著効した心房細動合併閉塞性肥大型心筋症の 2 例, 第 66 回日本心臓病学会学術集会, 2018 年 07 月 9 日, 大阪国際会議場.
  - 名尾 朋子, Anita Rahmawati, 森山 宣子, 西坂 麻里, 澤渡 浩之, 樗木 晶子, 安藤 眞一, 大草 知子: 小児睡眠呼吸障害のスクリーニングについてーパルスオキシメーター検査を用いた検討, 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会, 2018 年 07 月 11 日, 札幌.
  - 澤渡 浩之, 樗木 晶子, 西坂 麻里, Anita Rahmawati, 橋口 暢子, 黒田 裕美, 安藤 眞一: ダウン症者における加齢に伴う睡眠呼吸障害危険因子の推移, 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会, 2018 年 07 月 11 日, 札幌.
  - 山本 雲平, 孫田 千恵, 澤渡 浩之, 中村 亮, 荒川 剛, 林 克美, 田中 薫, 門上 俊明, 樗木 晶子, 安藤 眞一: 循環器入院患者における過活動性膀胱と睡眠呼吸障害に関する検討, 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会, 2018 年 07 月 12 日, 札幌.
  - 孫田 千恵, 安藤 眞一, 西坂 麻里, 澤渡 浩之, 門上 俊明, 中村 亮, 畑島 皓, 荒川 剛, 田中 薫, 林 克美, 樗木 晶子: 循環器内科入院患者の睡眠障害と QOL の検討, 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会, 2018 年 07 月 12 日, 札幌.
  - 森山 宣子, 大草 知子, 名尾 朋子, 澤渡 浩之, 橋口 暢子, 宮園 真美, アニタラハマワティ, 姜 旻廷, 藤田 香奈恵, 西坂 麻里, 安藤 眞一, 樗木 晶子: 簡易睡眠検査を用いたダウン症児と健常児における睡眠呼吸障害の検討, 日本睡眠学会第 43 回定期学術集会, 2018 年 07 月 13 日, 札幌.
  - 樗木晶子: 男女共同参画のはざまに生きて, 112 回日本循環器学会中国・四国合同地方会男女共同参画セミナー, 2018 年 06 月 3 日, 広島.
  - 樗木晶子: 心房細動と健康寿命, 第 54 回日本循環器病予防学会学術集会, 2018 年 06 月 23 日, 札幌.
  - 宮園真美, 金岡麻希, 姜旻廷, 橋口暢子, 澤渡浩之, 藤田香奈恵, 森山宣子, 樗木晶子: 大学病院で勤務する看護師の循環器病予防に関連する健康増進行動～日本語

版健康増進ライフスタイルプロフィール II (HPLPII) による調査～, 第 54 回日本循環器病予防学会学術集会, 2018 年 06 月 22 日, 北海道(札幌).

- 宮園真美, 澤渡浩之, 橋口暢子, 樗木晶子: 健常高齢女性の冷え症状, 睡眠, および血管内皮機能に対する菓子加温 2 ヶ月連続使用の効果, 第 54 回日本循環器病予防学会学術集会, 2018 年 06 月 23 日, 北海道(札幌).
- 樗木晶子: 心房細動と健康寿命, 第 54 回日本循環器病予防学会学術集会 シンポジウム②それぞれの立場での循環器病と健康寿命, 2018 年 06 月 23 日, 北海道(札幌).
- 森山宣子, 樗木晶子, 澤渡浩之, 西坂麻里, ラハマワチアニタ, 宮園真美, 橋口暢子, 大草知子, 名尾朋子, 安藤眞一: 先天性心疾患合併の多いダウン症児における睡眠呼吸障害の検討ー非ダウン症児との比較ー, 第 54 回日本循環器病予防学会学術集会, 2018 年 06 月 22 日, 北海道(札幌).
- 澤渡浩之, 樗木晶子, 西坂麻里, Anita Rahmawati, 森山宣子, 宮園真美, 橋口暢子, 黒田裕美, 安藤眞一: 学童期のダウン症者における年齢による睡眠呼吸障害とその危険因子の違い, 第 54 回日本循環器病予防学会学術集会, 2018 年 06 月 22 日, 北海道(札幌).
- 樗木晶子: 循環器内科領域における男女共同参画～若手支援へ, 第 55 回日本リハビリテーション医学会, 2018 年 06 月 29 日, 福岡国際会議場.
- 矢加部 大輔, 向井 靖, 河合 俊輔, 長岡 和宏, 樗木 晶子, 筒井 裕之: 発作性心房細動のアブレーション中に SVC tachycardia を認めた一例, 第 124 回日本循環器学会九州地方会, 2018 年 06 月 30 日, 鹿児島県民交流センター.
- 佐田 政司, 向井 靖, 河合 俊輔, 長岡 和宏, 樗木 晶子, 筒井 裕之: 多数のトリガーを認め, これらを治療標的とした長期持続性心房細動の一例, 第 124 回日本循環器学会九州地方会, 2018 年 06 月 30 日, 鹿児島県民交流センター.
- 山本 泰史, 向井 靖, 矢加部 大輔, 河合 俊輔, 長岡 和宏, 樗木 晶子, 筒井 裕之: 発火部位を網羅した線状焼灼 (designated linear ablation) が有効であった非肺 静脈起源心房細動の症例, 第 124 回日本循環器学会九州地方会, 2018 年 06 月 30 日, 鹿児島県民交流センター.
- 長岡 和宏, 向井 靖, 佐田 政司, 山本 泰史, 矢加部 大輔, 河合 俊輔, 樗木 晶子, 筒井 裕之: 心房細動患者における周術期血栓塞栓症の検討, 第 124 回日本循環器学会九州地方会, 2018 年 06 月 30 日, 鹿児島県民交流センター.
- 河合 俊輔, 向井 靖, 矢加部 大輔, 長岡 和宏, 樗木 晶子, 筒井 裕之: カテーテルアブレーションおよび CRT が有効だった心房細動合併心不全症例, 第 124 回日本循環器学会九州地方会, 2018 年 06 月 30 日, 鹿児島県民交流センター.
- 出口 裕子, 向井 靖, 坂本 一郎, 長岡 和宏, 矢加部 大輔, 河合 俊輔, 樗木 晶子, 筒井 裕之: フォンタン術後患者の心房細動に対してカテーテルアブレーション治療を行なった症例, 第 124 回日本循環器学会九州地方会, 2018 年 06 月 30 日, 鹿児島県民交流センター.
- 宮園真美, 樗木晶子, 大穂理, Anita Rahmawati, 真茅みゆき, 澤渡浩之, 橋口暢子, 櫻田春水, 竹本真生, 仲井盛, 向井靖, 井上修二郎, 樗木浩朗: 植込み型除細動器植込み患者の心機能低下の有無と心理的傾向, 第 38 回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会 4 学会合同学術集会, 2018 年 06 月 29 日, 千葉(幕張).
- 樗木晶子: 女性医師の活躍は医療のかなめ, 第 63 回定時総会 特別講演会 女性医師支援公開講演会, 2018 年 5 月, 東京.
- 樗木晶子: 外科医のワークライフバランスをめざして, 第 118 回日本外科学会定期学術集会, 2018 年 04 月 5 日, 東京.
- 中尾久子, 青本さとみ, 木下由美子, 酒井久美子, 潮 みゆき, 金岡麻希: 病院看護師の倫理研修・倫理教育に関する国内文献の検討(その 1), 日本看護研究学会第 23 回九州・沖縄地方会学術集会, 2018 年 11 月 3 日, 長崎市・長崎大学.
- 西田彩子, 中尾久子: 大学病院と大学の看護師の人事交流による学生教育への効果, 日本看護研究学会第 23 回九州・沖縄地方会学術集会, 2018 年 11 月 3 日, 長崎市・長崎大学.
- 松田美由紀, 富永美千代, 酒井久美子, 中尾久子: 中堅看護師のワーク・ライフ・バランスと仕事意欲との関連, 第 22 回日本看護管理学会学術集会, 2018 年 08 月 24 日. (公開)
- 池田彩乃, 中尾久子, 酒井久美子: 看護師の生活習慣と精神健康に関する研究, 第 22 回日本看護管理学会学術集会, 2018 年 08 月 24 日.
- 薬師寺佳菜子, 藤田君支: 人工股関節全置換術の期待と満足度, 日本看護研究学会雑誌 / 日本看護研究学会 第 44 回学術集会, 2018 年 08 月, 熊本県立劇場.

- 松永由理子, 藤田君支, 田淵康子: 人工股関節手術患者の身体活動量と主観的身体機能(Oxford Hip Score)の長期的評価, 日本看護研究学会雑誌/日本看護研究学会第44回学術集会, 2018年08月, 熊本県立劇場.
- 坂梨左織, 藤田君支: 認知症の人の家族介護者のエンパワメント尺度の妥当性の検証, 日本看護科学学会学術集会講演集38回/第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月, 愛媛ひめぎんホール.
- 藤田君支, 牧本清子, 田淵康子: 人工股関節全置換術後7年の健康関連QOLについての前向き観察研究, 日本看護科学学会学術集会講演集38回/第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月15日, 愛媛ひめぎんホール.
- 立石礼望, 木村一絵, 村上弘子, 濱田正美, 橋口暢子: 新規薬剤採用に対する看護師の対処行動に及ぼす要因, 日本看護科学学会学術集会第38回大会, 2018年12月15日, ひめぎんホール.
- 橋口暢子, 金納史佳, 小崎智照, 庄山茂子, 樗木晶子, 栃原裕: 高齢者における入浴事故予防行動の促進および阻害要因, 日本生理人類学会第77回大会, 2018年06月16日, 九州大学 大橋キャンパス.
- 諸隈誠一: 特別講演『胎児から新生児そして小児へのトランジション医療』演題名: ~トランジション医療と先制医療~, 福岡母性衛生学会, 2018年7月1日, 福岡(九州大学医学部 百年講堂)
- 諸隈誠一: シンポジウム「生殖・周産期分野の前方視的研究から得られた最新の知見と先制医療への展望」演題名: 妊娠期の環境が周産期予後・次世代に与える影響に関する研究, 第70回日本産科婦人科学学会学術講演会, 2018年05月12日, 仙台(仙台国際センター)
- 諸隈誠一: シンポジウム「体内時計の形成と心身の発達」演題名: 胎児期の体内時計と睡眠発達, 第121回日本小児科学学会学術集会, 2018年04月22日, 福岡(福岡サンパレス)
- 濱田裕子: ビジュアルを媒介に紡がれる子どもとの物語: 共鳴するグリーフ, 日本発達心理学会第30回大会, 2019年3月19日.
- 富安彩香, 濱田裕子, 藤田紋佳, 谷口初美: 職場復帰予定の初産婦の思いと行動, 第59回日本母性衛生学会, 2018年10月19日.
- 遠渡絹代, 泊祐子, 市川百香里, 岡田摩理, 部谷知佐恵, 濱田裕子, 叶谷由香, 赤羽根章子: 小児訪問看護ステーションの専門的な視点での医療・福祉との連携の実際, 第44回日本重症心身障害学会, 2018年09月28日
- 濱田裕子, 泊祐子, 岡田摩理, 遠渡絹代, 市川百香里, 叶谷由香, 赤羽根章子, 部谷知佐恵: 重症児の家族を積極的に支援する訪問看護ステーションが行う特徴的な取り組み, 第25回日本家族看護学会, 2018年09月2日
- 市川百香里, 泊祐子, 遠渡絹代, 岡田摩理, 濱田裕子, 叶谷由香, 赤羽根章子, 部谷知佐恵: 小児を専門とする訪問看護ステーションに特徴的な家族支援, 第25回日本家族看護学会, 2018年09月2日
- 泊祐子, 遠渡絹代, 岡田摩理, 濱田裕子, 叶谷由香, 赤羽根章子, 市川百香里, 部谷知佐恵: 診療報酬を獲得できるエビデンスを積み重ねる Part3 ~重度障がい児と家族の生活世界を広げる支援プロジェクト, 日本看護研究学会第44回学術集会, 2018年08月19日
- 部谷知佐恵, 泊祐子, 遠渡絹代, 市川由香里, 岡田摩理, 竹村淳子, 濱田裕子, 叶谷由香, 赤羽根章子: 小児訪問看護ステーションの役割機能と運営上の工夫, 第44回日本看護研究学会学術集会, 2018年08月18日, 熊本.
- 岡田摩理, 泊祐子, 遠渡絹代, 部谷知佐恵, 市川百香里, 赤羽根章子, 濱田裕子, 竹村淳子: 小児の訪問看護ステーションが感じる診療報酬上の課題と要望, 第28回日本小児看護学会学術集会, 2018年07月21日, 名古屋.
- 青本さとみ, 中尾久子, 木下由美子, 酒井久美子, 潮みゆき, 金岡麻希: 病院看護師の倫理研修・倫理教育に関する国内文献の検討(その2), 日本看護研究学会第23回九州・沖縄地方学術集会, 2018年11月3日, 長崎市・長崎大学.
- 丸山マサ美: 医療専門家の行動規範に関する一考察-The National Archives & Records Administration RG331 資料に見る学生意見一, 第34回日本医史学会福岡地方会, 2019年02月, 福岡ガーデンパレス.
- 丸山マサ美: アメリカ公文書館史料再考-史料を活用したバイオエシックス教育の取り組み-, 六史学会, 2018年12月, 順天堂大学.
- 丸山マサ美: バイオエシックス教育・研究の課題と展望-アメリカ国立公文書館資料“Kyudai Vivisection”再考-, 第32回日本医史学会福岡地方会, 2018年02月, 福岡ガーデンパレス.

- 丸山マサ美; バイオエシックス教育・研究の課題と展望－雨りりか国立公文書館資料 “Kyudai Vivisection” 再考第2報－, 第33回日本医史学会福岡地方会, 2018年08月, 福岡ガーデンパレス.
- Masami Maruyama: The study of the historical materials in Kyushu University: From the Standpoint of professional ethics, Twelfth Kumamoto University Bioethics Roundtable, KBRT12, 2018年12月, 熊本大学.
- 宮田潤子, 貝沼茂三郎, 小幡聡, 山根謙一, 入江敬子, 江角元史郎, 伊崎智子, 田口智章: 自閉スペクトラム症に合併した排便障害のコントロールに漢方治療が有用であった2例, 第7回日本小児診療多職種研究会, 2018年11月24~25日, 北九州市.
- 古澤敬子, 伊崎智子, 三好きな, 宮田潤子, 木下義晶, 家入里志, 田口智章: 総排泄腔遺残症に対する当院における膣形成術の検討, 第55回日本小児外科学会学術集会, 2018年5月30日~6月1日, 新潟
- 貝沼茂三郎, 嶺井聡, 犬塚央, 坂本篤彦, 宮田潤子, 古庄憲浩: 耳鳴症に対して補気剤を中心とした漢方治療が有効だった3例, 第69回日本東洋医学会学術総会, 2018年6月8~10日, 大阪
- 小幡 聡, 宗崎良太, 江角元史郎, 宮田潤子, 伊崎智子, 田口智章: ポリペクトミー後に使用したクリップが先進部となった再発腸重積の小児例, 第45回日本小児内視鏡研究会, 2018年7月7日, 東京
- 中村 睦, 江角元史郎, 桐野浩輔, 吉丸耕一朗, 小幡 聡, 柳 佑典, 宗崎良太, 宮田潤子, 松浦俊治, 伊崎智子, 田口智章: 膀胱腸裂に対する回腸膀胱造設術後に難治膀胱皮膚瘻を生じた1症例, PSJM2018(第38回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会), 2018年10月25日, 東京
- 古澤敬子, 宮田潤子, 小幡 聡, 江角元史郎, 伊崎智子, 田口智章: Hirschsprung 病術後臀部皮膚トラブルへの漢方治療の可能性, PSJM2018(第23回日本小児外科漢方研究会), 2018年10月25日, 東京
- 江角元史郎, 近藤琢也, 桐野浩輔, 吉丸耕一朗, 小幡 聡, 柳 佑典, 宗崎良太, 宮田潤子, 松浦俊治, 伊崎智子, 田口智章: 脂肪酸分画24項目のチャート化による重症心身障害児の栄養評価, PSJM2018(第48回日本小児外科代謝研究会), 2018年10月25日, 東京
- 小幡 聡, 伊崎智子, 入江敬子, 宮田潤子, 江角元史郎, 宗崎良太, 松浦俊治, 田口智章: 当科における高位鎖肛症例の術後排便排尿機能に関する検討, PSJM2018(第75回直腸肛門奇形研究会), 2018年10月26日, 東京
- 伊崎智子, 宮田潤子, 古澤敬子, 大森淳子, 田口智章, 江頭活子, 加藤聖子: 総排泄腔遺残患者における生殖器合併症, PSJM2018(第34回日本小児外科学会秋季シンポジウム), 2018年10月27日, 東京
- 大森淳子, 宗崎良太, 伊崎智子, 松浦俊治, 江角元史郎, 宮田潤子, 小幡 聡, 桐野浩輔, 吉丸耕一朗, 田口智章: 気管切開を要したリンパ管腫(リンパ管奇形)症例に関する検討, 第60回日本小児血液・がん学会学術集会, 2018年11月14~16日, 京都
- 能登裕子, 村木里志: 車いすのティッピングレバーの改善と形状が踏み込み足底圧と負担感に及ぼす影響, 日本人間工学会第59回大会, 2018年06月3日, 宮城学園大学 仙台市.
- 高木雄作, 能登裕子: 介護施設職員の離職要因－職務満足度尺度調査を用いた検討－, 日本人間工学会 九州・沖縄支部第39回支部大会, 2018年11月9日, ホテルセントヒル長崎.
- 村木里志, Ping Yeap Loh, 福田 修, 齋藤誠二, 能登裕子, 山本元司: 身体動作能力を拡張するテクノロジーに対する人間の適応能の理解, 日本人間工学会第59回大会, 2018年06月2日, 宮城学園大学 仙台市.
- 岸田文, 中島孝明, 大草孝介, 能登裕子, 藤智亮, 尾方義人, 綿貫茂喜: 人の特性に適した防災教育の基礎的検討, 日本生理人類学会第77回大会, 2018年06月, 九州大学大橋キャンパス.
- 櫻井麻子, 塩屋千里, 森康雄, 酒井久美子: 造血幹細胞移植ドナーの意思決定プロセスと意思に関する文献検討, 日本造血細胞移植学会, 2019年03月8日, 大阪.
- 酒井久美子 姫野稔子: 高齢者の口腔乾燥に対する口腔ケアに関する文献検討, 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018年12月15日, 愛媛県松山市
- 大池美也子, 道面千恵子: 看護教員コンピテンシーモデルの開発に向けた文献的考察, 日本看護研究学会 九州・沖縄地方学会学術集会, 2018年11月3日, 長崎県.
- 福留真美, 三池優起子, 道面千恵子: 子宮頸がん術後患者へのタブレット端末を用いた自己導尿指導の有効性, 日本看護研究学会 九州・沖縄地方学会学術集会, 2018年11月3日, 長崎県.

- 田上絢子 中村春香 前野里子: クロウン病患者における疾患重症度と健康管理の自己効力感の関連についてー学習行動に焦点をあててー, 日本看護研究学会九州・沖縄地方学会学術集会, 2018年11月3日, 長崎県.
- 中村春香 田上絢子 前野里子: クロウン病患者における疾患重症度と健康管理の自己効力感の関連について, 日本看護研究学会, 2018年08月19日, 熊本県.
- 山口優: 国内の救急看護師のコンピテンシーに関する文献レビュー, 第20回日本救急看護学会学術集会, 2018年10月20日, 和歌山県民文化会館・ホテルアバローム紀の国.

#### f. 学会以外での講演, 発表

- 丸山マサ美, 吉岡 斉先生を偲んで, 吉岡 斉先生を偲ぶ会, 九州大学西新プラザ, 2018年05月, 福岡.
- 丸山マサ美, 生命倫理と吉岡さんー吉岡 斉の仕事を考えるー, 九州大学医学部百年講堂, 2019年01月, 福岡.
- 宮田潤子: 小児のための漢方, 2018 看護師のための漢方医学講座 オープンセミナー, 2018年9月12日, 福岡 (九州大学医学部).

## 著作

### a. 単行本

- 樗木晶子: (担当部分単著) 心不全ケア教本 第2版 「心房細動(AF)を合併する心不全患者の治療とケア」, 2019年03月.
- 樗木晶子: (担当部分単著) トートラ人体の構造と機能第5版 原著15版「心臓血管系: 血液」 2019年3月, 丸善出版.
- 樗木晶子: (担当部分単著) 今日の治療指針 2019年版「伝導障害」 2019年1月, 医学書院.
- 藤田君支: 老年医学(下)ー基礎・臨床研究の最新動向ー, 76巻増刊号7日本臨床, 2018年.
- 丸山マサ美, 青木清, 川勝和哉, 足立智孝, 村上貴美子, 仙波由加里, 河原直人, 鈴木美香, 三成寿作, 瀬戸山晃一, 米沢 慧, 吉住朋晴: (共著) バイオエシックスーその継承と発展ー, 2018年05月, 川島書店.

### b. 総説

- 樗木晶子: 定期学術集会特別企画第118回日本外科学会定期学術集会 特別企画「女性外科医のキャリアパス」基調講演: 外科医のワークライフバランスをめざして, 日本外科学会誌 120(1):108-111, 2019, 2018年11月.
- 澤渡浩之, 樗木晶子, 安藤真一: ICUとCCU 特集CCUでの「睡眠」を考える, CCUにおける睡眠 42(7):423-429, 2018, 2019年02月.
- 樗木晶子: あなたとわたしのための元気塾 第1回ともに健やかに生きるためにー性差医療をごぞんじですか?, 大野城まどかぴあ ステップ7月号P5, 2018年07月.
- 樗木晶子: 理想の男女共同参画を目指して 組織が変われば人が変わる, 日本外科学会誌, 2018年07月.
- 樗木晶子: 女性研究者の活躍促進のために, 九州大学女性研究者データベース 九州大学男女共同参画推進室, 2018年06月.
- 樗木晶子: 第118回日本外科学会定期学術集会 特別企画SP-7-1-KL 講演の記録, 日本外科学会雑誌, 2018年05月.
- 諸隈誠一: ヒト胎児の行動発達, 福岡医学雑誌 109巻3号65-69, 2018年9月.
- 松尾 和枝: 理論により介入モデルを精練するー一点眼アドヒアランスの概念モデルの構築ー, 看護研究, 51(6), 医学書院, 2018年10月.
- 藤田紋佳: 胆・肝系疾患を抱える子どもと家族への支援. 小児看護, 41(13), 1713-1720, へるす出版, 2018年12月.

### c. 解説, 書評など

- 木下由美子: 看護師国家試験合格チャレンジテスト, 第108回(第1~3回)解答+解説書, 学研メディカル秀潤社, 2018年

- 木下由美子: 看護師国家試験合格チャレンジテスト, 第108回(第1~3回)解答+解説書, 学研メディカル秀潤社, 2018年
- 木原深雪: AAの友人として, BOX-916, NPO法人AA日本ゼネラルサービス(JSO), 2018年10月.

受賞 なし

#### 報道

- 樗木, 毎日新聞, 「きらめきプロジェクトについて」, 2018年09月.
- 樗木, 西日本新聞, 「きらめきプロジェクトについて」, 2018年09月.
- 樗木, 設立25周年記念誌「男女共同参画社会の実現をめざして「大野城女性の会」25年のあゆみ, 「さらなる男女共同参画をめざして」~女性が働き続けるために~, 2018年04月.
- 樗木, m3.com, 「男女を問わず, 医師が勤務継続できる環境を 日本外科学会定期学術学会, 特別企画「女性外科医のキャリアパス」」, 2018年05月.
- 諸隈, NHK Eテレ, 「「ふしぎエンドレス」5年生[理科 小5] おなかの赤ちゃんはどう育つ?」, 2019年01月.

### 4. 産学連携活動

#### 1. 共同研究

- 樗木, 心疾患診断への応用に向けた生体センサの研究, 富士ゼロックス, 2015年12月~2019年03月.

#### 2. 受託研究

- 橋口, 寒冷環境における入浴行為による身体負担と血圧変動及び心理反応についての研究, 株式会社ノーリツ, 2016年04月~2019年03月.

#### 3. 取得特許 なし

#### 4. 兼業 なし

#### 5. 特記すべきその他の技術相談

- 活動の名称:福岡県 DMAT 隊員養成研修 研修題目:福岡県 DMAT 隊員養成研修, 主催:福岡県保健医療介護部医療指導課地域医療係.

### 5. 国際交流・協力活動

#### 1. 海外出張・研修出張

- 樗木, 病院, 研究所訪問 (Thailand), 大学・研究所訪問, 2019年01月~2019年01月 (2週間未満)
- 諸隈, オウル大学 (Finland), 大学・研究所訪問, 2018年09月~2018年09月 (2週間未満)
- 藤田 (君), フィンランド Oulu 大学 (Finland), 大学・研究所訪問, 2018年09月~2018年09月 (2週間未満)
- 橋口, 病院, 研究所訪問 (Thailand), 大学・研究所訪問, 2019年01月~2019年01月 (2週間未満)
- 橋口, 香港大学 (Hong Kong), 国際会議, 2018年12月~2018年12月 (2週間未満)
- 潮, University of Oulu (Finland), 大学・研究所訪問, 2018年09月~2018年09月 (2週間未満)
- 道面, 香港大学 (Hong Kong), 国際会議, 2018年12月16~19日 (2週間未満)



## 2. 外国人研究者の受入れ

### a. 訪問教授・研究員

- ・ Anita Rahamawati, その他, 大学院医学研究院保健学部門

### b. 訪問研究者

- ・ Anita Rahamawati, その他, 大学院医学研究院保健学部門

## 3. 留学生の受入れ

- ・ 姜 旻廷 (Kang Min-jeong) 博士課程

## 4. 学生の海外派遣 なし

## 6. 学内行政事務などの担当

### 1. 全学委員

- 樗木, 虚血性疾患用遺伝子治療製剤 DVC1-0101 第 IIb 相試験における効果安全性評価委員.
- 樗木, 九州大学若手女性研究者・女子大学院生優秀研究者賞選考委員.
- 樗木, 循環器専門医資格認定試験の作問世話人.
- 樗木, 九州大学医学部同窓会理事.
- 樗木, 九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター 副センター長.
- 宮田, 統合基礎看護学講座 HP 係.
- 宮田, 統合基礎看護学講座施設物品係.
- 山口, 九州大学病院 災害医療小委員会委員.

### 2. 部局委員

- 中尾, 九州大学病院看護キャリアセンター運営委員会委員.
- 中尾, 九州大学病院看護部究推進 WG 委員.
- 藤田 (君), 看護キャリアセンター運営委員会委員.
- 藤田 (君), 実習指導者会議委員.
- 橋口, 模擬患者養成専門部会委員.
- 青本, 看護キャリアセンター運営委員会.
- 丸山, 保健学部門看護学科 14 期生クラス担任.
- 丸山, 医療系統合教育研究センター委員会委員.
- 宮田, 百人部会委員.
- 潮, 実習指導者会議.
- 山口, 看護キャリアセンター運営委員会.

### 3. 部門・コース内委員

- 中尾, 統合基礎看護学講座長
- 樗木, 保健学部門長.
- 樗木, 人事委員会委員.
- 樗木, 再任審査委員会委員.
- 樗木, 施設・環境委員会委員長.
- 樗木, 教育活動評価委員会委員.
- 樗木, 九州大学病院特定認定再生医療等委員会委員 (副委員長).
- 樗木, 九州大学特定臨床研究監査委員会委員.
- 中尾, 大学院委員会委員.
- 中尾, 入学試験実施委員会委員.
- 藤田 (君), 教務委員会副委員長.
- 藤田 (君), 副分野長.
- 藤田 (君), 実習委員会委員.
- 藤田 (君), 看護学分野国際 WG 委員.
- 橋口, 財務委員会.

- 橋口, 看護学分野国際 WG 委員長.
- 橋口, 地域国際連携推進委員 2018 年委員長.
- 橋口, 実習委員会委員.
- 橋口, 人事交流教員担当.
- 諸隈, 将来計画, 点検・評価・年報委員会委員.
- 諸隈, 学生委員会委員.
- 濱田, 広報委員会委員.
- 濱田, 教務ワーキング (統合新領域学府ユーザー感性学専攻).
- 濱田, 入試委員 (統合新領域学府ユーザー感性学専攻).
- 濱田, 実習委員会委員.
- 青本, 九州大学病院先進医療適応評価委員.
- 青本, 実習委員会委員.
- 木下, 学生委員会委員.
- 能登, 実習委員会委員.
- 能登, 施設環境委員.
- 松尾, 卒業研究委員会 委員.
- 松尾, 将来計画・点検・評価委員会 委員.
- 宮田, 看護学分野国際 WG.
- 宮田, FD 実行委員.
- 宮田, 地域・国際連携委員.
- 潮, 実習委員会委員.
- 潮, 卒業研究委員会委員.
- 木原, 安全衛生推進委員会委員.
- 木原, 保健学の明日を考える会委員.
- 酒井, 実習委員会.
- 道面, 看護学分野国際 WG.
- 藤田 (紋), 実習委員会委員.
- 藤田 (紋), 卒業研究委員会委員.
- 前野 (里), FD 実行委員.
- 前野 (里), 地域・国際連携委員.
- 前野 (里), 看護学分野国際 WG.
- 前野 (里), 実習委員会.
- 松本, 広報委員会委員.
- 山口, 広報委員会委員.
- 森口, 卒業研究委員会委員.

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 樗木, 放送大学, 客員教員.
- 中尾, 福岡女学院看護大学, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡県看護協会認定看護師教育センター, 非常勤講師.
- 藤田 (君), フィンランド Oulu 大学での招聘講演, 集中講義.
- 藤田 (君), 放送大学・福岡学習センター, 非常勤講師.
- 諸隈, 同志社大学・赤ちゃん学研究センター, 非常勤講師.
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック実習指導者養成講習会, 非常勤講師.
- 濱田, 産業医科大学・産業保健学部, 非常勤講師.
- 濱田, 熊本大学, 障がい児訪問看護研修会, 非常勤講師.
- 青本, 福岡県看護実習指導者講習会, 非常勤講師.
- 木下, 福岡県看護教員養成講習会 研究方法演習, 非常勤講師.
- 能登, 福岡県看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル, 非常勤講師.
- 丸山, 純真学園大学保健医療学部, 非常勤講師.
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院, 非常勤講師.
- 丸山, 純真学園大学保健医療学部臨床実習協議会, 講演
- 宮田, 原看護専門学校, 非常勤講師.

## 2. 学協会

- 樗木, 日本看護研究学会, その他(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, その他(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会ダイバーシティ推進委員会, 理事(代表理事), 国内.
- 樗木, 日循 2018 年度発足の 小児・成人先天性心疾患部会, 理事(代表理事), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部男女共同参画, その他(委員長, 幹事), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, その他(役員), 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本性差医学・医療学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本性差医学・医療学会 第 11 回日本性差医学・医療学会, 会長, 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, 運営委員(代議員), 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会, その他(メディカルプロフェッショナル委員会 オブザーバー), 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会, その他(認定心電検査技師制度委員会委員), 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会, その他(学術委員会 検証関連検討委員会 委員長), 国内.
- 樗木, 日本心臓病学会, その他(FJCC 会員), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部 男女共同参画委員会, その他(委員長), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会, その他(社員), 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会(旧 日本循環器管理研究協議会), 理事(プログラム委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, その他(学会誌選任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本心臓病学会, その他(総務委員会男女共同参画 WG 委員), 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会編集委員会「心電図」委員, 編集委員(編集委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 査読委員(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本健康支援学会, 編集委員(編集委員), 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会「専任査読委員」, 査読委員(「専任査読委員」), 国内.
- 樗木, 日本不整脈心電学会, 編集委員(編集委員会「心電図」委員), 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, 査読委員(学会誌専任査読委員), 国内.
- 中尾, 日本看護管理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本がん看護学会, 国内.
- 中尾, 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会, 代議員, 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護倫理学会, 評議員(学術活動推進委員会委員), 国内.
- 中尾, 日本看護学教育学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 日本がん看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 生命倫理(日本生命倫理学会誌), 編集委員, 国内.
- 藤田(君), 日本糖尿病教育・看護学会, 理事 編集委員長, 国内.
- 藤田(君), 日本看護研究学会, 代議員, 編集委員, 国内.
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 代議員, 査読委員, 国内.
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 第 23 回学術集会企画委員, 国内.
- 藤田(君), 日本慢性看護学会, 評議員, 査読委員, 国内.
- 藤田(君), 日本看護科学学会, 代議員, 査読委員, 国内.
- 藤田(君), Japan Journal of nursing sciences, Reviewer, 国際.
- 藤田(君), International Journal of Nursing Practice, Reviewer, 国際.
- 橋口, 人間一生活環境系学会, 評議員, 国内.
- 橋口, 日本生理人類学会, 評議員, 国内.
- 橋口, 日本循環器看護学会, 査読委員, 国内.
- 諸隈, 日本赤ちゃん学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 日本発達神経科学学会, 理事, 国内.
- 諸隈, The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, Associate Editor, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, その他(倫理委員会委員), 国内.

- 濱田, 日本小児看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 日本看護研究学会, その他(将来構想委員会プロジェクト), 国内.
- 濱田, 九州小児看護教育研究会, 幹事, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 濱田, 日本小児がん看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 濱田, 高知女子大看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 木下, 一般社団法人日本看護研究学会九州・沖縄地方会 役員, その他, 国内.
- 木下, 日本看護科学学会, 評議員(代議員), 国内.
- 木下, 日本応用心理学会 機関誌編集委員, 編集委員(日本応用心理学会 機関誌編集委員), 国内.
- 木下, 日本糖尿病教育・看護学会 編集委員会 専任査読者, 査読委員, 国内.
- 能登, 日本人間工学会, 評議員, 国内.
- 能登, 日本人間工学会九州・沖縄支部, 理事, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 副理事長(研究推進委員会・渉外委員会委員長), 国内.
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, 学术交流委員会委員, 国内.
- 丸山, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 査読委員, 国内.
- 丸山, Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine, 編集委員(査読委員), 国際.
- 道面, 日本糖尿病教育・看護学会誌, 専任査読者, 国内.
- 藤田(紋), 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 前野(里), 日本糖尿病教育・看護学会誌, 編集委員, 国内.
- 山口, 日本救急看護学会雑誌, 査読委員, 国内.
- 山口, 日本救急看護学会, 評議員, 国内.

### 3. 官界

- 樗木, 科学研究費委員会 挑戦的研究部会症委員会審査委員, 独立行政法人日本学術振興会.
- 中尾, 特別研究員等審査委員会専門委員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員, 独立行政法人日本学術振興会.
- 中尾, 「福岡県内の保健・医療・福祉施設における身体拘束の廃止状況の調査, 広報, 研修を通じた身体拘束廃止の取り組み推進」, 福岡県保健医療介護部:福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議.
- 諸隈, 科学研究費委員会専門委員, 日本学術振興会.
- 宮田, 「医師のためのキャリアプランガイドブック」, 福岡県保健医療介護部医療指導課医師・看護職員確保対策室

### 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 樗木, 「福岡県医療審議会委員」, 2018-01-01.
- 樗木, 「福岡県男女共同参画審議会会長」, 2018-01-01.
- 樗木, 「福岡県女性医師キャリア支援形成支援検討委員会委員 委員長」, 2018-01-01.
- 樗木, 「福岡県保健福祉審議会 健康医療部会長」, 2018-01-01.
- 樗木, 「福岡市公務災害補償等認定委員会委員」, 2018-01-01.
- 樗木, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 2018-01-01.
- 樗木, 「福岡市国民健康保険運営協議会会長」, 2018-01-01.
- 樗木, 「福岡市健康づくりサポートセンター指定管理者選定委員」, 2018-01-01.
- 樗木, 「公益財団法人 木村記念循環器財団第36回研究助成選考委員」, 2018-01-01.
- 樗木, 「学校法人福岡学園評議員」, 2018-01-01.
- 樗木, 「糸島市保健・医療・健康づくり推進協議会委員」, 2018-01-01.
- 樗木, 「学校法人福岡学園評議員」, 2018-01-01.
- 濱田, NPO 法人福岡子どもホスピスプロジェクト 代表理事, 2018-01-01.
- 濱田, 福岡市立こども病院地域医療支援病院諮問委員会委員, 2018-01-01.
- 能登, 「公益社団法人福岡県看護協会認定看護管理者教育運営委員」, 2018-01-01.
- 松尾, 「九州大学病院看護部 看護教育研究推進ワーキンググループ」, 2018-01-01.
- 丸山, NPOヒトの教育の会, 常任代議員
- 山口, 「活動の名称:福岡県 DMAT 隊員養成研修研修題目:福岡県 DMAT 隊員養成研修」, 主催:福岡県保健医療介護部医療指導課地域医療係, (技術指導), 2018.12.

## 5. 公開講座・公開講演会

- 樗木, 「エルキューズ エキスパートセミナー」, ファイザー ブリストルマイヤーズ, 福岡市, セミナー・研修会.
- 樗木, 「あなたとわたしのための元気塾 「ともに健やかに生きるために 性差医療ってなあに？」」, まどかぴあ, 福岡市, 公開講座.
- 中尾, 「看護師が経験する看護倫理 -事例を通して学ぼう-」, 産業医科大学病院・若松病院, 北九州市若松区, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護師が経験する看護倫理 -事例を通して学ぼう-」, 産業医科大学病院, 北九州市八幡西区, セミナー・研修会.
- 中尾, 臨床倫理について, 福岡通信病院, 福岡市中央区, セミナー・研修会
- 諸隈, 「第4回 実践臨床小児睡眠医学セミナー」, 兵庫県立リハビリテーション中央病院, 兵庫県立リハビリテーション中央病院, セミナー・研修会.
- 諸隈, 「九州大学医学部保健学科市民公開講座」, 九州大学医学部保健学科, 九州大学病院キャンパス 医学部保健学科棟 5 番講義室, 公開講座.
- 青本, 「精神科訪問看護研修会の第 3 日目事例検討会でのセミナーを行った」, 一般社団法人全国訪問看護事業教会, 福岡県, セミナー・研修会.
- 丸山, 「医療倫理学の理論と実践」, 田川市立病院
- 丸山, 「生命・医療倫理教育の理論と実践」, 純真学園大学保健医療学部看護学科対象者:臨地実習指導者, 看護学科教員, 純真学園大学 2 号館, 講演会・公開討論.
- 丸山, 「医療倫理学の理論と実践-バイオエシックスの継承と発展-」, 福岡県産婦人科医会福岡ブロック会, 福岡県産婦人科医会, 福岡市医師会, 西鉄グランドホテル, 講演会・公開討論.

## 6. 初等中等教育への貢献

- 丸山, 福岡県立博多青松高等学校, 博多青松グローバル人材育成プログラム (D-Labo) バイオエシックス集中講義, 九州大学医学部総合研究棟.

# 看護学分野

## 《広域生涯看護学》

教授	谷口 初美
教授	鳩野 洋子
准教授	川田 紀美子
准教授	寺岡 佐和
准教授	前野 有佳里
講師	野口 ゆかり
助教	木村 一絵
助教	佐藤 洋子
助教	末次 美子
助教	福田 陽子
助教	藤田 貴子

### 1. 教育活動

#### 1. 大学院講義

母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	谷口	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	谷口	前期
地域国際母子保健論Ⅱ(分担)	谷口	前期
地域国際母子保健論Ⅰ(分担)	谷口	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	谷口	前期
基礎助産学(分担)	谷口	前期
看護学研究方法論Ⅱ(分担)	谷口	前期
Women's Health(分担)	谷口	前期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	谷口	後期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	谷口	後期
助産マネジメント論Ⅱ(分担)	谷口	後期
Women's Healthヘルスプロモーション特論Ⅰ(分担)	谷口	後期
地域生活ケアシステム論Ⅰ	鳩野	前期
看護学研究方法論Ⅰ(分担)	鳩野	春学期
地域国際母子保健論Ⅰ(分担)	鳩野	春学期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	川田	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	川田	前期
地域国際母子保健論Ⅰ(分担)	川田	春学期
地域国際母子保健論Ⅱ	川田	夏学期
Women's Health(分担)	川田	春学期
周産期の薬理学	川田	夏学期
Women's Health補完代替医療	川田	春学期
基礎助産学(分担)	川田	前期
Women's Healthヘルスプロモーション特論Ⅰ(分担)	川田	後期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	川田	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	寺岡	前期
看護学研究方法論Ⅰ(分担)	寺岡	春学期
看護学研究方法論Ⅰ(分担)	前野(有)	春学期

地域生活ケアシステム論 I	前野 (有)	前期
助産診断・技術学 I (分担)	野口	前期
Women's Health (分担)	野口	前期
リプロサイエンス I (分担)	野口	前期
基礎助産学 (分担)	野口	前期
国際社会とチーム医療 (分担)	野口	後期
リプロサイエンス II (分担)	野口	後期
助産マネージメント論 I	野口	秋学期
助産マネージメント論 II (分担)	野口	秋学期
生命倫理・遺伝相談カウンセリング論 (分担)	野口	冬学期
助産診断・技術学 I (分担)	佐藤	春学期
助産診断・技術学 II (分担)	佐藤	夏学期
助産診断・技術学 III (分担)	佐藤	後期
基礎助産学 (分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学 I (分担)	福田	前期
助産診断・技術学 II (分担)	福田	前期
助産診断・技術学 III (分担)	福田	後期

## 2. 大学院実験・実習

助産学実習 I (分担)	谷口	後期
助産学総合実習 II (分担)	谷口	前期
助産学総合実習 I(分担)	谷口	後期
助産学総合実習 II (分担)	谷口	前期
助産学総合実習 I (分担)	川田	後期
助産学総合実習 I (分担)	野口	後期
助産学実習 II (分担)	野口	後期
助産学実習 I (分担)	野口	後期
助産学総合実習 I (分担)	佐藤	前期
助産学総合実習 II (分担)	佐藤	前期
助産学実習 I (分担)	佐藤	後期
助産学実習 I (分担)	福田	後期
助産学総合実習 I (分担)	福田	後期
助産学実習 II (分担)	福田	後期

## 3. 大学院演習

看護学特別研究	谷口	通年
高次助産診断・技術学演習 (分担)	谷口	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論 II (分担)	谷口	後期
地域国際母子保健論 II (分担)	谷口	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論 II (分担)	谷口	後期
保健学特別研究	鳩野	通年
看護学特別研究	川田	通年
Women's Health ヘルスプロモーション特論 II	川田	後期
高次助産診断・技術学演習 (分担)	野口	後期
Women's Health ヘルスプロモーション特論 II (分担)	野口	後期
地域国際母子保健論 II (分担)	野口	後期
高次助産診断・技術学演習 (分担)	佐藤	後期

## 4. 大学院修士課程修了者

池田 美紀	第3次医療施設における妊産褥婦の妊娠中、産後早期の心身疲労および育児への影響
鄭 香苗	出産後の育児体験が女性の人生にもたらす意味
長谷川 泰代	想定外の妊娠経過ではじまった出生直後からの親子分離が男性にもたらす意味
西 ひとみ	高齢初産で児がNICU入院となった母親の母乳育児を通じた思い
緒方 紫璃沙	女子大学生の月経観からみる母性準備期の認識と今後の課題
迫 彩花	女子大学生の女性性の認識とライフプランニングに対する意識
竹内 明香	羊水検査受検前後の妊婦の思いと支援の検討
溝口 巴奈	初めて親になる男性における、父親としての発達と妻・パートナーの里帰りとの関連
古賀 日向子	大学生における子宮頸がんに関する知識および検診受診行動に影響する要因
松尾 里沙	産後4か月までの授乳支援が育児期における女性の生活満足度や産褥期育児肯定感に及ぼす影響について

## 5. 大学院博士課程修了者 なし

## 6. 学部講義

母性看護学各論Ⅰ（分担）	谷口	冬学期
母性看護学各論Ⅱ（分担）	谷口	春学期
国際保健と医療（分担）	谷口	後期
国際保健と医療（分担）	鳩野	後期
公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	鳩野	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	鳩野	夏学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ（分担）	鳩野	前期
保健医療福祉行政論Ⅱ（分担）	鳩野	前期
疫学（分担）	鳩野	秋学期
公衆衛生看護学概論（分担）	鳩野	後期
公衆衛生看護管理論（分担）	鳩野	秋学期
母性看護学概論（分担）	川田	春学期
母性看護学各論Ⅱ（分担）	川田	春学期
看護研究Ⅱ（分担）	川田	夏学期
母性看護学各論Ⅰ（分担）	川田	冬学期
国際保健と医療（分担）	川田	後期
公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	寺岡	前期
公衆衛生看護学概論（分担）	寺岡	後期
公衆衛生看護管理論（分担）	寺岡	後期
在宅看護論概論	寺岡	秋学期
看護研究Ⅰ（分担）	寺岡	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅰ（分担）	前野（有）	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	前野（有）	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ（分担）	前野（有）	前期
保健医療福祉行政論Ⅰ（分担）	前野（有）	春学期
保健医療福祉行政論Ⅱ（分担）	前野（有）	前期
看護研究Ⅰ（分担）	前野（有）	春学期
母性看護学各論Ⅱ（分担）	野口	春学期



母性看護学概論 (分担)	野口	春学期
母性看護学各論Ⅰ (分担)	野口	冬学期
公衆衛生看護支援論Ⅰ (分担)	木村	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ (分担)	木村	前期
保健医療福祉行政論Ⅱ (分担)	木村	前期
疫学 (分担)	木村	秋学期
母性看護学各論Ⅱ (分担)	佐藤	春学期
母性看護学各論Ⅰ (分担)	佐藤	冬学期
母性看護学各論Ⅱ (分担)	福田	春学期
母性看護学各論Ⅰ (分担)	福田	冬学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ (分担)	藤田 (貴)	前期
保健医療福祉行政論Ⅱ (分担)	藤田 (貴)	前期
公衆衛生看護学概論 (分担)	藤田 (貴)	後期
保健統計学	藤田 (貴)	冬学期

## 7. 学部の実験・実習・演習

総合実習 (分担)	谷口	前期
母性看護学各論Ⅱ (分担)	谷口	春学期
母性看護学実習 (分担)	谷口	後期
卒業研究 (分担)	谷口	通年
公衆衛生看護学実習Ⅰ (分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ (分担)	鳩野	前期
卒業研究 (分担)	鳩野	通年
総合実習 (分担)	川田	前期
母性看護学実習 (分担)	川田	後期
卒業研究 (分担)	川田	通年
在宅看護論各論 (分担)	寺岡	前期
在宅看護論実習 (分担)	寺岡	通年
総合実習 (分担)	寺岡	前期
卒業研究 (分担)	寺岡	通年
公衆衛生看護学実習Ⅰ (分担)	前野 (有)	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ (分担)	前野 (有)	前期
総合実習 (分担)	前野 (有)	前期
卒業研究 (分担)	前野 (有)	通年
母性看護学実習 (分担)	野口	後期
総合実習 (分担)	野口	前期
卒業研究 (分担)	野口	通年
在宅看護論各論 (分担)	木村	前期
在宅看護論実習 (分担)	木村	通年
総合実習 (分担)	木村	前期
卒業研究 (分担)	木村	通年
母性看護学各論Ⅱ (分担)	佐藤	前期
総合実習 (分担)	佐藤	前期
卒業研究 (分担)	佐藤	通年
母性看護学実習 (分担)	佐藤	後期
母性看護学各論Ⅱ (分担)	福田	前期
総合実習 (分担)	福田	前期
卒業研究 (分担)	福田	通年

母性看護学実習（分担）	福田	後期
公衆衛生看護学実習Ⅰ（分担）	藤田（貴）	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ（分担）	藤田（貴）	前期
在宅看護論各論（分担）	藤田（貴）	前期
在宅看護論実習（分担）	藤田（貴）	通年
卒業研究（分担）	藤田（貴）	通年

## 8. 卒業論文作成者

小島久海子	育児支援制度の変遷と育児ストレスとの関係
中村優花	持続可能な開発目標実現に向けた世界各国における助産師の活動とその課題
黒木美帆	在日外国人の日本における妊娠・出産・育児で経験する困難と対処
福谷成美	居宅型介護施設における終末期ケアに関する課題
河野麻理亜	成人における介入プログラムの違いによる運動習慣継続に関する文献検討
伊東萌絵	妊娠期の母親役割に関する因子の検討
木津朱音	周産期における就労の身体的・精神的影響：文献検討
坂井美帆	高齢出産をした女性の妊娠期・産褥期における思い—35歳以上と40歳代との比較—
宮原あゆ美	妊娠期の妻・パートナーを持つ男性の父性意識の文献検討
白石柚実	ターミナルケアを実践する看護師が患者とのコミュニケーションにおいて感じる戸惑いや困難感に関する文献研究
田口絵莉子	地域住民の介護予防を目指した運動機能向上プログラムに関する文献検討
長嶺友里香	認知症高齢者の笑いに着目した介入方法に関する文献検討
勝見柚月	電子カルテ導入による看護業務の時間変化に関する文献検討
下野杏奈	個別支援における保健師の困難感とその事例に関する文献検討
山崎未紗	強迫性障害患者に対する認知行動療法を応用した介入とその効果
入江万葉	産後の会陰部痛がもたらす影響と疼痛緩和のための援助
上田裕佳	児童虐待予防のための看護職の役割 および効果的な支援の考察
黒田百花	妊娠中の効果的な体重管理支援の検討 —やせ、やせ志向妊婦の意識・知識・行動に着目して—
高柳佳織子	自宅出産や助産所出産を選択した妊産婦の体験とその思い
平石優香	闘病後子どもを亡くした母親に対するグリーフケアに関する文献検討
吉田奈央	地域で子育てを行う母親のしつけと称した身体的虐待の現状と虐待予防を目的としたプログラムに関する文献検討
浦元千裕	妊娠中の胎教による周産期への効果の検討
鳥山理香	帝王切開妊産婦が周産期に抱く思い—経膈分娩妊産婦との比較を通して—

## 9. 研究生 なし

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

- 1 モンゴルの妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ 谷口
- 2 Transition の概念を用いた女性と家族の各ライフステージに影響を及ぼす性と生殖に関する問題に関する研究 谷口

3	母親・父親になる過程に関する研究	谷口
4	地域国際母子保健に関する研究	谷口
5	シミュレーション学習に関する研究	谷口
6	中堅保健師のワークエンゲイジメントの影響要因とその強化方策に関する研究	鳩野
7	出産後の母子の QOL 向上を目的とする妊娠期ケアの研究	川田
8	健康行動と母子関係に関する研究	川田
9	健康行動と母子関係に関する研究環境汚染の母子への影響に関する研究	川田
10	住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解に関する研究	寺岡
11	認知症高齢者の QOL に関する研究	寺岡
12	市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発	前野 (有)
13	思春期における健康支援・健康教育に関する研究	野口
14	妊娠・分娩・産褥期の母児の健康支援・健康教育に関する研究	野口
15	生活習慣・光環境が妊娠中の母児に与える影響に関する研究	野口
16	助産学シミュレーション教育に関する研究	野口
17	地域保健分野における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討ーラ ンダム化比較試験ー	木村
18	幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムに関す る研究	木村
19	妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに対する自己効力感	佐藤
20	母親と子どものボンディング/愛着形成に関する研究	末次
21	産褥期・育児に関する研究	福田
22	喫煙が健康に与える影響	藤田 (貴)

## 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

谷口 初美

- 「基盤研究 (C)」 日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 谷口 (代表).
- 「基盤研究 (C)」 看護シミュレーション教育の充実を目指したファシリテータ育成プログラム構築, 谷口 (分担).
- 「基盤研究 (C)」 看護シミュレーション教育ファシリテータの自信を育てるプログラムの開発, 谷口 (分担).

鳩野 洋子

- 「基盤研究 (C)」 中堅保健師のワークエンゲイジメントの影響要因と強化方策に関する研究, 鳩野 (代表).
- 「基盤研究 (C)」 住民ボランティアの認知症予防と認知症理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 鳩野 (分担).
- 「基盤研究 (C)」 組織変容を伴うプリセプター保健師教育支援プログラムの開発, 鳩野 (分担).
- 「基盤研究 (C)」 中高年ジェネラリストナースの役割遂行尺度の開発, 鳩野 (分担).
- 「基盤研究 (C)」 地区組織のコミュニティ・エンパワメントモデルの適用とハンドブックの作成, 鳩野 (分担).
- 「基盤研究 (C)」 高齢者世代が参画する地域のつながりを重視した効果的な子育て支援プログラムの開発, 鳩野 (分担).

川田 紀美子

- 基盤研究 (C) 「日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 川田 (分担)

寺岡 佐和

- 「基盤研究 (C)」 住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 寺岡 (代表).
- 「基盤研究 (C)」 在宅で暮らす認知症高齢者の生活能力活性化に向けた園芸療法の開発に関する研究, 寺岡 (代表).

前野 有佳里

- 「基盤研究 (C)」市町村保健師の処遇困難事例への支援技術教育プログラムの開発, 前野 (有) (代表).

野口 ゆかり

- 基盤研究 (C) 日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 野口 (分担).

木村 一絵

- 「基盤研究 (C)」地域保健における子育てプログラム CARE の効果的な実践方法の検討, 木村 (代表).

佐藤 洋子

- 「若手研究」妊娠糖尿病発症および周産期合併症に関連する生活因子調査, 佐藤 (代表).
- 基盤研究 (C) 日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 佐藤 (分担).

末次 美子

- 基盤研究 (C) 日蒙助産師で行なうモンゴル妊婦肥満改善のためのアクションリサーチ, 末次 (分担).

藤田 貴子

- 「研究活動スタート支援」健診・レセプトデータを使用した長期的な禁煙維持に影響を与える要因の評価, 藤田 (貴) (代表).
- 「基盤研究(B)」電子レセプトを活用した高齢者における市販後薬剤疫学研究, 藤田 (貴) (分担).

### 3. 学内研究経費の受入れ

- 「研究補助者雇用支援 (短期)」研究補助者雇用支援 (短期), 谷口 (代表)

### 4. 奨学寄付金の受入れ なし

### 5. その他の外部研究資金の受入れ なし

### 6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

### 7. 研究成果の報告

#### a. 学会誌・学術専門誌

- 草野恵美子, 鳩野洋子, 中山貴美子, 合田加代子 : 高齢者による子育て支援に関する研究についての文献検討, *大阪医科大学看護研究雑誌*, 9, 79 - 88, 2019年03月. (査読あり)
- 鳩野洋子, 鈴木浩子: 市町村保健師の管理職としての能力獲得に寄与した保健師としての経験, *日本職業・災害医学会誌*, 67, 2, 139 - 145, 2019年03月. (査読あり)
- 緒方文子, 鳩野洋子, 野津昭文: 5日目連続夜勤における疲労とストレスの変動, *日本職業・災害医学会誌*, 66, 6, 492 - 498, 2018年11月. (査読あり)
- Miho Iwaki, Yoko Hatono: Construction of a Positive Perception Model of Amyotrophic Lateral Sclerosis Caregivers, *Journal of the Japanese Society of Medical Networking for Intractable Disease*, 5, 2, 15 - 27, 2018年11月. (査読あり)
- 久保善子, 鳩野洋子, 久保智英, 島本さと子, 中谷淳子: 産業看護職のキャリアアンカーに影響する要因の検討, *日本職業・災害医学会誌*, 66, 6, 476 - 485, 2018年11月. (査読あり)
- 鳩野洋子, 島田美喜, 弓場英嗣, 尾島俊之, 増田和茂: 市町村保健センターにおける住民に生じたアクシデント・インシデントの内容, *厚生指標*, 65, 5, 27 - 34, 2018年05月. (査読あり)
- Yoshiko Kubo, Yoko Hatono, Tomohide Kubo, Satoko Shimamoto, Junko Nakatani: Relationship between Job and Home Life Satisfaction and Demographic Characteristics among Occupational Health Nurses in Japan, *Japanese Journal of Occupational Medicine and Traumatology*, 66, 4, 289 - 296, 2018年07月. (査読あり)

- Kimiko Kawata and Yoko Shimamatsu: Multiple Aspects of Expanding the Accuracy of Axillary Temperature Measurement Methods, *International Journal of Nursing & Clinical Practices*, 2018年08月. (査読あり)
- 福田陽子, 有吉直美, 植木さゆり, 木原由美子, 片瀬高, 末次美子: 幼児へのスマートフォン使用による育児の実態と母親の抑うつ症状との関係, *日本母性衛生学会*, 2018年08月. (査読あり)
- Takako Fujita, Akira Babazono, Yumi Harano, Peng Jiang: Risk of depressive disorders after tobacco smoking cessation: a retrospective cohort study in Fukuoka, Japan, *BMJ open*, 9, 3, e025124 -, 2019年03月. (査読あり)
- Yumi Harano, Akira Babazono, Takako Fujita, Peng Jiang: Efficacy of S-1 monotherapy for older patients with unresectable pancreatic cancer A retrospective cohort study, *Journal of Geriatric Oncology*, 2018年09月. (査読あり)
  - Takako Fujita, Akira Babazono, Yumi Harano, Peng Jiang: Secondhand Smoke and Streptococcal Infection in Young Children Under Japan's Voluntary Tobacco-Free Policy, *Population Health Management*, 2018年08月. (査読あり)

b. **国際会議・国際学会などのプロシーディングス**

- Hatsumi Taniguchi, Yoko Sato, Kumiko Adachi, Davaasuren Serdamba, Utako Yamamoto, Kiyoko Okamoto: Positive Outcomes of Twinning project between Mongolian Midwives Association and Japanese Midwives Association using First National Survey, ICM, 2018年09月6日, Dubai.
- Yuki Nakamichi, Yoko Sato, Kumiko Adachi, Davassuren Serdamba, Utako Yamamoto, Kiyoko Okamoto, Hatsumi Taniguchi: Mongolian midwives: Nationwide trial of maternal obesity prevention campaign using pamphlet and mobile App, 8th Hong Kong International Nursing Forum, 2018年12月17日, Hong Kong.
- Yoko Hatono, Tamami Matsumoto, Miki Shimada: The reality of work engagement among municipal public health nurses in Japan, and related factors, 22th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2019年01月17日, Singapore.
- Kazuko Kawaguchi, Yoko Hatono: Development of a role scale for middle-aged generalist nurses in Japan, 22th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2019年01月18日, Singapore
- Hitomi Matsuura, Yoko Hatono: The relationship between social capital and the need for long-term nursing care by electoral district, 22th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2019年01月18日, Singapore.
- Kimiko Kawata, Rika Toyomasu: Quantitative content analysis of an ideal father image among men before becoming fathers, the 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars, 2019年01月17日, Singapore.
- Teraoka, S., Konishi, M: Changes in the mental health of elderly with dementia resulting from a horticultural activity as a part of multifunctional long-term care in a small group home, 22nd EAFONS Conference, 2019年01月17日, Singapore
- Yukari Maeno, Yoko Hatono: Evaluation of the training program for phns the skills required to support interventions for mentally ill people with complex conditions, 22th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2019年01月17日, Singapore.
- Toshiko Kamo, Yuka Fukumaru, Kayano Kodaira, Hitoe Kimura: Child-Adult Relationship Enhancement (CARE) in Japan, 2018 PCIT World Congress, 2018年06月26日, Germany.
- Hitoe Kimura, Kazuko Ishigaki, Yukako Shigematsu, Toshiko Kamo, Yuka Fukumaru, Ikuko Kato, Etsuko Kamura, Eriko Uchida, Akihiko Nishioka: The effectiveness of CARE Program for Japanese mothers in health center to reduce child maltreatment and negative cognition of child rearing, A randomized controlled trial, 2018 PCIT World Congress, 2018年06月27日, Germany.
- Yoko Sato, Yuki Nakamichi, Kumiko Adachi, Davassuren Serdamba, Badarch Jargalsaikhan, Utako Yamamoto, Kiyoko Okamoto, Hatsumi Taniguchi: Mongolian mothers: Nationwide trial of maternal obesity prevention campaign using pamphlet and mobile App, The 8th Hong Kong International Nursing Forum, 2018年12月17日, Hong Kong.
- Yumi Nishikii, Yoshiko Suetsugu, Hiroko Suzumiya, Hiroshi Yamashita, Keiko Yoshida: Self-Report Screening and Diagnostic Interviews in regard to Bonding Disorders, Stafford Symposium, 2018年05月25日, United Kingdom.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- Chie Tokuhara, Hatsumi Taniguchi: Characteristics of Japanese Paternal Depression from Literature Reviews, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月03日03日, 福岡.
- Saya Fujii, Hatsumi Taniguchi: Life Planning of Male University Students-How Can We as health Providers Support Them to Have Their Future Plans?, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月03日, 福岡.
- 谷口初美, 世界に躍進する日本の助産〜いのちの担い手, 愛と知と技〜第33回日本助産学会学術集会会長講演, 2019年03月02日, 福岡.
- 仲道由紀, 佐藤洋子, 安達久美子, 山本詩子, 岡本喜代子, 谷口初美.: 全国調査を通して変化したモンゴル助産師の妊婦肥満に関する認識, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月03日, 福岡.
- 柴田美里, 谷口初美: 産後の抑うつを経験し再び妊娠・出産する母親の思い, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月02日, 福岡.
- 原田恵里, 谷口初美: 母として, 看護師としての生き方を問うてきた看護師長の経験の意味, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月03日, 福岡.
- 鄭 香苗, 谷口初美: 産後の育児体験が女性の人生に与える意味, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月02日, 福岡.
- 池田美紀, 谷口初美: 第3次医療施設における妊産褥婦の妊娠中, 産後早期の心身疲労および育児への影響, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月02日, 福岡.
- 長谷川泰代, 谷口初美: 初めての子どもとの分離〜出生直後から児のNICU入室が男性にもたらす意味〜., 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月03日, 福岡.
- 小島久海子, 福田陽子, 谷口初美: 育児支援制度の変遷と育児ストレスとの関係, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月03日, 福岡.
- 中村優花, 福田陽子, 谷口初美: 持続可能な開発目標実現に向けた世界各国における助産師の活動とその課題, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月03日, 福岡.
- 迫 彩花, 谷口初美: 女子大学生の女性性の認識とライフプランニングに対する意識., 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月02日, 福岡.
- 緒方紫璃沙, 谷口初美: 女子大生の月経観からみる母性準備期の認識と今後の課題, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月02日, 福岡.
- 中村由希, 田中はるか, 末次美子, 佐藤洋子, 長谷川泰代, 梶原世津, 光武玲子, 谷口初美: ハイリスク妊婦の産後の抑うつ傾向, 胎児・新生児への愛着形成の実態と関連要因, 第33回日本助産学会学術集会, 2019年03月03日, 福岡.
- 鳩野洋子, 岡順子, 緒方文子, 後藤智江, 嶋津多恵子, 住徳松子, 松尾和枝: 健診データは誰のもの?—倫理的な観点から—, 第7回日本公衆衛生看護学会, 2019年01月27日, 宇部市.
- 鳩野洋子, 松本珠実, 島田美喜, 青木亜砂子: 市町村中堅保健師の停滞感とそれに影響する要因, 第7回日本公衆衛生看護学会, 2019年01月27日, 宇部市.
- 川口賀津子, 鳩野洋子: 中高年ジェネラリスト看護師の役割遂行尺度の開発, 日本看護科学学会, 2018年12月15日, 松山市.
- 鳩野洋子: 市町村保健師のワークエンゲイジメントへの関連要因—新任期中堅期の比較から—, 日本看護科学学会, 2018年12月15日, 松山市.
- 中山貴美子, 鳩野洋子, 金子仁子, 草野恵美子: 市町村保健師が抱える地域組織活動展開上の課題, 第77回日本公衆衛生学会, 2018年10月25日, 福島市.
- 鳩野洋子, 松本珠実, 島田美喜: 市町村中堅保健師のワークエンゲイジメントの実態と関連要因, 第77回日本公衆衛生学会, 2018年10月25日, 福島市.
- 島田美喜, 鳩野洋子, 弓場英嗣, 持田ゆりえ, 尾島俊之, 増田和茂: 市町村保健センターの機能や役割の実態, 第77回日本公衆衛生学会, 2018年10月25日, 福島市.
- 久保善子, 鳩野洋子, 久保智英, 島本さと子, 中谷淳子: ストレスチェック制度における産業保健師のコンピテンシーに関する検討—企画立案に焦点をあてて—, 第77回日本公衆衛生学会, 2018年10月25日, 福島市.

- 久保善子, 鳩野洋子, 久保智英, 島本さと子, 中谷淳子: どのような働き方が産業看護職の仕事の満足度の向上に結びつくのか?: 属性による検討, 第 91 回日本産業衛生学会, 2018 年 05 月 17 日, 熊本.
- 川田紀美子, Pattara Khamlin, 野村 明子, 清水優子, Ariful Hoque, 奥田知明, 沖津祥子, 高梨さやか, 西村光司, 早川 智, 牛島廣治: 環境中ウイルス検出の試みー雨水・塵埃を介しての感染の可能性ー, 福岡から診る大気環境研究所研究会, 2019 年 01 月 14 日, 福岡.
- 野村明子, 清水優子, Ariful Hoque, 奥田知明, 川田紀美子, 沖津祥子, 高梨さやか, 西村光司, 早川智, 牛島廣治: 環境中の腸管ウイルスの検討(その2)ー雨水・塵埃を介しての感染の可能性ー, 第 59 回日本臨床ウイルス学会, 2018 年 06 月 10 日, 埼玉.
- 原山和子, 川田紀美子: 10 代女性の妊娠・出産・育児に対する助産師の意識と支援への影響要因, 第 27 回福岡母性衛生学会学術集会, 2018 年 07 月 1 日, 福岡.
- 豊増理伽, 川田紀美子: 第一子妊娠末期の妻を持つ男性における, 理想の父親像と妊婦に対する夫の役割行動実践との関連, 第 59 回日本母性衛生学会学術集会, 2018 年 10 月 19 日, 新潟.
- 山中ちさと, 川田 紀美子: 加齢と妊孕性を意識したライフプラン教育に関する文献研究, 日本思春期学会, 2018 年 08 月 19 日, 一橋大学.
- 松尾笑子, 川田紀美子: 「妊娠期の母親役割」の概念分析, 第 27 回福岡母性衛生学会学術集会, 2018 年 07 月 1 日, 福岡.
- 伊東萌絵, 川田紀美子: 妊娠期の母親役割に関する因子の検討, 第 33 回日本助産学会学術集会, 2019 年 03 月 02 日, 福岡.
- 木津朱音, 川田紀美子: 周産期に関連する就労の身体的・精神的リスク: 文献検討, 第 33 回日本助産学会学術集会, 2019 年 03 月 03 日, 福岡.
- 宮原あゆ美, 川田紀美子: 妊娠期の妻・パートナーを持つ男性の父性意識の概念分析, 第 33 回日本助産学会学術集会, 2019 年 03 月 03 日, 福岡.
- 木村一絵, 賀村悦子: CARE プログラムの母親のうつ傾向軽減に対する効果-ランダム化比較試験-, 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2019 年 01 月 26 日, 宇部市.
- 賀村悦子, 山田小織, 馬場ちえみ, 木村一絵: 大野城市における保健師人材育成の取り組み, 第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2019 年 01 月 27 日, 宇部市.
- 笠原亜希子, 木村 一絵, 石垣和子, 賀村悦子, 内田絵利子, 西岡昭彦, 加茂登志子, 福丸由佳: 子育て中の母親が CARE プログラムを学ぶ意義～言葉かけの変化～, 第 8 回 PCIT-Japan & CARE-Japan 合同研究会, 2018 年 12 月 9 日, 明治大学(東京).
- 木村 一絵, 石垣和子, 加茂登志子, 重松由佳子, 福丸由佳, 笠原亜希子, 賀村悦子, 内田絵利子, 西岡昭彦: 地域保健分野における CARE プログラムの実施状況と効果, 第 8 回 PCIT-Japan & CARE-Japan 合同研究会, 2018 年 12 月 9 日, 明治大学(東京).
- 上田栄一郎, 木村 一絵, 服巻智子, 本村亜希子, 加茂登志子: 慢性疾患を持つ子どもを支援している専門家に対する CARE の実践報告, 第 8 回 PCIT-Japan & CARE-Japan 合同研究会, 2018 年 12 月 9 日, 明治大学(東京).
- 木村一絵, 石垣和子, 重松由佳子: CARE プログラムの子どもの問題行動軽減に関する効果-ランダム化比較試験-, 第 38 回日本看護科学学会学術集会, 2018 年 12 月 17 日, 松山市.
- 立石礼望, 木村一絵, 村上弘子, 濱田正美, 橋口暢子: 新規薬剤採用に対する看護師の対処行動に及ぼす要因, 第 38 回日本看護科学学会学術集会, 2018 年 12 月 16 日, 松山市.
- 佐藤洋子, 仲道由紀, 安達久美子, 山本詩子, 岡本喜代子, 谷口初美: 全国調査を通して変化したモンゴルの母親の妊婦肥満に対する認識, 第 33 回日本助産学会学術集会, 2019 年 03 月 02 日, 福岡.
- 佐藤洋子: 日本助産師会とモンゴル助産師会の Twinning Project の成果, 第 33 回日本助産学会学術集会, 2019 年 03 月 03 日, 福岡.
- 錦井友美, 末次美子, 山下洋, 吉田敬子: ボンディング障害の下位分類と育児支援のあり方について, 第 28 回日本乳幼児医学・心理学会, 2018 年 12 月 8 日, 東京.
- 藤田貴子, 馬場園明, 原野由美, 姜鵬: 職場背景からみた労働者の喫煙率について, 医療福祉経営マーケティング研究会, 2019 年 03 月 16 日, 福岡市 .
- 原野 由美, 馬場園 明, 姜 鵬, 藤田 貴子: Therapeutic interchange の効果に関する集団ベース研究, 日本医療・病院管理学会, 2018 年 10 月 28 日, 郡山市 .

#### f. 学会以外での講演, 発表

- 谷口初美: Process of activities and plan for the future between MMA & JMA: HAPPY BIRTH & HAPPY BABY PROJECT, 2018年8月17日, Ulaanbaatar, Mongolia.
- 佐藤洋子: Report of the 2<sup>nd</sup> nationwide survey of perception of midwives & mothers on obesity during pregnancy, 2018年8月, Ulaanbaatar, Mongolia.

#### 著作

##### a. 単行本

- 谷口初美: (共著) 2019年版 看護師国家試験問題集, 2018年04月, 医学書院.
- 谷口初美: 「アタッチメントを活かそう〜産後の母親の心を支える」チャイルドケア, 2019年02月.
- 寺岡 佐和: (共著) 2019年版 保健師国家試験問題集, 2018年04月, 医学書院.
- 前野 有佳里: (共著) 2019年版 保健師国家試験問題集, 2018年04月, 医学書院.

##### b. 総説

- 谷口初美: ICMからのレポート in 2018年下半年—ICM 西太平洋, 東南アジア, 東地中海3地域合同会議—, 助産師, 2019年02月.
- 谷口初美: モンゴル助産師会との Twinning Project 最終全国調査進捗状況と今後の方針 Happy Birth & Happy Baby Project に向けて, 助産師, 2018年08月.
- 谷口初美: 第2回 ICM 年次理事会に出席して, 助産師, 2018年08月.
- 佐伯和子, 野村美千江, 澤井美奈子, 鈴木知代, 當山裕子, 鳩野洋子, 宮崎紀枝: 保健師のコアカリキュラム, 保健師教育, 2018年06月.
- 野村美千江, 澤井美奈子, 鈴木知代, 當山裕子, 鳩野洋子, 宮崎紀枝, 佐伯和子: 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム(2017)の構築と狙い, 保健師ジャーナル, 2018年06月.
- 佐藤洋子, 谷口初美: モンゴル母子保健セミナー報告, 助産師, 2019年02月.

##### c. 解説, 書評など なし

#### 受賞

- 谷口, 「母子保健家族計画事業功労者」, 福岡県知事表彰, 福岡県知事表彰, 2018年11月.

#### 報道

- 木村, ケーブルステーション福岡, 「コミュニティチャンネル2755において, 大野城市 CARE プログラムの様子が放映された。」, 2018年09月.

#### 4. 産学連携活動

1. 共同研究 モンゴル助産師会との Twinning Project
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし



## 5. 国際交流・協力活動

### 1. 海外出張・研修出張

- 谷口, ICM Board meeting, (Netherlands), 2018年5月27日～6月2日(2週間未満)
- 谷口, ベトナム母子保健研修, 2018年7月24日～28日, ベトナム, (2週間未満)
- 谷口, ICM Twinning Project-モンゴル助産師会 (Mongolia), 2018年08月～2018年08月(2週間未満)
- 谷口, ICM 地域会議 (ドバイ), 9月4日～9日(2週間未満)
- 木村, 2018 PCIT World Congress (Germany), 国際会議, 2018年06月～2018年06月, Germany (2週間未満)
- 佐藤, ICM Twinning Project-モンゴル助産師会 (Mongolia), 2018年08月～2018年08月(2週間未満)

### 2. 外国人研究者の受け入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 谷口, Gary Glauberman, PhD, RN, PHNA-BC, NHDP-BC (University of Hawaii の Instructor), 2018年6月19日

3. 留学生の受け入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

## 6. 学内行政事務などの担当

### 1. 全学委員

- 鳩野, 研究活動基礎支援専門委員会委員.
- 川田, 入学者選抜研究委員会委員.

### 2. 部局委員

- 谷口, 倫理審査委員会委.
- 寺岡, 馬出地区4部局合同男女共同参画FDワーキング委員.
- 藤田 (貴), 百人部会委員.

### 3. 部門・コース内委員

- 谷口, 広域生涯看護学講座長
- 谷口, 大学院委員会委員.
- 谷口, 地域国際FD委員会委員.
- 谷口, 国際ワーキング委員.
- 谷口, 施設環境委員会委員.
- 鳩野, 副部門長.
- 鳩野, 看護学分野長
- 鳩野, 将来計画, 点検・評価委員会委員.
- 鳩野, 人事委員会委員.
- 鳩野, 教員活動評価委員会委員.
- 鳩野, 再任審査委員会委員.
- 鳩野, 財務委員会委員.
- 鳩野, 総務委員会委員.
- 鳩野, 入学試験実施委員会委員.
- 鳩野, 保健学部門学生支援会運営委員会委員.
- 鳩野, 看護学分野実習委員会オブザーバー. -
- 鳩野, 卒業研究委員会オブザーバー. -

- 鳩野, 担任.
- 川田, 国際ワーキング委員.
- 川田, 実習委員会委員.
- 川田, 地域国際FD委員会委員.
- 川田, 担任.
- 寺岡, 教務委員会委員.
- 寺岡, 実習委員会委員.
- 寺岡, 担任.
- 前野 (有), 卒業研究委員長.
- 前野 (有), 分野実習委員会委員.
- 前野 (有), 担任.
- 野口, 福岡県看護協会福岡地区支部施設代表委員.
- 野口, 図書委員会委員.
- 野口, 保健学部門 KITE 連絡員.
- 野口, 保健学の明日を考える会委員.
- 木村, 地域・国際連携推進委員会委員.
- 木村, 看護学分野国際ワーキンググループ委員.
- 木村, FD実行委員会委員.
- 木村, 担任.
- 佐藤, 大学院院生係.
- 佐藤, 看護教育研究推進ワーキンググループ協力委員.
- 藤田 (貴), 大学院院生係.
- 福田, 卒業研究委員会委員.
- 福田, 看護教育研究推進ワーキンググループ協力委員.

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 谷口, 京都大学大学院医学研究科人間健康学系専攻.
- 谷口, 久留米大学医学部看護学科.
- 谷口, 関西看護医療大学.
- 末次, 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻家族看護学分野, 客員研究員.

### 2. 学協会

- 谷口, 日本助産学会, 理事, 国内.
- 谷口, 第33回日本助産学会学術集会, 会長, 国内.
- 谷口, 日本助産師会国際ワーキング委員会, 委員長, 国内.
- 谷口, 全国助産師教育協議会将来構想委員会委員, 国内.
- 谷口, 福岡母性衛生学会, 理事, 評議会(副議長), 国内.
- 谷口, 日本看護科学学会, 和文誌専任査読委員委員, 国内.
- 谷口, 日本母性衛生学会, 査読委員, 国内.
- 谷口, JANPU 国際交流推進委員会, 国内.
- 谷口, 九州大学助産師同窓会みのり会, 理事, 国内.
- 谷口, ICM(国際助産師連盟)理事(西太平洋担当), 国際.
- 谷口, AAPINA (Asian American Pacific Islander Nurses Association), その他(編集委員), 国際.
- 谷口, NGO「日本・ベトナムパートナーシップ」理事, 国際.
- 谷口, SheDecides Champion, 国際.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 倫理委員会委員長, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 理事, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 福岡医学雑誌, 編集委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 福岡県看護協会, 教育委員会委員, 国内.

- 鳩野, 一般社団法人全国保健師教育機関協議会, 保健師教育モデルコアカリキュラム普及委員会委員, 国内. -
- 鳩野, 教育と医学, 編集委員, 国内.
- 川田, 日本思春期学会性教育認定講師, 日本思春期学会, 国内.
- 川田, 思春期学研究認定者, 日本思春期学会, 国内.
- 川田, 九州大学助産師同窓会みのり会, 運営委員(庶務), 国内.
- 川田, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 川田, 日本母乳哺育学会, 査読委員, 国内.
- 川田, 日本母乳哺育学会, 編集委員, 国内.
- 川田, 第33回日本助産学会学術集会, 企画・実行委員, 国内.
- 寺岡, 日本認知症ケア学会, その他(認知症ケア専門士認定試験論述・面接審査員), 国内.
- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 運営委員(一般社団法人日本認知症ケア学会九州・沖縄1地域部会委員), 国内.
- 前野(有), 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内.
- 野口, 福岡県看護協会, 施設代表委員, 国内.
- 野口, 九州大学助産師同窓会, 幹事(庶務, 百周年記念誌編集委員会委員), 国内.
- 野口, 日本助産学会, 査読委員, 国内.
- 野口, 第33回日本助産学会学術集会, 企画・実行委員, 国内.
- 佐藤, 第33回日本助産学会学術集会, 企画・実行委員, 国内.
- 末次, 第33回日本助産学会学術集会, 企画・実行委員, 国内.
- 福田, 第33回日本助産学会学術集会, 企画・実行委員, 国内.

### 3. 官界

- 谷口, 福岡市総合計画審議会委員会委員, 福岡市.
- 谷口, 福岡市こども・子育て審議会委員, 福岡市.
- 谷口, 福岡市こども・子育て専門部会(権利擁護)委員, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡県地域保健従事者研修企画・運営委員会委員長」, 福岡県.
- 鳩野, 「看護基礎教育検討会保健師ワーキング委員会委員」, 厚生労働省. -
- 鳩野, 科学研究費委員会専門委員, 日本学術振興会.
- 鳩野, 大学設置・学校法人審議会 大学設置分科会 保健衛生学B専門委員会委員, 文部科学省.

### 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 鳩野, 「九州大学病院看護キャリアセンター運営委員会・副委員長」, 2018年.
- 寺岡, 「運営推進会議への参加および活動報告」, 2018年.

### 5. 公開講座・公開講演会

- 谷口, 佐藤, 他, 「ICM Twinning Project Workshop & Seminar-モンゴルの妊婦肥満予防への取り組みⅢ」開催, Ulaanbaatar, Mongolia, セミナー・研修会.
- 谷口, 「科研究費研修会」, 日本赤十字九州国際看護大学.
- 谷口, 「日本助産師会とモンゴル助産師会との Twinning Project の取り組み」助産師の Global Standards」JICA 関西国際センター.
- 谷口, 第33回日本助産学会学術集会, 公開講座「スマホに子守りをさせないで! ~赤ちゃんが健やかに育つために~」「子どものこころの発達・児童虐待と傷ついていく脳」, 福岡
- 鳩野, 「保健師研修・係長保健師研修」, 福岡市, セミナー・研修会.
- 鳩野, 「保健師研修・中堅後期保健師研修」, 福岡市, セミナー・研修会.
- 寺岡, 「平成30年度九州大学馬出地区4部局合同男女共同参画FD」, パネリスト, 九州大学医学部百年講堂, FD.
- 木村, 「親子に対する適切な言葉かけ」, NPO 法人チャイルドケアセンター, 大野城市ファミリー交流センター(大野城市), セミナー・研修会.
- 木村, 「保護者向け講演会「子どもと大人の絆を深めるプログラム-CARE-」」, 木の実保育園保護者会, 木の実保育園(福岡市), 講演会・公開討論.
- 木村, 「子どもと大人の絆をはぐくむ関わり方-CAREプログラム-」, 筑前町人権・同和教育推進協議会「保・幼・小・中の連携」分科会, 筑前町立夜須中学校(朝倉郡筑前町), 講演会・公開討論.

- 木村, 「平成 30 年度 第 2 回 すこやかエンゼルサポート事業研修会」, 大野城市こども健康課, 大野城市役所, 大野城市.
- 木村, 「平成 30 年度 第 1 回 すこやかエンゼルサポート事業研修会」, 大野城市こども健康課, 大野城市役所 (大野城市), セミナー・研修会.
- 木村, 「第 7 回 大野城市子ども療育支援センター事業研修会「子どもとの絆を深めるために, 今日からできることを学ぼう～子どもの「安全基地」になるために:CARE の効果について語ろう」 パネルディスカッションにおける司会・パネリスト」, 大野城市こども健康課, 大野城市まどかぴあ(大野城市), セミナー・研修会.

## 6. 初等中等教育への貢献

- 木村, 「「現代の子どもの生活と文化」子どもと絆を深めるプログラムーCAREーワークショップ」, 福岡県立三井高等学校 (小郡市), 講演・セミナー等.
- 佐藤, 「いのちの授業」, 杉の子保育園 (福岡市), 講演・セミナー等. 2019 年 02 月.

## 3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

# 医用量子線科学分野

## 《基礎放射線科学》

准教授	高橋 昭彦
教授	大喜 雅文
教授	有村 秀孝
准教授	納富 昭弘

### 1. 教育活動

#### 1. 大学院講義

基礎電磁波論	高橋	前期
基礎量子力学	大喜	後期
保健・医療とIT	大喜	前期
医用画像情報科学論	大喜	前期
量子線理工科学 I	有村	前期
量子線治療科学論	有村	後期
医学物理情報理論	有村	前期

#### 2. 大学院実験・実習 なし

#### 3. 大学院演習

医用量子線科学特別研究(高橋准教授)	高橋	通年
量子線理工科学 II	高橋	後期
基礎電磁波論	高橋	前期
量子線理工科学 I (分担)	大喜	通年
医用画像情報科学演習 (分担)	大喜	通年
医用量子線理工学演習	有村	前期
医用画像情報科学演習	有村	前期
医用量子線科学特別研究(有村教授)	有村	通年
量子線理工科学 II	有村	後期
保健学特別研究(有村教授)	有村	通年
量子線治療科学演習	有村	前期
量子線治療科学演習 (分担)	納富	前期
医用線量計測学	納富	後期

#### 4. 大学院修士課程修了者

長谷合 修	類似症例に基づくリスク臓器線量を考慮した肺放射線治療計画自動立案法 Automated treatment planning system based on similar cases with considering OAR doses for lung stereotactic body radiation therapy
二宮 健太	放射線治療計画における解剖学的特徴点に基づく前立腺位置推定法の開発 Influence of blade width and magnetic field strength on the apparent diffusion coefficient (ADC) on PROPELLER diffusion-weighted imaging (DWI) in head and neck.
永見 範幸	基準輪郭の観察者間変動を考慮した GTV 輪郭抽出精度の評価法 : 金属アーティファクト低減技術の放射線治療計画への影響

	Evaluation of delineation accuracy of GTV contours with considering interobserver variability in reference contours : Impact of MAR on radiation treatment planning
植木大志	CsI 自己放射化法の中性子レムカウンタ法への適用に関する研究 A Design Study of Application of the CsI Self-Activation Method to the Neutron Rem-Counter Technique
舟田圭太	モンテカルロシミュレーションを用いたドパミントランスポータ SPECT 画像化における最適条件の検討 ( Investigation of Optimum Conditions for Dopamine Transporter SPECT Imaging using Monte- Carlo Simulation)

## 5. 大学院博士課程修了者

廣瀬 貴章	Effect of accounting for interfractional CTV shape variations in PTV margins on prostate cancer radiation treatment plans PTV マージンにおける CTV 形状変動を考慮することによる前立腺癌放射線治療への影響
Haekal Mohammad (From Indonesia, International Student of MEXT Scholarship)(Ind onesia)	Computational analysis of interfractional anisotropic shape variations of the rectum in prostate cancer radiation therapy
栗原凌佑	CsI シンチレータの自己放射化法を応用した, 加速器 BNCT の日々の QA 用の中性子エネルギー spektrometa の設計研究 Preliminary design study of a simple neutron energy spectrometer using a CsI self-activation method for daily QA of accelerator-based BNCT

## 6. 学部講義

医用電気電子工学実験	高橋	後期
医用電子工学	高橋	後期
医用光学	高橋	秋学期
放射線技術科学入門 I	高橋	前期
電気電子工学入門	高橋	前期
放射線治療・核医学機器学	高橋	前期
基礎医療統計	大喜	後期
医用画像情報学 (分担)	大喜	後期
放射線診断機器学 (分担)	大喜	後期
物理数学 II	大喜	前期
放射線物理学	大喜	前期
物理数学 I	有村	前期
放射線診断機器学	有村	後期
医用画像情報学	有村	後期
物理数学 I	有村	前期
放射線治療技術学 I	有村	前期
MR画像技術学	有村	前期
放射線治療・核医学機器学	有村	前期
放射線計測学	納富	前期
原子核物理学	納富	後期

放射線治療・核医学機器学 (分担)	納富	前期
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	納富	前期
放射線治療計測学	納富	後期
放射線医学技術学概論 (分担)	納富	前期
放射線治療技術学実習 (分担)	納富	後期
放射線技術科学入門Ⅰ (分担)	納富	前期
放射線技術科学入門Ⅱ (分担)	納富	後期

## 7. 学部の実験・実習・演習

放射線機器学実験	高橋	前期
医用画像情報学実習	有村	夏学期
放射線機器学実験	有村	前期
放射線計測学実験 (分担)	納富	前期
放射線治療技術学実習 (分担)	納富	後期

## 8. 卒業論文作成者

吉田 晃	CHO 法を用いた F-18 PET 画像の微小病変検出能評価
山崎 祝子	各種コリメータによる Lu177 SPECT 画像の微小病変検出能の評価
空閑 愛希子	CHO 法による病変検出における病変部の濃度・大きさの変動の影響
北原 勇作	Ra-223 SPECT 画像の病変検出能に対するコリメータの影響について
山下 智也	DICOM サーバを用いた教育用画像データベースの構築
井上 茉優	ディープラーニングによる乳房腫瘍の鑑別診断支援
江頭 宏二	マンモグラフィにおいて乳腺濃度が転移学習の診断能へ及ぼす影響
緒方 寛	シェーグレン症候群の超音波画像診断における転移学習の最適化
吉久 亜希	頭頸部癌予後推定におけるウェーブレット基底関数の選択
平野 義郎	ディープラーニングを用いた前立腺腫瘍領域の自動抽出法の開発
中山 幸音	非小細胞肺癌患者における CT 画像上の形状特徴量を用いた予後推定
小柳 遼馬	前立腺癌のグリソンスコアとレディオミクス特徴量の関係性
坂本直哉	ヨウ素添加有機シンチレータを用いた自己放射化法による中性子計測の検討～液体シンチレータを用いた計測～
永易将充	ヨウ素添加有機シンチレータを用いた自己放射化法による中性子計測技術の検討～プラスチックシンチレータを用いた計測～
神崎祐依	CsI 板の自己放射化と CCD を用いた熱中性子ビーム測定と生成放射能の校正
津上唯佳	BNCT 場での瞬間的中性子照射に対する CsI シンチレータの自己放射化の適応可能性

## 9. 研究生

Leni Aziyus Fitri ( Ph.D. student of Bandung Institute of Technology in Indonesia by Sandwich program)(2018/9/14～2018/11/8)1 名

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導 なし



### 3. 研究活動

#### 1. 主要研究事項

- |    |   |    |      |
|----|---|----|------|
| 1  | モンテカルロシミュレーションの核医学応用に関する研究  | 高橋 | (公開) |
| 2  | 医用画像処理による診断支援   | 大喜 | (公開) |
| 3  | 医療系教育における e-Learning システムの構築とその評価                                 | 大喜 | (公開) |
| 4  | がん治療のレディオミクス(肺がん, 頭頸部癌, 前立腺がん)                                    | 有村 | (公開) |
| 5  | 多次元データ支援放射線治療法の開発(肺がん, 前立腺がん, 子宮頸がん)                              | 有村 | (公開) |
| 6  | 類似症例に基づく放射線治療自動立案法の開発   | 有村 | (公開) |
| 7  | 無症候性未破裂脳動脈瘤の検出支援システムの開発   | 有村 | (公開) |
| 8  | 放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発  | 有村 | (公開) |
| 9  | 高精度放射線治療計画支援システムの開発   | 有村 | (公開) |
| 10 | 多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発                                      | 有村 | (公開) |
| 11 | アルツハイマー病検出のためのコンピューター支援診断システムの開発                                  | 有村 | (公開) |
| 12 | 硼素中性子捕捉療法(BNCT)の物理工学的研究   | 納富 | (公開) |
| 13 | 医療応用の為の放射線計測技術ならびに線量評価技術の基礎的研究・新しい中性子線量評価技術の開発・医療用高感度中性子検出技術の開発研究 | 納富 | (公開) |

#### 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「特別研究員奨励費」「ピクセル型放射線検出器を用いた動的適応小線源治療システムの開発」(日本学術振興会特別研究員 DC1 Tran Thi Thao Nguyen), 有村(代表), 千円.(公開)
- 「基盤研究(C)」放射線治療で発生する中性子被ばく評価の為の簡便で高精度な分布測定システムの開発, 納富(代表), 800 千円.(公開)

#### 3. 学内研究経費の受入れ

- 「数理・データサイエンスに関する教育・研究支援プログラム」臨床画像データサイエンティストの育成を目指した画像情報演習の開発, 有村(代表), 千円.(公開)

#### 4. 奨学寄付金の受入れ なし

#### 5. その他の外部研究資金の受入れ あり(非公開)

#### 6. 受託研究員・研修員の受入れ ※※システムに対応項目なし※※

#### 7. 研究成果の報告

##### a. 学会誌・学術専門誌

- Akihiko Takahashi, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Assessment of collimators in Radium-223 imaging with channelized Hotelling observer: a simulation study, *Annals of Nuclear Medicine*, 32, 10, 649 – 657, 2018 年 12 月. (査読あり)(公開)
- Tran Thi Thao Nguyen, Hidetaka Arimura, Ryosuke Asamura, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Jun-ichi Fukunaga: Comparison of volumetric-modulated arc therapy and intensity-modulated radiation therapy prostate cancer plans accounting for cold spots, *Radiological Physics and Technology 2019 (accepted on Jan 31, 2019)*, , 2019 年 03 月. (査読あり)(公開)
- Noriyuki Nagami, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi, Mitsutoshi Ohishi, Takeshi Imaizumi, Yoshimasa Yamagushi, Kenta Ninomiya, Sunao Tokumaru, Shingo Toyama, Kanako Kawasaki, Aiko Kitazato, Satoshi Takita, Kouji Uba, Hiroyuki Irie: An approach for evaluation of delineation accuracy of GTV contours with considering interobserver variability in reference contours: Impact of MAR on radiation treatment planning, *Medical Imaging and Information Sciences 2019 (in press)*, , 2019 年 03 月. (査読あり)(公開)
- Kenta NINOMIYA, Hidetaka ARIMURA, Motoki SASAHARA, Yudai KAI, Taka-aki HIROSE, Saiji OHGA: Feasibility of anatomical feature points for estimation of prostate locations in the Bayesian delineation frameworks for prostate cancer radiotherapy,

*Radiological Physics and Technology* 2018, 11:434-444, , 2018年11月. (査読あり)(公開)

- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Jun-ichi Fukunaga, Saiji Ohga: Effect of accounting for interfractional CTV shape variations in PTV margins on prostate cancer radiation treatment plans, *Physica Medica: European Journal of Medical Physics, October 2018, Volume 54, Pages 66-76*, , 2018年10月. (査読あり)(公開)
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Noriyuki Nagami: Identification of optimal mother wavelets in survival prediction of lung cancer patients using wavelet decomposition-based radiomic features, *Medical Physics* 2018 Nov;45(11):5116-5128. *Epub 2018 Oct 19.*, , 2018年10月. (査読あり)(公開)
- Satoshi Yoshidome, Hidetaka Arimura, Kotaro Terashima, Masakazu Hirakawa, Taka-aki Hirose, Junichi Fukunaga, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda: Automated and robust estimation framework for lung tumor location in kilovolt cone-beam computed tomography images for target-based patient positioning in lung stereotactic body radiotherapy, *Medical Imaging and Information Sciences* 2018 Vol. 35 No.3, pp. 48-54, , 2018年09月. (査読あり)(公開)
- Akihiro NOHTOMI, Masaaki TOKUNAGA, Genichiro WAKABAYASHI, Kiyomitsu SHINSHO: Neutron Distribution Measurement by the Self-activation of a CsI Plate with CCD Camera using a Decaying Self-activation Imaging Technique, *JPS Conf. Proc.* 24, , 1, -, 2019年01月. (査読あり)(公開)
- Ryosuke Kurihara, Akihiro Nohtomi, Genichiro Wakabayashi, Yoshinori Sakurai, Hiroki Tanaka: Preliminary design study of a simple neutron energy spectrometer using a CsI self-activation method for daily QA of accelerator-based BNCT, *journal of nuclear science and technology*, 56, 1, 70 - 77, 2019年01月. (査読あり)(公開)
- Ryo Kakino, Akihiro Nohtomi, Genichiro Wakabayashi: Improvement of neutron spectrum unfolding based on three-group approximation using CsI self-activation method for evaluation of neutron dose around medical linacs, *Radiation Measurements*, 116, , 40 - 45, 2018年09月. (査読あり)(公開)

#### b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Keita Funada, Akihiko Takahashi, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Investigation of Collimator Broad Correction for Dopamine Transporter SPECT Imaging using Monte Carlo Simulation, SNMMI 2018 Annual Meeting, 2018年06月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Tran Thi Thao Nguyen, Hidetaka Arimura, Ryosuke Asamura, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Jun-ichi Fukunaga: Comparative analysis of cold spots in VMAT versus IMRT plans in prostate cancer (Poster, 20190302), 第32回高精度放射線外部照射部会学術大会(東京), 2019年03月, Japan. (公開)
- Masahiro Yamada, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Mazen Soufi: Automated classification of histological subtypes of NSCLC using support vector machines with radiomic features (Oral, 7-Jan-2019), IWAIT-IFMIA2019 (Singapore, 6-9 Jan. 2019), 2019年01月, Singapore. (公開)
- Zhuangfei Ma, Hidetaka Arimura, Shingo Kakeda, Yukunori Korogi: Automated approach for estimation of sizes of unruptured intracranial aneurysms in MRA images using localized principal component analysis (Oral, 7-Jan-2019), IWAIT-IFMIA2019 (Singapore, 6-9 Jan. 2019), 2019年01月, Singapore. (公開)
- Risa Nakano, Hidetaka Arimura, Mohammad Haekal, Saiji Ohga: Automated segmentation framework of lung gross tumor volumes on 3D planning CT images using dense V-Net deep learning (Oral, 7-Jan-2019), IWAIT-IFMIA2019 (Singapore, 6-9 Jan. 2019), 2019年01月, Singapore. (公開)
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Shu Haseai, Kenta Ninomiya: Radiomics-based malignancy prediction of parotid gland tumor (Oral, 7-Jan-2019), IWAIT-IFMIA2019 (Singapore, 6-9 Jan. 2019), 2019年01月, Singapore. (公開)
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Mazen Souf, Shu Haseai, #Kenta Ninomiya: Radiomics-based prediction of malignant potential in patients with parotid gland cancer (Oral, 27-Nov-2018), 104th Radiological Society of North America (RSNA, Nov-25-30, 2018, Chicago), 2018年11月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Hidetaka Arimura: Medical Physics Practice in the Era of Artificial Intelligence (Round Table Forum 1, 13-Nov-2018), 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics and 16th

South-East Asia Congress of Medical Physics (AOCMP, 11-14-Nov-2018, Kuala Lumpur), 2018年11月, Malaysia. (公開)

- Hidetaka Arimura: Overview of Radiomics with Artificial Intelligence (Radiomics Symposium, 12-Nov-2018), 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics and 16th South-East Asia Congress of Medical Physics (AOCMP, Kuala Lumpur), 2018年11月, Malaysia. (公開)
- Hidetaka Arimura: Data-Science-Based Radiomics (Radiomics & Artificial Intelligence Workshop, 11-Nov-2018), 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics and 16th South-East Asia Congress of Medical Physics (AOCMP, Kuala Lumpur), 2018年11月, Malaysia. (公開)
- Satoshi Yoshidome, Hidetaka Arimura, Kotaro Terashima, Masakazu Hirakawa, Taka-aki Hirose, Junichi Fukunaga, Yasuhiko Nakamura: Automated estimation framework for lung tumor location in kilovoltage cone-beam computed tomography images for target-based positioning in lung stereotactic body radiotherapy (Oral, 20181113), 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics and 16th South-East Asia Congress of Medical Physics (AOCMP, Kuala Lumpur), 2018年11月, Malaysia. (公開)
- Tran Thi Thao Nguyen, Alamgir Hossain, Hidetaka Arimura, Hidetake Yabuuchi, Kenta Ninomiya, Fumio Kinoshita, Sumiko Watanabe, Kenjiro Imada, Ryoma Koyanagi, Yoshinao Oda: Estimation of Intravoxel Incoherent Motion (IVIM) Parameters using Monte-Carlo Simulation of Diffusion MRI (Oral, 20181113), 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics and 16th South-East Asia Congress of Medical Physics (AOCMP, Kuala Lumpur), 2018年11月, Malaysia. (公開)
- Hidetaka Arimura, Ryosuke Asamura, Taka-aki Hirose, @Saiji Ohga, @Jun-ichi Fukunaga: Computationally analysis of cold spots in dose distributions of VMAT plans for prostate cancer (Oral, 20181113), 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics and 16th South-East Asia Congress of Medical Physics (AOCMP, Kuala Lumpur), 2018年11月, Malaysia. (公開)
- Hidetaka Arimura: Functions of data science in medical physics (Plenary Speaker, Aug 11, 2018), Annual Scientific Meeting on Medical Physics and Biophysics (Semarang, Aug. 10-12, 2018), 2018年08月, Indonesia. (公開)
- Hidetaka Arimura: What could radiomics do for improving high precision radiotherapy? (Symposium Sessions, May 19, 2018), The 6th Taiwan-Japan Radiation Oncology Symposium (Taichung, May19, 2018), 2018年05月, Taiwan. (公開)
- M. Shimazu, M. Nakata, G. Wakabayashi, A. Nohtomi, Y. Koba and K. Shinsho: The measurement of thermal neutron flux for the irradiation field with a Pu-Be neutron source by the activation of a CsI scintillator, 14th International Workshop on Ionizing Radiation Monitoring, 2018年12月, Japan. (公開)
- M. Shimazu, G. Wakabayashi, A. Nohtomi, Y. Koba, K Shinsho: Thermal Neutron Flux Measurement by Counting Conversion Electrons from  $\gamma$ , Cs Generated in a CsI Scintillator, IEEE 2018 NSS/MIC/RTSD, 2018年11月, Australia. (公開)
- T. Ueki, A. Nohtomi, G. Wakabayashi: A Design Study of an Application of the CsI Self-activation Method to the Neutron Rem-counter Technique, IEEE 2018 NSS/MIC/RTSD, 2018年11月, Australia. (公開)

c. 大学・研究機関などの刊行誌      なし

d. 調査研究報告      なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 関川祐矢, 舟田圭汰, 氷室和彦, 高橋昭彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: モンテカルロシミュレーションを用いた肝内腫瘍に対する  $^{177}\text{Lu}$  の分子イメージングと収集条件の検討, 第38回日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1 沖縄コンベンションセンター. (公開)
- 上野響生, 高橋昭彦, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之:  $\text{Ra-223}$  の SPECT 画像におけるコリメータ最適化の検討: モンテカルロ研究, 第38回日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1 沖縄コンベンションセンター. (公開)
- 高橋昭彦, 橋本直樹, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: Channelized Hotelling Observer法を用いた PET 画像における微小病変の検出, 第38回日本核医学技術学会総会学術

大会, 2018年11月, 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1 沖縄コンベンションセンター. (公開)

- 高橋昭彦 木本沙希 氷室和彦 馬場慎吾 佐々木雅之: ポジトロンレンジが PET 画像の病変検出能におよぼす影響について: シミュレーション研究, 第 38 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1 沖縄コンベンションセンター. (公開)
- 高橋昭彦, 大島良太, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: Channelized Hotelling Observer 法による Ra-223 ガンマ線画像の画質評価, 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜. (公開)
- 上野響生 高橋昭彦, 大島良太, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: Ra-223 の SPECT 画像におけるコリメータ最適化の検討: モンテカルロ研究, 第 74 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, . (公開)
- 舟田圭汰, 高橋昭彦, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: モンテカルロシミュレーションによるドパミントランスポータ SPECT 画像におけるコリメータ開口補正の影響の検討, 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜. (公開)
- Hidetaka Arimura: Potentials of radiomics with AI in clinical practice of radiotherapy (シンポジウム 1・招待講演・20190302), 第 32 回高精度放射線外部照射部会学術大会 (東京・虎ノ門ヒルズフォーラム), 2019年03月, 虎ノ門ヒルズフォーラム. (公開)
- 二宮健太, 有村秀孝, 小柳遼馬, 木下史生, アラムギール ホッセン, 渡邊壽美子, 今田憲二郎, 小田義直: 前立腺癌における病理画像特徴量とグリソンスコアの関係 (Oral, 23-Jan-2019), 電子情報通信学会 医用画像研究会 (沖縄, 21-23, Jan. 2019), 2019年01月, 沖縄青年会館. (公開)
- Ryoma Koyanagi, Hidetaka Arimura, Fumio Kinoshita, Alamgir Hossain, Sumiko Watanabe, Kenjiro Imada, Kenta Ninomiya, Yoshinao Oda: Relationships between Gleason scores and image features (Oral), 第 13 回九州放射線医療技術学術大会 (沖縄, 11月10~11日), 2018年11月, 沖縄県男女共同参画センターにいる. (公開)
- Yoshiro Hirano, Hidetaka Arimura, Mohamad Haekal, Risa Nakano: Development of an automated segmentation of tumor area of prostate cancer using deep learning (Oral), 第 13 回九州放射線医療技術学術大会 (沖縄, 11月10~11日), 2018年11月, 沖縄県男女共同参画センターにいる. (公開)
- Aki Yoshihisa, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi, Masahiro Yamada: Investigation of the optimal mother wavelet in survival prediction of head and neck cancer patients using wavelet decomposition-based radiomic features (Oral), 第 13 回九州放射線医療技術学術大会 (沖縄, 11月10~11日), 2018年11月, 沖縄県男女共同参画センターにいる. (公開)
- Sachine Nakayama, Hidetaka Arimura, Mohammad Haekal, Masahiro Yamada: Prognostic shape-based features on CT images for NSCLC patients (Oral), 第 13 回九州放射線医療技術学術大会 (沖縄, 11月10~11日), 2018年11月, 沖縄県男女共同参画センターにいる. (公開)
- 長谷合修, 有村秀孝, 浅井佳央里, 吉武忠正, 大賀才路, 塩山善之, 本田浩, 佐々木智成: 類似症例に基づく肋骨線量を考慮した肺定位放射線治療自動立案法 (口頭, 10/11), 日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 (京都, 10月11日~13日), 2018年10月, 京都国際会館. (公開)
- 中野里彩, 有村秀孝, 大賀才路: 治療計画 CT 画像において深層学習を用いた 3 種類の肺癌の肉眼的腫瘍体の抽出 (要望演題, 口頭, 10/12), 日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会 (京都, 10月11日~13日), 2018年10月, 京都国際会館. (公開)
- Takaaki Hirose, Hidetaka Arimura, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Saiji Ooga, Tomonari Sasaki: Evaluation of Uncertainty and PTV Margins in Image-guided Target-based Patient Positioning for Prostate Cancer (Poster, 20180729), The 60th Annual Meeting of American Association of Physicists in Medicine (AAPM), 2018年07月, Nashville, TN. (公開)
- Yudai Kai, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Masato Maruyama, Yuji Nakaguchi, Yoshinobu Shimohigashi: Clinical knowledge-based estimation of target position displacements using machine learning architectures in prostate intensity modulated radiotherapy (Poster, 20180729), The 60th Annual Meeting of American Association of Physicists in Medicine (AAPM), 2018年07月, Nashville, TN. (公開)
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi: Investigation of radiomic feature selection approaches for survival prediction of squamous cell head and neck cancer

- patients based on features selected from squamous cell lung cancer patients (Oral, 20180725), 第37回日本医用画像工学会大会(筑波, 7月25日~27日, 2018), 2018年07月, 筑波大学. (公開)
- 山田真大, 有村秀孝, マーゼン・スーフイ: 主成分分析を用いたレディオミクス特徴量による肺癌患者の予後予測法(口頭, 20180725), 第37回日本医用画像工学会大会(筑波, 7月25日~27日, 2018), 2018年07月, 筑波大学. (公開)
  - 二宮健太, 有村秀孝, 笹原基希, 廣瀬貴章, 大賀才路: 前立腺癌放射線治療におけるベイズ領域推定法のための解剖学的特徴点に基づいた前立腺位置推定法(口頭, 20180726), 第37回日本医用画像工学会大会(筑波, 7月25日~27日, 2018), 2018年07月, 筑波大学. (公開)
  - Hidetaka Arimura: Medical Image Analysis in Radiomics for Personalized Cancer Treatment from Medical Physics Point of View (Joint Sessions, June 20, 2018), 日本生体医工学会大会 日本医学物理学会・日本生体医工学会合同セッション(札幌, June 19-21, 2018), 2018年06月, 札幌コンベンションセンター. (公開)
  - Hidetaka Arimura: Current Status and Perspectives of Radiomics for Personalized Radiation Therapy (Joint symposium, Apr.14), 115th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
  - Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Saiji Ohga, #Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki: Discovering optimal mother wavelets in extraction of CT image-based radiomic features for survival prediction of lung cancer patients (Oral, Apr.15), 115th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
  - Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi: Survival prediction of head and neck cancer patients based on image features selected by using artificial neural network(Oral, Apr.15), 115th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
  - Satoshi Yoshidome, Hidetaka Arimura, Kotaro Terashima, Masakazu Hirakawa, #Taka-aki Hirose, Junichi Fukunaga, Yasuhiko Nakamura: Automated Framework for Estimation of Lung Tumor Locations in Kilovolt Cone-beam Computed Tomography Images for Target-based Patient Positioning in Stereotactic Lung Body Radiotherapy(Oral, Apr.12), The 74th annual meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
  - Noriyuki Nagami, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi, Mitsutoshi Ohishi, Takeshi Imaizumi, Kouji Uba, Hiroyuki Irie: Quantification of feasibility of a metal artifact reduction technique for delineation of GTV in RTP for head and neck cancer (Oral, Apr.12), The 74th annual meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
  - Yudai Kai, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, Masato Maruyama, Yuji Nakaguchi, Yoshinobu Shimohigashi: An Approach for Estimation of Target Displacements in Prostate IMRT using Artificial Neural Networks(Oral, Apr.14), The 74th annual meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
  - Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Motoki Sasahara, Taka-aki Hirose, Saiji Ohga, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda: Automated Localization Approach of Prostates for Radiotherapy using Anatomical-feature-based Machine Learning and its Feasibility in Bayesian Target Contouring Framework (Oral, Apr.15), The 74th annual meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
  - Takaaki Hirose, Hidetaka Arimura, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Saiji Ohga, Tomonari Sasaki: Evaluation of Uncertainty in Target-based Patient Positioning in IGRT for Prostate Cancer (Oral, Apr.12), The 74th annual meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
  - Tran Thi Thao Nguyen, Hidetaka Arimura, Yoshifumi Oku, Takahiro Iwasaki, Takahiro Nakamoto, Toshioh Fujibuchi, Takashi Yoshiura: Effect of a brachytherapy applicator and tissue heterogeneity on dose distributions using Monte Carlo simulations for cervical cancer (Oral, Apr.14), 115th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)

- Mohammad Haekal, Hidetaka Arimura, Yusuke Shibayama, Takaaki Hirose, Saiji Ohga, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki: An investigation of geometric uncertainties of the rectum surfaces due to the shape variations in prostate cancer radiation therapy (Oral, Apr.14), 115th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
- Ma Zhuangfei: Meaningful life in Japan within six months (Oral, Apr.15), 115th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
- Masahiro Yamada, Hidetaka Arimura, Mazen Soufi: Development of a framework for prediction of lung cancer patients' prognoses using PCA-based radiomics features(Oral, Apr.15), 115th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
- Risa Nakano, Hidetaka Arimura, Ryosuke Asamura, Saiji Ohga, Hiroshi Honda, Tomonari Sasaki: Deep-learning-based segmentation of GTV regions of lung cancer using datasets of planning CT and PET/CT images (Oral, Apr.15), 115th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (Yokohama, Apr.12-15, 2018), 2018年04月, Pacifico Yokohama. (公開)
- 坂本直哉、永易将充、納富昭弘、若林源一郎、島津美宙、金政浩、福永淳一: ヨード添加液体シンチレータを用いた中性子測定の検討, 第13回九州放射線医療技術学会大会, 2018年11月, 那覇・沖縄. (公開)
- 神崎祐依、納富昭弘、福永淳一、大賀才路: CCDカメラとCsI板の自己放射化を用いた高エネルギーX線治療場における光中性子分布の観察, 第13回九州放射線医療技術学会大会, 2018年11月, 那覇・沖縄. (公開)
- 納富昭弘、坂本直哉、永易将充、若林源一郎、島津美宙、新城優治、金政浩、青木勝海、福永淳一、大賀才路: ヨウ素を添加した有機シンチレータを用いた自己放射化法による中性子検出技術に関する検討, 第15回日本中性子捕捉療法学会, 2018年09月, 札幌・北海道大学. (公開)
- 島津美宙、若林源一郎、納富昭弘: CsIシンチレータの自己放射化を用いた熱中性子測定, 応用物理学会 2018次世代放射線シンポジウム, 2018年08月, 和歌山・白浜. (公開)
- 花田侑美佳、納富昭弘、栗原凌佑、坂本直哉、神崎祐依、永易将充、津上唯佳、植木大志、島津美宙、若林源一郎、新城優治、金政浩、青木勝海: ヨウ素を添加した有機シンチレータの中性子応答特性に関する検討, 応用物理学会 2018次世代放射線シンポジウム, 2018年08月, 和歌山・白浜. (公開)
- 田中草太、木内忠稔、高橋知之、牧大介、納富昭弘、高橋千太郎: 昆虫類に対するCsの内部被ばく実験系の構築 ~放射線がカイコの成長に及ぼす影響~, 日本放射線化学会、第55回アイソトープ・放射線研究発表会, 2018年07月, 東京大学弥生講堂. (公開)

f. 学会以外での講演, 発表 なし

## 著作

a. 単行本 なし

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- Hidetaka Arimura, Mazen Soufi, Kenta Ninomiya, Hidemi Kamezawa, #Masahiro Yamada: Potentials of radiomics for cancer diagnosis and treatment in comparison with computer-aided diagnosis (review paper), Radiological Physics and Technology 2018 (accepted on Oct.11, 2018), 2018年12月. (公開)
- 亀澤秀美、有村秀孝、スーフィーマーゼン、二宮健太、山田真大: 放射線治療におけるAIを用いたレディオミックスの可能性, Rad Fun Vol.16 No.12, pp38-42, 2018年11月. (公開)
- 有村秀孝、二宮健太、山田真大: 放射線治療分野におけるレディオミックスの展望, 医療機器学第88巻第4号 pp485-489, 2018年08月. (公開)

- Hidetaka Arimura, Mazen Soufi, Hidemi Kamezawa, Kenta Ninomiya, Masahiro Yamada: Radiomics with artificial intelligence for precision medicine in radiation therapy (review paper), Journal of Radiation Research 2018;59 (accepted), 2018年10月. (公開)

## 受賞

- 有村, 「"Computationally analysis of cold spots in dose distributions of VMAT plans for prostate cancer"」, Best Oral Presentation Award (Tran Thi Thao Nguyen, Arimura H.et al.) "Computationally analysis of cold spots in dose distributions of VMAT plans for prostate cancer", 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics and 16th South-East Asia Congress of Medical Physics (AOCMP, Kuala Lumpur, 13-Nov-2018), 2018年11月.
- 有村, 「"前立腺癌放射線治療におけるベイズ領域推定法のための解剖学的特徴点に基づいた前立腺位置推定法"」, 第37回日本医用画像工学会大会 奨励賞(二宮 健太、有村秀孝他) "前立腺癌放射線治療におけるベイズ領域推定法のための解剖学的特徴点に基づいた前立腺位置推定法", 第37回日本医用画像工学会大会 (筑波), 20180725, 2018年09月.
- 有村, 「Survival prediction of head and neck cancer patients based on image features selected by using artificial neural network」, 第115回日本医学物理学会学術大会英語プレゼンテーション賞(亀澤秀美, 有村秀孝, 他) "Survival prediction of head and neck cancer patients based on image features selected by using artificial neural network", 第115回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2018年04月.

報道 なし

## 4. 産学連携活動

### 1. 共同研究

- 有村, 肺がんを対象とした Radiogenomics に関する研究, コニカミノルタ株式会社, 2019年02月～2020年03月, 非公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 ※※システムに対応項目なし※※

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

## 5. 国際交流・協力活動

### 1. 海外出張・研修出張

- 有村, College of Health Sciences, Korea University (Korea), 大学・研究所訪問, 2019年03月～2019年03月(2週間未満)(公開)
- 有村, Joint International Workshop IWAIT-IFMIA, Nanyang Executive Centre, 6-9 January 2019. (Singapore), 国際会議, 2019年01月～2019年01月(2週間未満)(公開)
- 有村, University of Malaya (Malaysia), 大学・研究所訪問, 2018年12月～2018年12月(2週間未満)(公開)
- 有村, RSNA, Mc Cormick Place, Chicago, Nov-25-30, 2018 (UnitedStatesofAmerica), 国際会議, 2018年11月～2018年11月(2週間未満)(公開)
- 有村, 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics and 16th South-East Asia Congress of Medical Physics (AOCMP), Connexion Conference and Event Centre, Kuala Lumpur, 11-14-Nov-2018 (Malaysia), 国際会議, 2018年11月～2018年11月(2週間未満)(公開)
- 有村, Annual Scientific Meeting on Medical Physics and Biophysics, MG Setos Hotel Semarang (Indonesia), 国際会議, 2018年08月～2018年08月(2週間未満)(公開)
- 有村, The 6th Taiwan-Japan Radiation Oncology Symposium, May 19, 2018 (Taiwan), 国際会議, 2018年05月～2018年05月(2週間未満)(公開)
- 納富, 2018 IEEE NSS/MIC (Sydney) (Australia), 国際会議, 2018年11月～2018年11月(2週間未満), (公開)

- 納富, 上海復旦大学(China), 大学・研究所訪問, 2018年10月～2018年10月(2週間未満), (公開)

## 2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

## 3. 留学生の受入れ

Le Cuong Quoc (from Vietnam)	修士課程
Ma Zhuangfei (from China)	修士課程
MD. ALAMGIR Hossain (International Student of MEXT Scholarship)	博士課程
Haekal Mohammad (From Indonesia. International Student of MEXT Scholarship)	博士課程
Tran Thi Thao Nguyen (From Vietnam)	博士課程
Leni Aziyus Fitri ( Ph.D. student of Bandung Institute of Technology in Indonesia by Sandwich program)(2018/9/14～2018/11/8)	研究生 留学生

- 1. 学生の海外派遣 二宮健太(M2)JASSO 支援によりマラヤ大学短期留学(Dec.13-27, 2018)

## 6. 学内行政事務などの担当

### 1. 全学委員

- 高橋, 情報統括本部全学情報環境利用委員会. (公開)
- 大喜, 情報通信基盤連絡会議. (公開)
- 大喜, 認証評価部会委員. (公開)
- 大喜, 全学教育企画委員会(基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目]. (公開)
- 大喜, 保健学科支線 LAN 管理者. (公開)
- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者. (公開)
- 有村, 病院地区 総合研究棟 支線LAN管理者. (公開)

### 2. 部局委員

- 高橋, ICT 活用教育推進専門部会. (公開)

### 3. 部門・コース内委員

- 高橋, 広報委員会. (公開)
- 大喜, 施設委員会. (公開)
- 大喜, 大学院委員会. (公開)
- 大喜, 広報委員長. (公開)
- 有村, 医用量子線科学分野 副分野長. (公開)
- 有村, 学生委員(副委員長). (公開)
- 有村, 教務委員(委員長). (公開)
- 有村, 情報システム委員. (公開)
- 納富, 地域国際・FD 委員会. (公開)

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 大喜, 長崎大学歯学部, 非常勤講師. (公開)
- 大喜, 福岡医健専門学校, 非常勤講師. (公開)
- 大喜, 九州大学歯学部, 非常勤講師. (公開)
- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師. (公開)
- 納富, 福岡大学・医学部, 客員教員. (公開)
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 客員教員. (公開)
- 納富, 福岡市医師会看護学校, 客員教員. (公開)



## 2. 学協会

- 有村, 医学物理士認定機構(JBMP), 運営委員(広報委員長), 国内.
- 有村, 医学物理士認定機構(JBMP), 理事, 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), 運営委員(用語委員長), 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), 理事, 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 理事, 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 運営委員(編集委員長), 国内.
- 有村, 電子情報通信学会(IEICE), その他(医用画像研究会(MI)専門委員), 国内.
- 納富, 第119回日本医学物理学会学術大会, (実行委員長), 国内.
- 納富, BNCT推進協議会, その他(人材育成WG), 国内.
- 納富, 日本中性子捕捉療法学会, その他(BNCT人材育成委員会委員), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会誌「医学物理」, 編集委員, 国内.
- 納富, Journal of Nuclear Science and Technology, 査読委員, 国内.
- 納富, 日本放射線技術学会誌, 査読委員, 国内.
- 納富, Journal of Radiation Research, 査読委員, 国際.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.

## 3. 官界 なし

## 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 「平成30年度第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 2019年(平成31年)2月9日(土)13:20-17:20、以下3名の講師を迎え、九大保健学部門において開催。「放射線治療におけるターゲット位置と線量分布精度向上のためのデータ解析手法」京都大学 中村 光宏 先生「グリオーマの可視化技術の開発～脳腫瘍画像の読影解釈の困難性とそれが治療におよぼす影響について～」大阪大学 木下 学 先生「がん組織反応に関する放射線健康影響の最新トピックス」電力中央研究所 浜田 信行 先生 九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定。学内外より参加者49名。」, 2018-01-01.

## 5. 公開講座・公開講演会

- 有村, 「第7回放射線治療・物理学セミナー「画像処理-放射線治療における高度画像処理-」, 主催:日本放射線腫瘍学会教育委員会, 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス(2019年3月24日), セミナー・研修会.
- 有村, 「佐賀大学病院 放射線部勉強会「レディオミクスから始める医療AI」, 佐賀大学病院 放射線部, 佐賀大学病院 放射線技師室(2019年3月8日), セミナー・研修会.
- 有村, 「レディオミクス研究会「レディオミクスとは何か? イメージから未来予測」, 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム、徳島大学大学院医歯薬学研究部, 徳島大学蔵本キャンパス(2019年3月4日), セミナー・研修会.
- 有村, 「第17回九州放射線治療システム研究会・招待教育講演「放射線治療とRadiomics」, 熊本大学 大学院 生命科学研究部 放射線治療医学分野, 都久志会館(福岡市)(2019年1月26日), セミナー・研修会.
- 有村, 「第37回九重セミナー「放射線物理」, 日本医学放射線学会九州地方会, 九州大学医学部コラボステーションI(2018年8月4日), セミナー・研修会.
- 納富, 「「放射線安全のための大学間連携放射線計測専門家・教育者育成プログラム」, 原子力規制庁人材育成事業, 九州大学・馬出キャンパス・アイソトープセンター, セミナー・研修会.

## 6. 初等中等教育への貢献 なし

# 医用量子線科学分野

## 《医用放射線科学》

教授	佐々木 雅之
教授	藪内 英剛
教授	杜下 淳次
准教授	佐々木 智成
准教授	藤淵 俊王
助教	田中 延和
助教	河窪 正照
助教	尹 湧琇

### 1. 教育活動

#### 1. 大学院講義

ヘルスサイエンス論	佐々木雅	前期
分子機能画像科学論 (分担)	佐々木雅	後期
臨床量子線科学Ⅱ (分担)	佐々木雅	前期
臨床量子線科学Ⅰ	佐々木雅	前期
分子機能画像科学論	佐々木雅・藪内	後期
臨床量子線科学Ⅰ	藪内	前期
臨床量子線科学Ⅰ	杜下	前期
医療英語	杜下	通年
保健学研究論	杜下	前期
医用画像科学論	杜下	後期
国際社会とチーム医療	佐々木智	前期
先端医療論	佐々木智	前期
量子線治療科学論	佐々木智	後期
リプロサイエンスⅠ	藤淵	前期
医用画像科学論	藤淵	後期
医用画像科学論	田中	後期
医用画像科学論	河窪	後期
医用画像科学論	尹	後期
国際社会とチーム医療 (分担)	河窪	前期

#### 2. 大学院実験・実習

量子線治療科学演習 (分担)	佐々木智	前期
----------------	------	----

#### 3. 大学院演習

保健学特別研究(佐々木教授)	佐々木雅	通年
分子機能画像科学演習	佐々木雅	前期
医用量子線科学特別研究(佐々木教授)	佐々木雅	通年
臨床量子線科学Ⅱ	藪内	後期
保健学特別研究(藪内教授)	藪内	通年
分子機能画像科学演習	藪内	前期

医用量子線科学特別研究(藪内教授)	藪内	通年
医用量子線科学特別研究(杜下教授)	杜下	通年
保健学特別研究(杜下教授)	杜下	通年
臨床量子線科学Ⅱ	杜下	後期
医用量子線科学特別研究(佐々木准教授)	佐々木智	通年
量子線治療科学演習	佐々木智	前期
医用量子線科学特別研究(藤淵准教授)	藤淵	通年

#### 4. 大学院修士課程修了者

原田 伸明	MR装置の違いが線維化ファントムのADC値に与える影響とADCヒストグラム解析における高分解能拡散強調画像の基礎的検討
木本 沙希	臨床用PET画像の空間分解能に関する研究
庄司 彩乃	Texture解析によるPET集積不均一性に関する研究
原 薫	頭頸部ファントムにおけるmodified Dixon法の脂肪含有率測定精度と乳房ファントムにおける高分解能拡散強調画像の有用性の検討
坂田弥生	超音波ストレインエラストグラフィによる組織の硬さの新しい評価指標の検討 Study on new index for evaluating tissue stiffness on ultrasound strain elastography
川添優介	死後の頭部X線CT画像のポジショニング補正に関する研究 Studies on positional readjustment in post-mortem head computed tomography imaging
松川英明	子宮頸癌小線源治療における線量評価点(B点)の解剖学的位置の解析及びB点線量と骨盤リンパ節領域に対する線量の比較 Assessment of the Anatomical Position of Point B and the Relationship Between Point B Dose and the Dose Delivered to Pelvic Lymph Nodes in CT-Based HDR Brachytherapy for Uterine Cervical Cancer
笠井裕貴	TomoDirectを用いた全身照射における門数と評価指標の関係およびTomoHelicalとの比較検討 Relationships between the number of ports and dose evaluation indices in total body irradiation using TomoDirect and its comparison with TomoHelical

#### 5. 大学院博士課程修了者

我妻 慧	15O標識ガスPET計測の定量性・画質向上の検討
筒井 悠治	FDG PET検査の定量性向上とSUV harmonizationに関する研究 Optimization of post-label delay in single-phase arterial spin labeling (ASL) using multi-phase ASL in four-dimensional magnetic resonance angiography
大下 剛史	Bone comparison identification method based on chest computed tomography imaging

#### 6. 学部講義

医療安全学	佐々木雅	後期
臨床解剖薬理学	佐々木雅	後期
核医学検査学Ⅰ(分担)	佐々木雅	前期
核医学検査学Ⅱ(分担)	佐々木雅	後期
放射化学・実験(分担)	佐々木雅	後期
放射性同位元素検査技術学(分担)	佐々木雅	前期
放射線医学技術学概論(分担)	佐々木雅	前期
医学総論Ⅱ	佐々木雅	後期
医学総論Ⅰ	佐々木雅	後期
放射線技術科学入門Ⅱ	藪内	後期

画像解剖学 I	藪内	後期
臨床解剖薬理学	藪内	冬学期
画像解剖学 II	藪内	後期
人体の構造と機能 II	藪内	前期
人体の構造と機能 III	藪内	前期
人体の構造と機能 IB	藪内	前期
人体の構造と機能 II A	藪内	前期
人体の構造と機能 II B	藪内	前期
MR画像技術学	藪内	前期
放射線画像技術学 I	杜下	前期
医用画像評価学	杜下	後期
放射線画像技術学 II	杜下	後期
実践画像技術学	杜下	後期
放射線治療技術学 I	佐々木智	前期
放射線生物学	佐々木智	前期
人体の構造と機能 IB	佐々木智	前期
人体の構造と機能 II	佐々木智	前期
放射線治療技術学 II	佐々木智	後期
放射線治療技術学 II	佐々木智	後期
医学総論 II	佐々木智	後期
臨床解剖薬理学	佐々木智	後期
X線CT画像技術学	藤淵	春学期
放射線治療・核医学機器学	藤淵	前期
放射線画像技術学 I	藤淵	前期
放射線生物学	藤淵	前期
放射線技術科学入門 I	藤淵	前期
放射線技術科学入門 II	藤淵	後期
実践画像技術学	藤淵	後期
品質管理論	藤淵	後期
放射線画像技術学 II	藤淵	後期
放射線管理学	藤淵	後期
品質管理論	田中	後期
医用画像評価学	田中	後期
放射線画像技術学 II	田中	後期
放射化学・実験	田中	後期
放射線技術科学入門 II	田中	後期
放射線画像技術学 I	田中	前期
放射線技術科学入門 I	田中	前期
X線 CT 画像技術学	田中	春学期
臨床イメージング	河窪	秋学期
放射線技術科学入門 II	河窪	後期
品質管理論	河窪	後期
医療安全学	河窪	秋学期
生理機能検査学 (分担)	河窪	前期
放射線画像技術学 I	河窪	前期
X線CT画像技術学	河窪	春学期
放射線画像技術学 II	尹	後期
品質管理論	尹	後期

医用画像評価学	尹	後期
---------	---	----

## 7. 学部の実験・実習・演習

臨地実習	佐々木雅	通年
臨床解剖薬理学	佐々木雅	後期
放射化学・実験 (分担)	佐々木雅	後期
放射性同位元素検査技術学 (分担)	佐々木雅	前期
放射線画像技術学実習	杜下	後期
放射線治療技術学実習	佐々木智	後期
臨床解剖薬理学	佐々木智	後期
卒業研究(放射)	藤淵	通年
臨地実習(放射)	藤淵	通年
放射線管理学実験	藤淵	春学期
臨地実習	藤淵	通年
放射線治療技術学実習	藤淵	後期
画像解剖学演習	藤淵	後期
放射線画像技術学実習	田中	後期
画像解剖学演習	田中	後期
放射化学・実験	田中	後期
放射線計測学実験	田中	前期
画像解剖学演習	河窪	後期
放射線管理学実験	河窪	春学期
放射化学・実験	尹	後期
コンピュータープログラミング (分担)	尹	後期
画像解剖学演習	尹	後期
放射線画像技術学実習	尹	後期

## 8. 卒業論文作成者

宮崎 航大	PET 検査の散乱線に関する研究
椿 悠馬	アミロイド PET の定量の自動化に関する研究
北村 崇佳	アミロイド PET の定量に関する研究
勝部 俊	PET 核種を用いたチェレンコフ光の測定に関する研究
門崎 都	アルツハイマー病の診断精度に関する研究
下川 夏実	アルツハイマー病の診断精度に関する研究
廣瀬 智哉	PET/CT の定量精度に関する研究
鎌田 啓豊	超高精細 CT を用いた気管支壁の定量評価:FBP 法と 2 種の逐次近似再構成法の比較
寶珠山 桃子	STIR, DWI, FDG-PET/CT による非小細胞肺癌 N 因子診断能の検討
藤原 光希	微細構造の描出における圧縮センシング MRI の有用性の検討
茶圓 佳花	TomoDirect による全身照射(TBI)の臨床応用可能性の検証(第 2 報)
高山 雄一郎	子宮頸癌に対する 小線源治療における治療実施前後の HR-CTV の線量分布の比較検討
高塚 遼	TomoTherapy を用いた全身照射における Thread Effect に関する研究
井上 慶樹	同一治療計画に対する線量計算アルゴリズムの違いによる線量分布の比較検討
中村 千裕	モンテカルロシミュレーションによる心臓カテーテル検査時の方向別室内線量分布の評価
門柳 紗妃	一般撮影における散乱線分布の四次元可視化による放射線防護教育への活用法の検討

上野 大輝	モンテカルロシミュレーションを用いた X 線 CT 検査時の部位別室内線量の評価
金剛 淳子	3D プリンタを用いた新生児胸部ファントム作成法の検討
山下 雄也	胸部 X 線画像における散乱線除去処理の有用性に関する研究
染矢 梨緒	乳房 X 線撮影における臨床条件と画質の関連性に関する研究
高橋 尚充	仮想単色 CT 画像のコントラスト ～連続 X 線エネルギーの組み合わせによる比較～
江口 葵	Dual energy CT による仮想単色 X 線画像の解像特性に関する研究

## 9. 研究生 なし

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

1	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断	佐々木雅	(公開)
2	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木雅	(公開)
3	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内	(公開)
4	乳腺腫瘍の MRI による診断, 頭頸部腫瘍の MRI による診断, 造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究, 肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメータの研究	藪内	(公開)
5	デジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下	(公開)
6	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下	(公開)
7	子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療における治療実施前後のアプリケーション位置および線量分布の変化に関する研究	佐々木智	(公開)
8	TomoDirect 方式を用いたトモセラピーによる根治的前立腺照射の妥当性と安全性の検証	佐々木智	(公開)
9	子宮頸癌小線源治療における線量評価点(B点)の解剖学的位置に関する研究	佐々木智	(公開)
10	TomoDirect 方式を用いたトモセラピーによる全身照射の妥当性と安全性の検証	佐々木智	(公開)
11	患者および放射線診療従事者の放射線防護に関する研究	藤淵	(公開)
12	超音波診断システムの撮像技術に関する研究	田中	(公開)
13	デジタルラジオグラフィシステムの画質と被ばく線量の評価に関する研究	田中	(公開)
14	液晶ディスプレイの特性に関する研究	田中	(公開)
15	医用画像解析	河窪	(公開)
16	汎用モーションセンサを用いたリアルタイム放射線画像シミュレータに関する研究	尹	(公開)
17	散乱線除去率を高める新しいデジタル放射線検出器の構造に関する研究	尹	(公開)

## 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」分子イメージングによる腫瘍不均一性の評価法の開発, 佐々木(代表), 800 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」I 期非小細胞肺癌に対する TS-1 併用体幹部定位放射線治療の認容性試験, 佐々木智(代表), 1200 千円. (公開)
- 「挑戦的研究(萌芽)」野外での昆虫体内における RI 動態可視化システムの開発, 藤淵(分担), 1100 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」乳児放射線検査における線量と画質の最適化手法の確立, 藤淵(代表), 600 千円. (公開)
- 「若手研究(B)」3 次元の心臓ストレイン解析法の開発と修正大血管転位の予後予測への応用, 河窪(代表), 700 千円. (公開)

## 3. 学内研究経費の受入れ

- 「平成30年度QRプログラム わかばチャレンジ」放射線診療におけるサイバーフィジカルシステムを活用した被ばく低減対策手法の構築, 藤淵(代表), 1050 千円. (公開)
- 「数理・データサイエンスに関する教育・研究支援プログラム」Deep learning による画像認識を応用した成人先天性心疾患の重症度自動診断システムの構築, 河窪(代表), 1000 千円. (公開)
- 「外国語校閲経費支援」Right ventricular area strain measured with routine cine MRI after balloon pulmonary angioplasty in chronic thromboembolic pulmonary hypertension: Comparison with 2-dimensional feature-tracking MRI, 河窪(代表), 43 千円. (公開)

## 4. 奨学寄付金の受入れ

- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」フジRIファーマ, 佐々木雅, 380 千円.
- 「PET による腫瘍診断の研究」日本メジフィジックス, 佐々木雅, 1235 千円.
- 「平成 29 年度技術交流助成 交流プログラム【海外派遣】第 4 回助成」公益財団法人中谷医工計測技術振興財団, 藤淵, 220 千円. (公開)
- 「メディカルスタッフ研究助成/磁気共鳴画像を用いた心筋虚血再灌流傷害の非侵襲的診断法の確立」一般社団法人 日本循環器学会, 河窪, 500 千円. (公開)
- 「平成 29 年度がん研究助成金/デジタルイメージングシステムにおける新しい指標を適用した散乱 X 線除去用グリッド使用法に関する研究」, 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団, 田中, 100 千円.

## 5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「富士フイルムメディカル株式会社 デジタル X 線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究」杜下, 千円.
- 「放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究」杜下, 1500 千円.
- 「京都科学 診療放射線技師の業務範囲拡大に伴う下部消化管検査トレーニングファントムの開発」杜下, 2000 千円.
- 「株式会社ナナオ 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」杜下, 1110 千円.
- 「株式会社 エリカ オプティカル 放射線防護メガネの遮蔽効果について」藤淵, 千円. (公開)
- 「放射線医学総合研究所 医療用リニアックからの光子線照射に伴う二次中性子線量計測」藤淵, 0 千円. (公開)

## 6. 受託研究員・研修員の受入れ ※※システムに対応項目なし※※

## 7. 研究成果の報告

### a. 学会誌・学術専門誌

- Akira Maebatake, Keishin Morita, Go Akamatsu, Yuji Tsutsui, Kazuhiko Himuro, Shingo Baba, Masayuki Sasaki.: The influence of minimal misalignment on the repeatability of PET images examined by the repositioning of point sources., *J Nucl Med Technol.*, 47, 1, 55 - 59, 2019 年 03 月. (査読あり)(公開)
- Takahashi A, Baba S, Sasaki M.: Assessment of collimators in radium-223 imaging with channelized Hotelling observer: a simulation study, *ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE*, 32, 10, 649 - 657, 2018 年 12 月. (査読あり)(公開)
- Wagatsuma K, Oda K, Sakata M, Inaji M, Miwa K, Sasaki M, Toyohara J, Ishii K.: Validation of scatter limitation correction to eliminate scatter correction error in oxygen-15 gas-inhalation positron emission tomography images, *NUCLEAR MEDICINE COMMUNICATIONS*, 39, 10, 936 - 944, 2018 年 10 月. (査読あり)(公開)

- Hashimoto N, Morita K, Tsutsui Y, Himuro K, Baba S, Sasaki M.: Time-of-flight information improved the detectability of sub-centimeter sphere using clinical positron emission tomography/computed tomography scanner., *J Nucl Med Technol.*, 39, 10, 268 – 273, 2018年09月. (査読あり)(公開)
- Yuji Tsutsui, Hiromitsu Daisaki, Go Akamatsu, Takuro Umeda, Matsuyoshi Ogawa, Hironori Kajiwara, Shigeto Kawase, Minoru Sakurai, Hiroyuki Nishida, Keiichi Magota, Kazuaki Mori, Masayuki Sasaki, J-Hart study group.: Multicentre analysis of PET SUV using vendor-neutral software: the Japanese Harmonization Technology (J-Hart) study, *EJNMMI RESEARCH*, 8, , - , 2018年08月. (査読あり)(公開)
- Hitomi Nakamura, Junji Morishita, Yoichiro Shimizu, Yongsu Yoon, Yusuke Matsunobu, Shigehiko Katsuragawa, Hidetake Yabuuchi,: Improving image quality around subtle lung nodules by reducing artifacts in similar subtraction imaging, *Radiological Physics and Technology*, 2018; 11(4): 460-466., 2018年10月. (査読あり)(公開)
- Kaori Asai, Tomonari Sasaki, Yoshiyuki Shioyama: Thorax/lung and mediastinum, pleuracancer current organ topics, *Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy*, 45, 8, 1155 – 1158, 2018年08月. (査読あり)(公開)
- Kaori Asai, Tomonari Sasaki, Yoshiyuki Shioyama: III. Current Treatment Strategy for Locally Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer – From the Point of View of Radiation Oncologists, *Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy*, 45, 8, 1155 – 1158, 2018年08月. (査読あり)(公開)
- Yuko Kawano, Tomonari Sasaki, Hiroyuki Yamaguchi, Katsuya Hirano, Atsushi Horiike, Miyako Satouchi, Shinobu Hosokawa, Ryotaro Morinaga, Kazutoshi Komiya, Koji Inoue, Yuka Fujita, Ryo Toyozawa, Tomoki Kimura, Kosuke Takahashi, Kazuo Nishikawa, Junji Kishimoto, Yoichi Nakanishi, Isamu Okamoto: Phase I/II study of carboplatin plus nab-paclitaxel and concurrent radiotherapy for patients with locally advanced non-small cell lung cancer, *Lung Cancer*, 125, , 136 – 141, 2018年11月. (査読あり)(公開)
- Hodaka Numasaki, Teruki Teshima, Tetsuo Nishimura, Keizo Akuta, Yutaka Ando, Hiroshi Ikeda, Norihiko Kamikonya, Masahiko Koizumi, Tomonari Sasaki, Kenji Sekiguchi, Masao Tago, Atsuro Terahara, Katsumasa Nakamura, Masamichi Nishio, Masao Murakami, Yoshimasa Mori, Kazuhiko Ogawa: Japanese structure survey of radiation oncology in 2010, *Journal of radiation research*, 60, 1, 80 – 97, 2019年01月. (査読あり)(公開)
- Yuki Kasai, Yukihide Fukuyama, Hiromi Terashima, Katsumasa Nakamura, Tomonari Sasaki: Dose evaluation indices for total body irradiation using TomoDirect with different numbers of portsA comparison with the TomoHelical method, *Journal of Applied Clinical Medical Physics*, 20, 2, 129 – 135, 2019年02月. (査読あり)(公開)
- Kazuto Ito, Shiro Saito, Atsunori Yorozu, Shinsuke Kojima, Takashi Kikuchi, Satoshi Higashide, Manabu Aoki, Hirofumi Koga, Takefumi Satoh, Toshio Ohashi, Katsumasa Nakamura, Norihisa Katayama, Nobumichi Tanaka, Masahiro Nakano, Naoyuki Shigematsu, Takushi Dokiya, Masanori Fukushima, Yutaka Takahashi, Iwao Tsukiyama, Yasutomo Nasu, Masaoki Harada, Takashi Fukagai, Takashi Yamashita, Akio Matsubara, Mikio Igawa, Shin Egawa, Yoshiyuki Kakehi, Youji Katsuoka, Hiroshi Kanetake, Yoshinobu Kubota, Hiromi Kumon, Ichiro Yamasaki, Kazuhiro Suzuki, Takashi Deguchi, Munehisa Ueno, Seiji Naito, Mikio Namiki, Shiro Baba, Kazushige Hayakawa, Yoshihiko Hirao, Tomoaki Fujioka, Shigeo Horie, Tsuneharu Miki, Masaru Murai, Hideki Yoshida, Jun Itami, Toshihiko Inoue, Katsunori Tatsugami, Junichi Inokuchi, Tomonari Sasaki: Nationwide Japanese Prostate Cancer Outcome Study of Permanent Iodine-125 Seed Implantation (J-POPS)first analysis on survival, *International Journal of Clinical Oncology*, , , 1 – 12, 2018年06月. (査読あり)(公開)
- Katsumasa Nakamura, Kenta Konishi, Tetsuya Komatsu, Tomonari Sasaki, Naoto Shikama: Patterns of radiotherapy infrastructure in Japan and in other countries with well-developed radiotherapy infrastructures, *Japanese Journal of Clinical Oncology*, 48, 5, 476 – 479, 2018年05月. (査読あり)(公開)
- Choirul Anam, Wahyu Setia Budi, @Toshioh Fujibuchi, Freddy Haryanto, Geoff Dougherty: Automated MTF measurements in CT using the edges of a non-homogeneous module of the TOS-phantom, *Journal of Physics: Conference Series*, , 2019年01月. (査読あり)(公開)
- Toshioh Fujibuchi, Yuta Nozaki, Yang Ishigaki and Yoshinori Matsumoto: Estimation of the characteristics of gamma-ray dose measurements with an experimental wireless dose monitoring system, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 6, , 77 – 80, 2019年01月. (査読あり)(公開)



- Toshioh Fujibuchi, Airi Inoue, Yang Ishigaki and Yoshinori Matsumoto: Development of a wireless multisensor active personal dosimeter-tablet system, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 6, , 73 – 76, 2019 年 01 月. (査読あり)(公開)
- Choirul Anam, Toshioh Fujibuchi, Freddy Haryanto, RenaWidita, Idan Arif, Geoff Dougherty: An evaluation of computed tomography dose index measurements using a pencil ionization chamber and small detectors, *Journal of Radiation Protection*, 39, 1, 112 – 124, 2019 年 01 月. (査読あり)(公開)
- Choirul Anam, Toshioh Fujibuchi, Wahyu Setia Budi, Freddy Haryanto, Geoff Dougherty: An algorithm for automated modulation transfer function measurement using an edge of a PMMA phantom: Impact of field of view on spatial resolution of CT images, *Journal of applied Clinical Medical Physics*, 19, 6, 244 – 252, 2018 年 10 月. (査読あり)(公開)
- Kotaro Kuroda, Kosuke Kaneko, Toshioh Fujibuchi, Yoshihiro Okada: Web-Based VR System for Operation Training of Medical Therapy Devices, *Conference on Complex, Intelligent, and Software Intensive Systems*, , , 948 – 957, 2018 年 06 月. (査読あり)(公開)
- Toshioh Fujibuchi, Takatoshi Toyoda, Kento Terasaki: Measurement of basic characteristics of scintillation-type radiation survey meters with multi-pixel photon counter, *Applied Radiation and Isotopes*, 140, , 12 – 17, 2018 年 06 月. (査読あり)(公開)
- 宮島隆一, 藤淵 俊王, 宮地優介, 立石哲士, 宇野善徳, 天川一利, 大浦弘樹, 折田信一: X線 CT 撮影の介助時における医療従事者被ばくの効果的な防護方法について, *日本放射線技術学会雑誌*, 74, 4, 326 – 334, 2018 年 04 月. (査読あり)(公開)
- Kawakubo M, Yamasaki Y, Kamitani T, Sagiyama K, Matsuura Y, Hino T, Abe K, Hosokawa K, Yabuuchi H, and Honda H.: Clinical usefulness of right ventricular 3D area strain in the assessment of treatment effects of balloon pulmonary angioplasty in chronic thromboembolic pulmonary hypertension: comparison with 2D feature-tracking MRI, *European Radiology*, , 2019 年 02 月. (査読あり)(公開)
- Arai H, Kawakubo M, Sanui K, Nishimura H, Kadokami T.: Accurate and robust systolic myocardial T1 mapping using saturation recovery with individualized delay time: Comparison with diastolic T1 mapping, *Radiol Phys Technol.*, 11, 4, 415 – 422, 2018 年 09 月. (査読あり)(公開)
- Kawakubo M, Arai H, Nagao M, Yamasaki Y, Sanui K, Nishimura H, Kadokami T.: Global left ventricular area strain using standard two-dimensional cine MR imaging with inter-slice interpolation, *Cardiovascular Imaging: Asia*, 2, 4, 187 – 193, 2018 年 10 月. (査読あり)(公開)
- Kihyun Kim, Seokjin Hwang, Hwangseung Yu, Yoonseok Choi, Yongsu Yoon, Aleksey E. Bolotnikov, Ralph B. James: Two-step annealing to remove the secondary-phase defects in CdZnTe while preserving the high electrical resistivity, *IEEE Transactions on Nuclear Science*, 65, 8, 2333 – 2337, 2018 年 08 月. (査読あり)(公開)

#### b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Tetsu Nakaichi, Masayuki Sasaki: The impact of respiratory motion and image noise on the accuracy and variability of PET-derived volumetric parameters., 65th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2018 年 06 月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Yuji Tsutsui, Masayuki Sasaki: The Japanese harmonization technology study for multicenter analysis of PET SUV using vendor-neutral software: J-Hart study., 65th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2018 年 06 月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Natsumi Shimokawa, Masayuki Sasaki: The effect of different regions of interest on the quantitative evaluation in amyloid PET images., 65th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2018 年 06 月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Natsumi Shimokawa, Masayuki Sasaki: A comparison and examination of visual and quantitative evaluations in amyloid positron emission tomography., 65th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2018 年 06 月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Saki Kimoto, Masayuki Sasaki: The evaluation of the spatial resolution of  $^{11}\text{C}$ -,  $^{18}\text{F}$ - and  $^{64}\text{Cu}$ -PET images on a clinical PET/CT scanner using Monte Carlo Simulation and

- phantom examination, 65th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2018年06月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Saki Kimoto, Masayuki Sasaki: The influence of time of flight (TOF) information on scatter fraction and the effect of scatter correction on 18F-PET images. 65th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2018年06月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
  - Ayano Shoji, Masayuki Sasaki: A Gaussian filter influenced the evaluation of heterogeneity on PET images, 65th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2018年06月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
  - Natsumi Shimokawa, Go Akamatsu, Miyako Kadosaki, Ayano Shoji, Naoki Hashimoto, Saki Kimoto, Masayuki Sasaki: Influence of regions-of-interest template on the quantitative evaluation of amyloid PET, 第74回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, Japan. (公開)
  - Natsumi Shimokawa, Go Akamatsu, Miyako Kadosaki, Ayano Shoji, Naoki Hashimoto, Saki Kimoto, Masayuki Sasaki: Relationship between visual judgement and quantitative values in amyloid PET, 第74回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, Japan. (公開)
  - Saki Kimoto, Masayuki Sasaki: The evaluation of the spatial resolution of 11C-, 18F- and 64Cu-PET images using phantom examination and simulation, 第74回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, Japan. (公開)
  - Toshiki Takeshita, Masayuki Sasaki: Influence of respiratory motion on radiomics analyses of intratumoral heterogeneity in PET/CT imaging, 第74回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, Japan. (公開)
  - Ayano Shoji, Masayuki Sasaki: Influence of a Gaussian filter on the evaluation of the PET heterogeneity, 第74回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, Japan. (公開)
  - Yabuuchi H, Kamitani T, Kondo M, Sagiyama K, Yamasaki Y, Matsuura Y, Hino H, Tsutsui S, Honda H: Utility of ultra high-resolution CT in quantitative evaluation of airway in chronic obstructive pulmonary disease (COPD) using a QIBA phantom, The 104th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America, 2018年11月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
  - Yusuke Kawazoe, Junji Morishita, Noriaki Ikeda, Miki Okumura, Seitaro Shin, Yusuke Matsunobu, Yoichiro Shimizu, Yongsu Yoon.: Three-dimensional Adjustment in Positioning for Post-mortem Head CT Images., 2018 Korean Society of Radiological Science Conference (KSRSC2018), June 9, 2018, Hyejung, Dongnam Health University, Korea., 2018年06月, Japan. (公開)
  - Yoichiro Shimizu (Oral presentation award), Junji Morishita, Hitomi Nakamura, Yusuke Matsunobu, Yongsu Yoon, Shigehiko Katsuragawa, Hidetake Yabuuchi.: Evaluation of Depiction Ability of Similar Subtraction Imaging., 2018 Korean Society of Radiological Science Conference (KSRSC2018), June 9, 2018, Hyejung, Dongnam Health University, Korea., 2018年06月, Japan. (公開)
  - Yusuke Kawazoe, Junji Morishita, Noriaki Ikeda, Miki Okumura, Seitaro Shin, Yusuke Matsunobu.: Improved Image Observation in Post-mortem Head CT Imaging with Three-Dimensional Positioning Adjustment., 2018 Intersocietal Symposium of the International Academy of Legal Medicine (IALM 2018), 2018年06月, Japan. (公開)
  - 松本和樹, 佐々木智成, 笠井裕貴, 福山幸秀, 寺嶋廣美: Dose Evaluation Indices in Myeloablative Total Body Irradiation Using Static Mode of Helical Rotational Intensity Modulated Radiation Therapy System with Different Numbers of Ports, Diponegoro 大学・九州大学合同シンポジウム, 2019年03月, Indonesia. (公開)
  - 松本和樹, 佐々木智成, 笠井裕貴, 福山幸秀, 寺嶋廣美: Dose Evaluation Indices in Myeloablative Total Body Irradiation Using Static Mode of Helical Rotational Intensity Modulated Radiation Therapy System with Different Numbers of Ports, 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, Japan. (公開)
  - 枝光華奈, 佐々木智成, 松川英明, 平山 亮太, 廣瀬 貴章, 福永 淳一: Intra-fractional Dose Variation of Organs at Risk in High Dose Rate Image-guided Brachytherapy for Cervical Cancer, 第75回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018年04月, Japan. (公開)
  - Tsukasa Kojima, Michinobu Nagao, Takashi Shirasaka, Masateru Kawakubo, Yamato Shimomiya, Yuzo Yamasaki, Toyoyuki Kato, Shuji Sakai.: Hybrid analysis of transluminal attenuation gradient and dynamic 320-detector coronary CT angiography: detection of

functional coronary stenosis, European Congress of Radiology, 2019年03月, Austria. (公開)

- Arai H, Kawakubo M, Sanui K, Nishimura H, Kadokami T.: How to quantify the intramyocardial hemorrhage (IMH) after reperfusion injury: comparison to various semi-automated methods, The 104th Scientific Assembly & Annual Meeting of the RSNA, 2018年11月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Arai H, Kawakubo M, Sanui K, Nishimura H, Kadokami T.: Superiority of systolic T1 mapping with saturation recovery for errors of image registration and identification of myocardium, The 104th Scientific Assembly & Annual Meeting of the RSNA, 2018年11月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Kawakubo M, Fukushima K, Nakao R, Watanabe E, Shimomiya Y, Goto Y, Tadenuma H, Yoneyama M, Nagao M: Vortex flow in left ventricle interrupts efficient ejection: Demonstration by vortex flow map of cardiac cine magnetic resonance imaging, ISMRM 26th Annual Meeting & Exhibition, 2018年06月, France. (公開)

c. 大学・研究機関などの刊行誌なし

d. 調査研究報告

- 藤淵 俊王: 水晶体被ばくの実態と防護, 九州循環器撮影研究会, 29, 23-26, 2019年03月. (公開)
- 中島 覚, 角山 雄一, 桧垣 正吾, 矢永 誠人, 稲田 晋宣, 秋吉 優史, 鈴木 智和, 西 弘大, 藤淵 俊王: 教育訓練の時間と内容に関する報告, 日本放射線安全管理学会誌 17 巻 1号 p42-49, 2018年05月. (公開)

e. 国内学会での講演, 発表

- 上野響生, 佐々木 雅之: Ra-223 の SPECT 画像におけるコリメータ最適化の検討:モンテカルロ研究, 第 38 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 宜野湾市. (公開)
- 関川祐矢, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いた肝内腫瘍に対する<sup>177</sup>Lu の分子イメージングと収集条件の検討, 第 38 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 宜野湾市. (公開)
- 高橋昭彦, 佐々木 雅之: ポジトロンレンジが PET 画像の病変検出能におよぼす影響について:シミュレーション研究, 第 38 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 宜野湾市. (公開)
- 高島彩, 佐々木 雅之: テクスチャー解析を用いた脳ドパミントランスポータ SPECT における集積不均一性評価, 第 38 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 宜野湾市. (公開)
- 庄司彩乃, 佐々木 雅之: ヒートマップを用いた PET 不均一集積とテクスチャー特徴量の関係, 第 38 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 宜野湾市. (公開)
- 木本沙希, 佐々木 雅之: シミュレーションとファントム実験を用いた臨床用 PET 画像の空間分解能の評価, 第 38 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 宜野湾市. (公開)
- 下川夏実, 佐々木 雅之: アミロイド PET の定量評価へ関心領域の違いが及ぼす影響, 第 38 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2018年11月, 宜野湾市. (公開)
- 佐々木 雅之: PET 研修セミナー・医師歯科医師コース 臨床編③「悪性リンパ腫・原発不明癌・炎症その他」, 第 18 回 日本核医学会春季大会, 2018年04月, 東京都. (公開)
- 杜下淳次: 放射線画像自動認識技術の開発と死後画像への応用, 6 回法医学画像研究会, 2019年03月, . (公開)
- 大浦宏二, 杜下淳次, 川添優介, 清水陽一郎, 坂田弥生, ユンヨンス, 池田典昭.: 頭部 X 線 CT 画像から測定する側頭骨含気腔を用いた個人識別に関する基礎的検討, 第 13 回九州放射線医療技術学術大会, 2018年11月10日-11日, 那覇市., 2018年11月, 第 13 回九州放射線医療技術学術大会, 2018年11月10日-11日, 那覇市.. (公開)
- 清水陽一郎, 杜下淳次, 佐々木康夫, 桂川茂彦, 藪内英剛.: 異なる撮影間隔の経時差分画像と比較した類似差分画像の有用性, 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018年10月4日-6日, 仙台市, 2018年10月, 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018年10月4日-6日, 仙台市. (公開)
- 坂田弥生, 杜下淳次, 清水陽一郎, ユンヨンス: 超音波エラストグラフィの色表示に関する新しい評価方法の検討, 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018年10月4

日-6日, 仙台市., 2018年10月, 第46回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018年10月4日-6日, 仙台市. . (公開)

- 清水陽一郎, 杜下淳次, 中村仁美, 松延佑将, Yongsu Yoon, 桂川茂彦, 藪内英剛. : Study on the depiction of similar subtraction imaging., 日本放射線技術学会第74回総会学術大会, 2018年4月12日-15日, 横浜市, 2018年04月, 日本放射線技術学会第74回総会学術大会, 2018年4月12日-15日, 横浜市. (公開)
- 佐々木智成: 教育講演: 肺がん, 日本放射線腫瘍学会第31回学術大会, 2018年10月, 京都国際会館(京都市). (公開)
- 田中延和: 基礎講座「FPDの画像評価法の基礎」, 第6回天神FPD研究会, 2018年5月17日, 福岡市, 浜の町病院. (公開)
- 染矢梨緒, 山下雄也, 田中延和: 臨床条件が乳房撮影の画質評価に及ぼす影響, 第13回九州放射線医療技術学術大会, 2018年11月, 沖縄県男女共同参画センター ている. (公開)
- 山下雄也, 染矢梨緒, 田中延和: 胸部X線画像における散乱線除去処理の有用性の評価, 第13回九州放射線医療技術学術大会, 2018年11月, 沖縄県男女共同参画センター ている. (公開)
- 田中延和: 基礎講座「CRからFPDへー撮影条件設定の基本的な考え方ー」, 2018年11月14日, 福岡市, 浜の町病院. (公開)
- 田中延和: 特別講演Ⅱ「「CT画像と単純X線画像の解像特性評価の基礎」, 2019年3月2日, 第75回CT検討会, 福岡市, 九州大学病院. (公開)
- 河窪正照: 磁気共鳴画像を用いた心筋虚血再灌流傷害の非侵襲的診断法の確立, 第83回日本循環器学会学術集会, 2019年03月, 神奈川県横浜市. (公開)
- 高橋尚充, 白坂崇, 小島宰, 江口葵, 加藤豊幸, 河窪正照: Dual energy CTにおける仮想単色X線画像のコントラスト: 異なる連続X線エネルギーの組み合わせによる比較, 第13回九州放射線医療技術学術大会, 2018年11月, 沖縄県男女共同参画センター ている. (公開)
- 江口葵, 白坂崇, 小島宰, 高橋尚充, 加藤豊幸, 河窪正照: Dual energy CTによる仮想単色画像の空間分解能, 第13回九州放射線医療技術学術大会, 2018年11月, 沖縄県男女共同参画センター ている. (公開)
- 新井英雄, 河窪正照, 江口麻理, 讚井憲一, 西村浩, 門上俊明: 虚血再灌流治療後の心筋内出血に対する息止め3次元T1強調像: 1心拍法と2心拍法のコントラストの比較, 第46回日本磁気共鳴医学会大会, 2018年09月, ホテル日航金沢/金沢市アートホール. (公開)

f. 学会以外での講演, 発表 なし

## 著作

a. 単行本 なし

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- 藤淵 俊王: 医療分野における職業被ばくと放射線防護ー放射線診療従事者の不均衡被ばく管理, 保健物理, 53 (4), 247-254, 2018年12月. (公開)
- 藤淵 俊王: 医療分野における放射線防護のエッセンスー医療放射線防護の考え方, 保健物理, 53 (3), 135 (2018), 2018年10月. (公開)

受賞 なし

報道 なし

## 4. 産学連携活動

### 1. 共同研究

- 杜下, デジタル X 線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究, 富士フィルムメディカル株式会社, 2019 年 03 月～2020 年 03 月, 非公開.
- 杜下, 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究, 放射線画像検査の線量管理システムの開発に関する研究, 2016 年 06 月～2021 年 03 月, 非公開.
- 杜下, 診療放射線技師の業務範囲拡大に伴う下部消化管検査トレーニングファントムの開発, 京都科学, 2015 年 04 月～2019 年 03 月, 非公開.
- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究, 株式会社ナナオ, 2006 年 05 月～2020 年 03 月, 非公開.
- 藤淵, 医療用リニアックからの光子線照射に伴う二次中性子線量計測, 放射線医学総合研究所, 2016 年 04 月～2020 年 03 月, 公開.

### 2. 受託研究

- 藤淵, 放射線防護メガネの遮蔽効果について, 株式会社 エリカ オプチカル, 2019 年 02 月～2019 年 03 月, 公開.

### 3. 取得特許 なし

### 4. 兼業 ※※システムに対応項目なし※※

### 5. 特記すべきその他の技術相談 なし

## 5. 国際交流・協力活動

### 1. 海外出張・研修出張

- 佐々木雅, European Association of Nuclear Medicine (Germany), 国際会議, 2018 年 10 月～2018 年 10 月 (2 週間未満) (公開)
- 佐々木雅, Society of Nuclear Medicine (United States of America), 国際会議, 2018 年 06 月～2018 年 06 月 (2 週間未満) (公開)
- 佐々木雅, World Federation of Nuclear Medicine and Biology (Australia), 国際会議, 2018 年 04 月～2018 年 04 月 (2 週間未満) (公開)
- 佐々木智, Asia-Oceania Congress of Medical Physics (Malaysia), 国際会議, 2018 年 11 月～2018 年 11 月 (2 週間未満) (公開)
- 藤淵, Diponegoro University (Indonesia), その他, 2019 年 03 月～2019 年 03 月 (2 週間未満) (公開)
- 藤淵, City Conference Centre, Stockholm (Sweden), 国際会議, 2018 年 10 月～2018 年 10 月 (2 週間未満) (公開)
- 藤淵, MG Seton Hotel, Semarang (Indonesia), 国際会議, 2018 年 08 月～2018 年 08 月 (2 週間未満) (公開)
- 藤淵, AOCRP 5 at Melbourne Convention and Exhibition Centre (Australia), 国際会議, 2018 年 05 月～2018 年 05 月 (2 週間未満) (公開)
- 河窪, Dongseo University (Korea), 大学・研究所訪問, 2019 年 03 月～2019 年 03 月 (2 週間未満) (公開)
- 尹, College of Health Sciences, Korea University (Korea), 大学・研究所訪問, 2019 年 03 月～2019 年 03 月 (公開)
- 尹, Department of Radiological Sciences, Dongseo University (Korea), 大学・研究所訪問, 2019 年 03 月～2019 年 03 月 (公開)

### 2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

### 3. 留学生の受入れ なし

#### 4. 学生の海外派遣 ※※システムに対応項目なし※※

### 6. 学内行政事務などの担当

#### 1. 全学委員

- 佐々木雅, 医療系統合教育センター センター長. (公開)
- 藤淵, 放射線障害防止専門部会. (公開)

#### 2. 部局委員

- 佐々木雅, 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員. (公開)
- 佐々木雅, 九州大学病院サイクロロン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員. (公開)
- 藤淵, 臨床研究倫理審査委員会. (公開)

#### 3. 部門・コース内委員

- 佐々木雅, 医学研究院保健学部門 入試実施委員会 委員長. (公開)
- 藪内, 入試実施委員. (公開)
- 藪内, 医用量子線科学分野長. (公開)
- 佐々木智, 保健学部門広報委員. (公開)
- 藤淵, 教務委員会. (公開)
- 田中, 学生委員会 委員. (公開)
- 田中, FD 実行委員会 委員. (公開)
- 田中, 地域・国際連携推進委員会 委員. (公開)
- 河窪, FD 委員会. (公開)
- 河窪, 地域国際連携推進委員会. (公開)
- 河窪, 放射線安全管理委員会. (公開)

### 7. 学外での活動

#### 1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木雅, 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師. (公開)
- 佐々木智, 首都大学東京大学院・人間科学研究科, 非常勤講師

#### 2. 学協会

- 佐々木雅, 日本核医学会, 理事, 国内.
- 佐々木雅, 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 佐々木雅, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内.
- 藪内, 日本磁気共鳴学会, その他(代議員), 国内.
- 藤淵, WAZA-ARI 研究開発・運用委員会, その他(WAZA-ARI 研究開発・運用委員会委員), 国内.
- 藤淵, 日本放射線安全管理学会, その他(「放射線施設廃止の確認手順と放射能測定マニュアル」改訂専門委員会), 国内.
- 藤淵, 放射線影響懇話会, その他(世話人代表), 国内.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, その他(企画委員会), 国内.
- 藤淵, 大学等放射線施設協議会, その他(「ラジオアイソトープの安全な利用マニュアル」ワーキンググループ), 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, その他(英語論文誌編集委員), 国内.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, 理事, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 理事, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会九州支部, 理事(九州支部理事), 国内.
- 田中, 公益社団法人日本放射線技術学会, その他(代議員), 国内.
- 佐々木智, Japanese Journal of Radiology, 査読委員, 国内.
- 藤淵, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.
- 藤淵, Isotope News, その他(放射線安全取扱部会 広報専門委員会), 国内.

#### 3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし
5. 公開講座・公開講演会
  - 田中, 「第 16 回九州大学医学部保健学科公開講座 講演「最新の X 線画像検査」, 九州大学医学部保健学科, 九州大学病院キャンパス医学部保健学科棟, 公開講座.
6. 初等中等教育への貢献
  - 田中, 「平成 30 年度大学セミナー「保健学を学ぶ学生とその進路」, 福岡県立明善高等学校, 講演・セミナー等.

### 3-3. 教員の活動：検査技術科学分野



# 検査技術科学分野

## 《生体情報学》

教授	藤本 秀士
教授	栢森 裕三
准教授	水上 令子
講師	小島 夫美子
講師	田代 洋行
助教	安田 洋子

### 1. 教育活動

#### 1. 大学院講義

分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期
保健学研究論	藤本	前期
生体情報解析検査学	藤本	後期
生体情報解析学 I	藤本	前期
生体情報解析学 II	栢森	前期
ヘルスサイエンス論	栢森	前期
国際社会とチーム医療	栢森	前期

#### 2. 大学院実験・実習 なし

#### 3. 大学院演習

生体情報解析検査学演習	藤本	前期
検査技術科学特別研究(栢森教授)	栢森	通年
生体情報機能検査学演習	栢森	前期
保健学特別研究(栢森教授)	栢森	通年

#### 4. 大学院修士課程修了者

白井 美奈	Deep Learnin を用いた尿細胞診画像における検討 Evaluation of Deep Learning for Detection of Malignant Cells with voided urine cytologies (指導教員:藤本)
吉富 史美	ヒト血清アルブミン酸化還元状態を推定する新規分光学的測定法 New colorimetric method for estimation of the redox state of human serum albumin (指導教員:栢森)
近藤 守	二核細胞の増殖能力に関する検討 The Investigation into the Potential of Proliferation in Binucleated HeLa cells (指導教員:栢森)

#### 5. 大学院博士課程修了者

塩津 弘倫	The Influence of Pre-analytical Factors on the Analysis of Circulating MicroRNA (指導教員:栢森)
猪俣 啓子	Identification of Thyroglobulin and its Isoforms as Target Antigens for IgG4 Thyroiditis (指導教員:藤本)

## 6. 学部講義

臨床検査学概論 I	水上	春学期
生物化学分析検査学特論	水上	後期
遺伝子・細胞工学 (分担)	水上	前期
細胞生物学	水上	前期
臨床検査学概論 I	藤本	春学期
臨床検査学概論 II	藤本	春学期
病原体学	藤本	前期
病原体学 I	藤本	前期
病原体学 II	藤本	夏学期
病因・生体防御特論	藤本	後期
臨床検査総論	小島	春学期
寄生虫学	小島	前期
国際感染症学および実習	小島	前期
臨床検査学概論 I	小島	通年
医療安全・バイオリスク管理および実習 (分担)	田代	後期
医用工学・情報概論	田代	前期
臨床検査学 II (薬学部)	栢森	後期
先進臨床検査特論	栢森	前期
臨床化学 II	栢森	前期
検査管理総論	栢森	前期
検査基礎技術	安田	前期
生理機能検査学 I	安田	前期
生理機能検査学 II	安田	前期
生理機能検査学 III	安田	前期

## 7. 学部の実験・実習・演習

生物化学分析検査学特論	水上	後期
遺伝子検査学実験	水上	秋学期
卒業研究 (分担)	水上	通年
医療安全・バイオリスク管理および実習	藤本	冬学期
臨床微生物学および実習	藤本	前期
病因・生体防御特論	藤本	後期
臨地実習 (検査)	藤本	前期
卒業研究 (検査)	藤本	通年
一般検査学および実習	小島	後期
寄生虫学	小島	前期
国際感染症学および実習 (分担)	小島	前期
医用工学・情報概論実験	田代	後期
一般検査学および実習	安田	後期
生理機能検査学実習	安田	後期
生化学・臨床化学実習	安田	後期
生体情報計測学実験	安田	冬学期

## 8. 卒業論文作成者

浦嶋 翔大 迅速簡便法を用いたアガロースゲルからの回収 DNA の制限酵素処理と PCR への適用  
仁田原 知美 組換え DNA 実験に適用可能な DNA 断片の迅速簡便な回収法の検討

吉富 絢子	PCR 法による単一アミノ酸リポーター伸長変異導入法の検討 - 伸長変異体の単離と解析 -
岩崎 遥菜	ヒト好中球での p47phox の食細胞膜移行における p47phox PX ドメインの必要性
増田 桃子	過酸化水素による光触媒 TiO <sub>2</sub> の殺芽胞効果増強の検討
森本 陽子	Bacillus 属芽胞に対する光触媒とフタラルの相乗効果についての検討
紙屋 菜里	細菌芽胞に対する光触媒 TiO <sub>2</sub> とエタノールの相乗効果について
平澤 恵夢	Bacillus subtilis 芽胞に対する光触媒 TiO <sub>2</sub> の殺菌効果の pH による影響
奥村 彩夏	次亜塩素酸ナトリウム添加による光触媒二酸化チタンの枯草菌芽胞に対する殺菌増強効果の検証
野中智行	種特異的プライマーによる <i>Anisakis simplex</i> 同胞種鑑別法
小川泰平	<i>Anisakis simplex</i> sensu stricto に対する種特異的プライマーの有用性
中山 颯	神経細胞に光応答を付与する光スイッチ化合物の合成経路確立
古田 武尊	神経培養細胞を用いた赤外線刺激による神経応答計測系の確立
吉村 隆男	Pyruvate oxidase を利用した血清無機リン測定法の開発
飯野 雄大	尿中 Sarcosine の高感度測定法の開発 -WST-8 による安定性と基礎的条件検討-
後藤 大希	Lp-PLA2 (Lipoprotein-associated-Phospholipase-A2) の基礎的性能評価と臨床的意義
森 圭一郎	金属キレート法 (Nitroso-PSAP) を利用した尿酸測定法への応用
岩本 賢尚	クレアチニンの酵素サイクリング法と金属キレート(Nitroso-PSAP) による高感度測定法

## 9. 研究生

立石 多貴子、眞部 正弘

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

1	食細胞 NADPH oxidase の食作用にともなう活性化機構	水上	
2	トロポニン遺伝子の変異と家族性心筋肥大症	水上	
3	光触媒による殺菌・医療応用	藤本	(公開)
4	感染症の遺伝子診断と分子疫学	藤本	(公開)
5	バイオリスク管理教育の方法および教材の開発	藤本	(公開)
6	病原細菌の感染機構の解明	藤本	
7	アニサキスに関する研究	小島	(公開)
8	アニサキスに関する研究	小島	(公開)
9	人工視覚システムの開発	田代	(公開)
10	ニューロモジュレーションを応用した医療治療機器の開発	田代	(公開)
11	・生体試料中のバイオマーカー並びに酸化ストレスマーカー測定法の開発と臨床応用 ・臨床化学分析の改良と臨床応用に関する研究・臨床検査領域における標準化に関する研究	栢森	(公開)
12	細胞核形態の定量化とパターン認識プログラムを用いたがん組織の判別	安田	(公開)

### 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」治療薬耐性カンピロバクターの実態解明:家畜農場～食卓および疾患までの横断的解析, 藤本(代表), 1200 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」Optical stimulation を用いた BMI の培養細胞による安全性評価, 田代(代表), 800 千円. (公開)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「研究等に対する助成(田代洋行)」ニプロ(株), 田代, 1000 千円.(公開)

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「帝京大学 神経刺激方法の研究開発」田代, 840 千円.(公開)
- 「(株)ニデック 次世代人工視覚システムの研究」田代, 1980 千円.(公開)

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Hiroaki Shigemura, Mari Matsui, Tsuyoshi Sekizuka, Daisuke Onozuka, Tamie Noda, Akifumi Yamashita, Makoto Kuroda, Satowa Suzuki, Hirokazu Kimura, Shuji Fujimoto, Kazunori Oishi, Nobuyuki Sera, Yasuo Inoshima, Koichi Murakami: Decrease in the prevalence of extended-spectrum cephalosporin-resistant Salmonella following cessation of ceftiofur use by the Japanese poultry industry, *International Journal of Food Microbiology*, 274, , 45 - 51, 2018 年 06 月. (査読あり)(公開)
- 野村修平, 田代洋行, 寺澤靖雄, 太田淳: 短期間通電下における脈絡膜上経網膜刺激方式人工視覚用多孔性刺激電極の生体内電気化学インピーダンス特性, *電子情報通信学会技術研究報告*, 118, 321, 55 - 60, 2018 年 11 月. (公開)
- 野村修平, 田代洋行, 寺澤靖雄, 太田淳: 人工視覚システム用多孔性刺激電極の電気化学的特性解析のための等価回路の検討, *電子情報通信学会技術研究報告*, 118, 257, 23 - 28, 2018 年 10 月. (公開)
- Kenji Konishi, Shigeru Ueda, Miki Kawano, Susumu Osawa, Tomohiro Tamura, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori, Shin-ichi Sakasegawa: Characterization and application of a novel nicotinamide mononucleotide adenylyltransferase from *Thermus thermophilus* HB8, *Journal of Bioscience and Bioengineering*, <https://doi.org/10.1016/j.jbiosc.2017.10.017>, 2018 年 04 月. (査読あり)(公開)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kojima Fumiko, Fujimoto Shuji.: In Vitro Penetrability of *Anisakis simplex* Larvae., International Meeting on Emerging Diseases and Surveillance (IMED 2018), 2018 年 11 月, Austria. (公開)
- Fujimoto Shuji, Kojima Fumiko.: Efficient Isolation of Therapeutic Erythromycin-Resistant *Campylobacter*., International Meeting on Emerging Diseases and Surveillance (IMED 2018), 2018 年 11 月, Austria. (公開)
- Fujimoto Shuji, Kojima Fumiko.: Efficient Isolation of Therapeutic Drug-Resistant *Campylobacter*., 17th Asia-Pacific Congress of Clinical Microbiology and Infection 8th International Infection Control Conference (APCCMI 2018, IICC 2018),, 2018 年 09 月, Hong Kong. (公開)
- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima: Efficient Isolation of Therapeutic Erythromycin-Resistant *Campylobacter*., International Meeting on Emerging Diseases and Surveillance 2018, 2018 年 11 月, Austria. (公開)
- Fumiko Kojima, Shuji Fujimoto: In Vitro Penetrability of *Campylobacter* Larvae., International Meeting on Emerging Diseases and Surveillance 2018, 2018 年 11 月, Austria. (公開)
- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima: Efficient isolation of therapeutic drug-resistant *Campylobacter*., 17th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology & Infection, 2018 年 08 月, Hong Kong. (公開)
- Shuhei Nomura, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Yukari Nakano, Jun Ohta: Electrochemical Characterization of Implantable Porous Electrode During Long-Term In Vivo Stimulation Using Electrochemical Impedance Spectroscopy, International Conference on BioSensors, BioElectronics, BioMedical Devices, BioMEMS/NEMS & Applications (Bio4Apps 2018/2019), 2019 年 01 月, China. (公開)

- c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- d. 調査研究報告 なし
- e. 国内学会での講演，発表
  - 山田 恭子, 小島 夫美子, 栗崎 宏憲, 中尾 充男: グリコアルブミンとHbA1cの乖離を認めたことによりサラセミアが疑われた糖尿病患者の一例, 第28回福岡県医学検査学会, 2018年07月, 福岡市 純真学園大学.
  - 永淵正法, 小島夫美子, 藤本秀士, 栗崎宏憲, 吉開泰信, 安西慶三: ヒトウイルス糖尿病感受性遺伝子多型:TYK2 promoter variant (TYK2PV)の同定とその意義, 第92回日本感染症学会学術講演会, 2018年06月, 岡山コンベンションセンター. (公開)
  - 野村修平, 田代洋行, 中野由香梨, 寺澤靖雄, 太田淳: 生体内慢性通電に伴う人工視覚システム用多孔性刺激電極の一定位相要素の変化, 2019年 日本生体医工学会九州支部学術講演会, 2019年03月, 九州大学病院キャンパス・保健学科本館講義棟, 福岡. (公開)
  - 野村修平, 田代洋行, 寺澤靖雄, 太田淳: 短期間通電下における脈絡膜上経網膜刺激方式人工視覚用多孔性刺激電極の生体内電気化学インピーダンス特性, 電子情報通信学会 MEとサイバネティックス研究会, 2018年11月, 京都大学. (公開)
  - 野村修平, 田代洋行, 寺澤靖雄, 太田淳: 人工視覚システム用多孔性刺激電極の電気化学的特性解析のための等価回路の検討, 電子情報通信学会 MEとサイバネティックス研究会, 2018年10月, 東北大学. (公開)
- f. 学会以外での講演，発表 なし

## 著作

- a. 単行本
  - 石崎有澄美, 市村宏, 今西二郎, 神谷茂, 小島夫美子, 槇村浩一, 森内浩幸, 森内昌子: (共著) 看護微生物学 第4版, 2019年03月, 医歯薬出版株式会社. (公開)
  - Takashi Tokuda, Jun Ohta, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa@, John G. Webster (ed.): (共著) Wiley Encyclopedia of Electrical and Electronics Engineering, 2018年05月, John Wiley & Sons. (公開)
- b. 総説 なし
- c. 解説, 書評など なし

受賞 なし

## 報道

- 田代, 朝日新聞, 「視力失った人に光もたらす「人工網膜」 世界で開発続々」, 2018年12月.

## 4. 産学連携活動

### 1. 共同研究

- 田代, 神経刺激方法の研究開発, 帝京大学, 2018年08月~2020年03月, 公開.
- 田代, 次世代人工視覚システムの研究, (株)ニデック, 2018年04月~2019年03月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 藤本, International Meeting on Emerging Diseases and Surveillance (IMED 2018), (Austria), 国際会議, 2018年11月～2018年11月(2週間未満), (公開)
- 藤本, 8th International Infection Control Conference (APCCMI 2018)(Hong Kong), 国際会議, 2018年08月～2018年09月(2週間未満), (公開)

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 藤本, 研究用微生物安全管理委員会 委員. (公開)
- 小島, 研究用微生物安全管理委員会. (公開)

2. 部局委員

- 水上, 馬出地区安全衛生委員会委員. (公開)
- 田代, 九州大学病院 ARO 次世代医療センター百人部会委員. (公開)
- 田代, 医療系統合教育研究センター委員. (公開)

3. 部門・コース内委員

- 水上, 広報委員会. (公開)
- 藤本, 大学院委員会. (公開)
- 藤本, 入学試験実施委員会.
- 藤本, 財務委員会 副委員長. (公開)
- 藤本, 人事委員会・教員活動評価委員会 副委員長. (公開)
- 藤本, 将来計画, 点検, 評価委員会・年報委員会 副委員長. (公開)
- 藤本, 総務委員会 副委員長. (公開)
- 藤本, 分野長(検査技術科学分野). (公開)
- 小島, 卒業研究委員. (公開)
- 小島, 広報委員会委員. (公開)
- 小島, 施設委員.
- 田代, 学生委員. (公開)
- 田代, KITE 連絡員. (公開)
- 栢森, 施設・環境委員会 委員長. (公開)
- 栢森, 大学院委員会委員. (公開)
- 安田, 将来計画委員会・年報委員会 委員. (公開)

## 7. 学外での活動

### 1. 他大学の非常勤講師

- 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師. (公開)
- 田代, ニプロ(株) 技術顧問, . (公開)

### 2. 学協会

- 栢森, 公益社団法人 日本臨床検査同学院主催の「緊急臨床検査士資格認定試験」の主任実行委員, 公益社団法人 日本臨床検査同学院, 学術団体.
- 栢森, 日本臨床化学会・日本臨床衛生検査技師会 「臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師」制度試験ワーキンググループ委員, 日本臨床化学会・日本臨床衛生検査技師会, 学術団体.
- 藤本, 日本細菌学会九州支部会, その他(監事), 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会南日本支部, 評議員, 国内.
- 小島, 日本臨床寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内.
- 栢森, 日本臨床検査自動化学会, その他(監事), 国内.
- 栢森, 日本臨床化学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 医学検査, 査読委員, 国内.
- 栢森, 学会誌「臨床病理」, 査読委員, 国内.

### 3. 官界 なし

### 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 小島, 「福岡県臨床検査技師会福岡地区臨床微生物部門勉強会の講師として講演テーマ:あなたもきっと虜になる! 可愛い卵のオンパレード(実習編)」, 2018-01-01.

### 5. 公開講座・公開講演会

- 小島, 「保健学科で行なっている公開講座<広げよう医療と保健の知識—いまを健康に生きるために—>の公開講座委員として企画、運営、活動に参加。」, 九州大学医学部保健学科, 保健学科棟 5番講義室, 公開講座.
- 安田, 「超音波検査, なにをみてる?」, 第16回九州大学医学部保健学科公開講座. 保健学科本館, 公開講座.

### 6. 初等中等教育への貢献 なし

# 検査技術科学分野

## 《病態情報学》

教授	水野 晋一
教授	勝田 仁
講師	外園 栄作
講師	栗崎 宏憲
講師	藤原 美奈子
助教	渡邊 壽美子
助教	木村 朋子

### 1. 教育活動

#### 1. 大学院講義

病態情報機能検査学	勝田	後期
ヘルスサイエンス論	勝田	前期
病態情報解析学I	勝田	前期
病態情報解析検査学	水野	後期
国際社会とチーム医療	水野	前期

#### 2. 大学院実験・実習なし

#### 3. 大学院演習

病態情報解析学II	勝田	後期
保健学特別研究(勝田教授)	勝田	通年
病態情報機能検査学演習	勝田	前期
検査技術科学特別研究(勝田教授)	勝田	通年
病態情報解析学II	水野	後期

#### 4. 大学院修士課程修了者

永田 光明	健康寿命延伸のためのPDCA方式自己健康管理システムの開発-精確な食塩摂取量評価法と運動プログラムの実施および効果評価の確立- Development of Self-health Care System Applying PDCA Cycle for Healthy Life-span Elongation - Accurate Assessment of Salt Intake and Exercise Program Effect - (指導教員:勝田)
中岡 裕輔	高脂肪食投与下のマウス膵β細胞量増加におけるNKT細胞の役割 An essential role of NKT cells in increase in beta cell mass of pancreatic islets in mice fed with high-fat-diet. (指導教員:勝田)
相原 健吾	マウス腎被膜下移植膵島β細胞量は高脂肪食給餌によって増加する Increase in β cell mass of transplanted islets beneath the kidney capsule of mice fed with high-fat-diet. (指導教員:勝田)
前田 裕亮	蛍光染色を用いたタンパク質発現判定法の検討-シングルセル解析へ- Development of New Method for Expression of Proteins of single cell using Fluorescent Staining (指導教員:勝田)

#### 5. 大学院博士課程修了者 なし



## 6. 学部講義

臨床検査医学総論	勝田	冬学期
生理機能検査学I	勝田	前期
生理機能検査学II	勝田	前期
生理機能検査学III	勝田	前期
臨床免疫学および実習	栗崎	後期
輸血検査学	栗崎	冬学期
組織・病理検査学および実習 II	渡邊	前期
科学の進歩と女性科学者	渡邊	前期
生物化学分析学特論	外園	後期
臨床検査統計学および演習	外園	秋学期
検査生化学	外園	夏学期
生化学	外園	春学期
血液検査学	水野	後期
形態検査学特論	水野	後期

## 7. 学部の実験・実習・演習

生理機能検査学実習	勝田	後期
組織・病理検査学および実習 III	藤原	後期
組織・病理検査学および実習 I	藤原	後期
組織・病理検査学および実習 II	藤原	前期
組織・病理検査学および実習 III	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習 I	渡邊	後期
組織・病理検査学および実習 II	渡邊	前期
生物化学分析学特論	外園	後期
臨床検査統計学および演習	外園	秋学期
検査基礎技術	外園	前期
組織・病理検査学および実習III	水野	後期
血液検査学実習	水野	前期
臨床免疫学および実習	木村	後期
遺伝子検査学実験	木村	秋学期
国際感染症学および実習	木村	前期
血液検査学実習	木村	前期
臨床微生物学および実習	木村	前期

## 8. 卒業論文作成者

加峯 えみり	健康寿命延伸のための PDCA 方式自己健康管理システムの開発 ～早朝尿を用いた食塩摂取量評価法の確立～
寺澤 明穂	健康寿命延伸のための PDCA 方式自己健康管理システムの開発～24 時間蓄尿検体を用いた食塩摂取量推定式～
兵動 聖菜	健康寿命延伸のための PDCA 方式自己健康管理システムの開発 -体組成計による体重・筋肉量・体脂肪率測定精度の検討-
浅井 妙子	健康寿命延伸のための PDCA 方式自己健康管理システムの開発 ～食事療法における食塩摂取量評価法の確立(必要採尿日数の検討)～
今井 佑梨	健康寿命延伸のための PDCA 方式自己健康管理システムの開発～運動プログラムの有用性の検討～
田邊 真優	サラセミア疑い患者における $\alpha$ グロビン遺伝子の解析
杉原 成美	ヒト単球由来樹状細胞における AIRE の発現検討について

細山田理葉	細胞増殖状況と pRB, p27 の核内発現の関連性
今山 和香	CAB を用いた尿中総タンパク測定法の開発
余門 明里	尿中オキシトシンの日内変動に関する研究
金田 華澄	スキルス様浸潤胃癌の p53 蛋白、E-cadherin 蛋白、β カテニン蛋白発現についての検討
小村 佳菜子	スキルス様浸潤胃癌の胃型形質発現 MUC6 と組織分化度についての検討
湯田遼介	CRISPR/Cas9 システムを用いた白血病細胞株における CK2 ノックアウトの試み
末廣 廉	汎用性のある細胞性腫瘍ワクチンの作成を目的とした HLA class I のゲノム編集の基礎的検討
高崎 涼	CRISPR/Cas9 システムを用いた β2-Microglobulin 遺伝子ノックアウトによる HLA クラスI 分子制御の基礎的検討
西村 優花	免疫抑制剤 FK506 不応性の T 細胞作成のための FKBP 遺伝子ゲノム編集の基礎的検討
向窪 七海	免疫チェックポイント分子不応性の T 細胞作成のための PD-1 遺伝子ゲノム編集の基礎的検討

## 9. 研究生 なし

## 2. 学生支援活動

### 1. 学生課外活動指導 なし

## 3. 研究活動

### 1. 主要研究事項

1	自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎	(公開)
2	Deep Learning を活用した細胞診断支援システムの開発	渡邊	(公開)
3	膀胱癌の診断と膀胱注入療法的作用機序解明	渡邊	(公開)
4	癌細胞における細胞形態学	渡邊	(公開)
5	・生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発 ・生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園	(公開)
6	ゲノム編集技術の基礎研究	水野	(公開)
7	腫瘍免疫の誘導法および検査技術の開発	水野	(公開)
8	血液疾患診断への遺伝子解析の応用	水野	(公開)
9	腫瘍・非腫瘍鑑別困難胃粘膜上皮における脂肪滴沈着の意義	藤原	(公開)
10	骨髓異形成症候群細胞株 MDS-L を用いた in vitro における新規薬剤の抗腫瘍効果の検討	木村	(公開)
11	概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発	木村	(公開)
12	ミトコンドリア関連代謝因子の制御を介した新規白血病治療の探索	木村	(公開)

### 2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」膵β細胞における発生および成熟過程のエピジェネティック制御機構の解明, 勝田(代表), 1800 千円.
- 「基盤研究(C)」BCG failure 症例に出現する異型細胞の形態学的・分子生物学的研究, 渡邊(代表), 1000 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」生体試料中の酸化・還元物質の影響を受けない超高感度検出法の開発とその発展性の検証, 外園(代表), 1400 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」造血幹細胞移植への応用に向けた次世代シーケンサーによる新規マイナー組織抗原の解析, 水野(分担), 千円. (公開)
- 「若手研究」概日リズム制御分子を標的とした新規白血病治療薬の開発, 木村(代表), 1600 千円. (公開)

### 3. 学内研究経費の受入れ なし

### 4. 奨学寄付金の受入れ

- 「奨学寄付」中外製薬株式会社, 勝田, 200 千円.
- 「奨学寄付」第一三共株式会社, 勝田, 300 千円.
- 「奨学寄付」MSD 株式会社, 勝田, 500 千円.
- 「奨学寄付」中外製薬株式会社, 水野, 200 千円.

### 5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「関東化学株式会社 ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究」外園, 1000 千円. (公開)

### 6. 受託研究員・研修員の受入れ

### 7. 研究成果の報告

#### a. 学会誌・学術専門誌

- Keiko Inomata, Hironori Kurisaki, Hiroyuki Yamashita, Shinya Sato, Seigo Tachibana, Kennichi Kakudo, Yaqiong Li, Hidenobu Koga, Seiho Nagafuchi: Identification of Thyroglobulin and its Isoforms as Target Antigens for IgG4 Thyroiditis, *Journal of Clinical & Cellular Immunology*, 9, 5, -, 2018 年 10 月. (査読あり)(公開)
- Sumiko Watanabe, Shota Yamaguchi, Naoto Fujii, Natsuki Eguchi, Hitoshi Katsuta, Setsuo Sugishima, Tsuyoshi Iwasaka, Tsunehisa Kaku: Nuclear Co-expression of p21 and p27 Induced Effective Cell-cycle Arrest in T24 Cells Treated with BCG., *Cytotechnology*, , 2018 年 09 月. (査読あり)(公開)
- 下代清香, 渡邊壽美子, 加来恒壽, 桑岡勲, 杉島節夫, 大屋正文: 子宮頸部扁平上皮病変における HPV (human papillomavirus) 感染と細胞像の関連性., *日本臨床細胞学会雑誌*, 57, 5, 251 - 258, 2018 年 04 月. (査読あり)(公開)
- Miki Kawano, Eisaku Hokazono, Susumu Osawa, Shouichi Sato, Takiko Tateishi, Masahiro Manabe, Hirotaka Matsui, Yuzo Kayamori: A novel assay for triglycerides using glycerol dehydrogenase and a water-soluble formazan dye, WST-8, *Annals of Clinical Biochemistry*, , 2019 年 01 月. (査読あり)(公開)
- Shou Terada, Miyuki Sakemoto, Yukiko Kawanobe, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Taeko Hotta, Dongchon Kang, Yuzo Kayamori and Eisaku Hokazono: Establishment of a rapid and simple assay for measuring serum trehalase activity, *Int J Anal Bio-Sci*, 6, 2, 19 - 24, 2018 年 06 月. (査読あり)(公開)
- Kenji Konishi, Shigeru Ueda, Miki Kawano, Susumu Osawa, Tomohiro Tamura, Eisaku Hokazono, Yuzo Kayamori, Shin-ich Sakasegawa: Characterization and application of a novel nicotinamide mononucleotide adenylyltransferase from *Thermus thermophilus* HB8, *Journal of Bioscience and Bioengineering, Japan*, 125, 4, 385 - 389, 2018 年 04 月. (査読あり)(公開)
- Yuka Sato, Masanori Seimiya, Toshihiko Yoshida, Yuji Sawabe, Eisaku Hokazono, Susumu Osawa, Kazuyuki Matsushita: Development of a simple indocyanine green measurement method using an automated biochemical analyser, *Annals of Clinical Biochemistry*, 55, 4, 491 - 495, 2018 年 07 月. (査読あり)(公開)
- Nakano M, Kikushige Y, Miyawaki K, Kunisaki Y, Mizuno S, Takenaka K, Tamura S, Okumura Y, Ito M, Ariyama H, Kusaba H, Nakamura M, Maeda T, Baba E, Akashi K.: Dedifferentiation process driven by TGF-beta signaling enhances stem cell properties in human colorectal cancer., *Oncogene*, , 2019 年 02 月. (査読あり)(公開)
- Hayashi S, Yamaguchi R, Mizuno S, Komura M, Miyano S, Nakagawa H, Imoto S.: ALPHLARD: a Bayesian method for analyzing HLA genes from whole genome sequence data., *BMC Genomics*, , 2018 年 11 月. (査読あり)(公開)
- Tsuyoshi Oshima, Yoshimi Niwa, Keiko Kuwata, Ashutosh Srivastava, Tomoko Hyoda, Yoshiki Tsuchiya, Megumi Kumagai, Masato Tsuyuguchi, Teruya Tamaru, Akiko Sugiyama, Natsuko Ono, Norjin Zolboot, Yoshiki Aikawa, Shunsuke Oishi, Atsushi Nonami, Fumio Arai, Shinya Hagihara, Junichiro Yamaguchi, Florence Tama, Yuya Kunisaki, Kazuhiro Yagita, Masaaki Ikeda, Takayoshi Kinoshita, Steve A. Kay, Kenichiro Itami, and Tsuyoshi Hirota: Cell-based screen identifies a new potent and highly selective

CK2 inhibitor for modulation of circadian rhythms and cancer cell growth., *Science Advances*, 5, 1, -, 2019年01月. (査読あり)(公開)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Eisaku Hokazono, Kouki Hosaka, Masaru Akimoto, Noriko Kawamitsu, Miyuki Sakemoto, Miki Kawano, Takiko Tateishi, Yoshihiro Mizoguchi, Masaru Omori, Taeko Hotta, Dongchon Kang, Yuzo Kayamori: Can urinary Tamm-Horsfall protein estimation predict the presence of a urinary cast?, International Federation of Biomedical Laboratory Science, 2018年09月, Italy. (公開)
- Miki Kawano, Eisaku Hokazono, Masanori Seimiya, Susumu Osawa: Development of Enzymatic Measuring Method of Ethanolamine Phosphate (part 3), International Federation of Biomedical Laboratory Science, 2018年09月, Italy. (公開)

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 三根敬一郎, 栗崎宏憲: 日本人1型糖尿病患者におけるTYK2遺伝子多型と臨床検査値の検討, 第65回日本臨床検査医学会学術集会, 2018年11月, 京王プラザホテル.
- 山田恭子, 小島夫美子, 栗崎宏憲, 中尾充男: グリコアルブミンとHbA1cの乖離を認めたことによりサラセミアが疑われた糖尿病患者の一例, 第28回福岡県医学検査学会, 2018年07月, 純真学園大学. (公開)
- 永淵正法, 小島夫美子, 藤本秀士, 栗崎宏憲, 吉開泰信, 安西慶三: ヒトウイルス糖尿病感受性遺伝子多型:TYK2 promoter variant (TYK2PV)の同定とその意義, 第92回日本感染症学会学術講演会, 2018年06月, 岡山コンベンションセンター. (公開)
- 中司成, 渡辺寿美子, 平井絵梨花, 加来恒寿, 岩坂剛: BCG曝露T24細胞におけるpRbとp21発現の関連性, 第57回日本臨床細胞学会秋期大会, 2018年11月, パシフィコ横浜. (公開)
- 近藤守, 渡邊壽美子, 鶴留えりか, 西村和徳, 加来恒寿, 岩坂剛, 杉島節夫: 栄養状態と二核細胞の細胞周期に関する検討, 第59回日本臨床細胞学会総会 春期大会, 2018年06月, さっぽろ芸文館. (公開)
- 森山拓人, 渡邊壽美子, 軍馬麻紀, 鷺山和幸, 加来恒寿, 杉島節夫: BCG failure症例の自然尿細胞診に出現する異型細胞の形態学的検討, 第59回日本臨床細胞学会総会 春期大会, 2018年06月, さっぽろ芸文館. (公開)
- 前田裕亮, 渡邊壽美子, 藤井直人, 加来恒寿, 岩坂剛, 杉島節夫: BCG曝露によるT24細胞のp21・p27発現における客観的検討, 第59回日本臨床細胞学会総会 春期大会, 2018年06月, さっぽろ芸文館. (公開)
- 渡邊壽美子, 平井絵梨花, 藤井直人, 江口奈津希, 山口将太, 加来恒寿, 岩坂剛: 細胞周期関連タンパク発現からみたBCG膀胱注入療法の効果判定: 実験的考察(ワークショップ), 第59回日本臨床細胞学会総会 春期大会, 2018年06月, さっぽろ芸文館. (公開)
- 吉村隆男, 眞部正弘, 立石多喜子, 松井啓隆, 外園栄作, 栢森裕三: ピルビン酸オキシダーゼを利用した新規無機リン測定法の開発, 第30回日本臨床化学会(第64回日本臨床検査医学会九州地方会合同開催), 2019年03月, 九州大学医学部百年講堂. (公開)
- 吉富史美, 大倉野隼士, 吉弘苑子, 石垣卓也, 立石多貴子, 外園栄作, 栢森裕三: ヒト血清アルブミン酸化還元状態を推定する新規分光学的測定法, 第30回日本臨床化学会(第64回日本臨床検査医学会九州地方会合同開催), 2019年03月, 九州大学医学部百年講堂. (公開)
- 赤田 泰崇, 保坂 洸喜, 川満 紀子, 秋本 卓, 酒本 美由紀, 堀田 多恵子, 康 東天, 栢森 裕三, 外園 栄作: 迅速・簡便な尿中Tamm-Horsfall Protein(THP)測定法およびその臨床的意義の検討, 生物試料分析科学会, 2019年02月, 岡山理科大学. (公開)
- 原口泰典, 東中尾愛, 立石多貴子, 河野弥季, 外園栄作, 栢森裕三: 酵素サイクリング法を用いたクレアチニンの高感度測定法(その4), 日本臨床検査医学会, 2018年11月, 京王プラザホテル(東京). (公開)

- 清宮 正徳, 佐藤 有華, 吉田 俊彦, 澤部 祐司, 外園 栄作, 松下一之, 大澤 進: 生化学自動分析装置を用いたインドシアニングリーン測定法の検討, 日本臨床検査自動化学会, 2018年10月, 神戸国際会議場. (公開)
- 河野 弥季, 清宮 正徳, 外園 栄作, 栢森 裕三, 大澤 進: エタノールアミンリン酸の高感度測定法の開発(第3報), 日本臨床検査自動化学会, 2018年10月, 神戸国際会議場. (公開)
- 後藤 大希, 山浦 沙樹, 酒瀬川 信一, 河野 弥季, 立石 多貴子, 眞部 正弘, 松井 啓隆, 外園 栄作, 栢森 裕三: 新規 Lp-PLA2 測定試薬を用いた Lp-PLA2 の基礎的検討, 日本臨床検査自動化学会, 2018年10月, 神戸国際会議場. (公開)
- 山本祥輝, 吉富史美, 原口泰典, 河野弥季, 立石多貴子, 眞鍋正行, 村井雅樹, 外園栄作, 栢森裕三: 新規ロイコ系色素による生体試料の高感度測定法の研究 その1 色素安定性と基礎的検討, 日本臨床化学会, 2018年08月, 名古屋国際会議場. (公開)
- 吉富史美, 大倉野隼士, 吉弘苑子, 河野弥季, 立石多貴子, 外園栄作, 栢森裕三: ヒト血清アルブミン酸化還元状態推定試薬の改善及び推定方法の構築, 日本臨床化学会, 2018年08月, 名古屋国際会議場. (公開)
- 兵田朋子, 國崎祐哉, 細川健太郎, 廣田毅, 後藤和人, 瀬戸山大樹, 康東天, 新井文用: The circadian modulating drug exhibits an anti leukemia effect through the mitochondrial oxidation, 第80回日本血液学会, 2018年10月, 大阪国際会議場. (公開)

#### f. 学会以外での講演, 発表

水野晋一: がんゲノム医療の現在と未来 一新たな免疫と腫瘍の検査に向けて, ABBOTT BEYOND SEMINAR 長崎, 2019年02月, 長崎大学医学部 坂本キャンパス 良順会館.

#### 著作

##### a. 単行本

- 芝 紀代子, 栗原 由利子, 外園 栄作: (共著) ポケットマスター臨床検査知識の整理 臨床化学, 2019年03月, 医歯薬出版株式会社. (公開)

##### b. 総説

- ・ 水野 晋一: 造血幹細胞の分化と制御, 福岡医学雑誌 109(4): 71-78, 2018.

##### c. 解説, 書評など

- 外園 栄作: いまさら聞けない臨床化学・免疫化学のポイント VII 試薬, 日本臨床検査自動化学会会誌, 2018年09月. (公開)
- 外園 栄作: 生化学・免疫血清検査 誌上相談室生化学検査で血清蛋白と尿中蛋白の測定では測定単位が違うだけなのになぜ違う試薬を使用するのでしょうか?, MEDICAL TECHNOLOGY, 2018年05月. (公開)

#### 受賞

- 渡邊, 「長年に渡る理事等の役職に対して」, 平成 30 年度功労賞, 日本臨床細胞学会九州連合会, 2018年07月.
- 木村, 平成 29 年度学術奨励基金受賞, 一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会, 2018年07月.

報道 なし

## 4. 産学連携活動

### 1. 共同研究

- 外園, ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究, 関東化学株式会社, 2016年07月~2018年06月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

#### 4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

### 5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張 なし

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣

### 6. 学内行政事務などの担当

#### 1. 全学委員

- 勝田, 学生支援センター協力教員.
- 勝田, 学生相談室相談員.
- 勝田, 学生支援委員会・委員.
- 外園, 環境安全管理委員. (公開)
- 外園, 環境安全センター委員会委員. (公開)

#### 2. 部局委員

- 勝田, 九州大学院医研究等動物実験委員.
- 勝田, 医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会・委員.
- 勝田, 九州大学病院糖尿病専門部会・部会長.
- 勝田, 病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会・委員.
- 勝田, 医学研究院等動物実験委員会・委員.
- 勝田, 検査技術科学分野・副分野長.

#### 3. 部門・コース内委員

- 勝田, 財務委員会・委員.
- 勝田, 入学試験実施委員会・副委員長.
- 勝田, 保健学部門入学試験実施委員会・副委員長.
- 勝田, 保健学部門人事委員会・委員.
- 勝田, 保健学部門将来計画、点検・評価委員会・委員.
- 勝田, 保健学部門学生委員会・委員長.
- 水野, 教務委員
- 栗崎, 教務委員. (公開)
- 渡邊, 施設・環境委員会委員. (公開)
- 水野, 地域国際連携・FD委員. (公開)
- 外園, 地域国際連携・FD委員. (公開)

### 7. 学外での活動

#### 1. 他大学の非常勤講師

- 栗崎, 福岡県私設病院協会看護学校, 非常勤講師.

- 栗崎, 純真学園大学保健医療学部検査科学科, 非常勤講師.
- 外園, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師. (公開)
- 外園, 博多学園高等学校(看護科および看護学専攻科), 非常勤講師. (公開)
- 水野, 鹿児島大学大学院歯学総合研究科システム血栓制御学講座 客員教授, 客員教員. (公開)
- 水野, 久留米大学医学部血液・腫瘍内科 客員教授, 客員教員. (公開)

## 2. 学協会

- 外園, 日本臨床検査同学院の主催する試験の九州地区副主任試験実行委員として緊急臨床検査士試験運営に従事., 日本臨床検査同学院, 学術団体.
- 木村, 日本臨床検査同学院の主催する試験の九州地区試験委員として緊急臨床検査士試験に参加, 日本臨床検査同学院, 学術団体.
- 外園, 日本臨床検査学教育協議会, その他(編集委員会委員), 国内.
- 外園, 日本臨床検査自動化学会, 運営委員(科学技術委員会委員), 国内.
- 外園, 日本臨床検査学教育協議会, 評議員, 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 理事, 国内.
- 水野, 日本血液学会, 評議員, 国内.
- 木村, 日本臨床衛生検査技師会, その他(福岡支部遺伝子部門副班長, 血液部門委員), 国内.
- 外園, 生物試料分析, 査読委員, 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 渡邊, 公益社団法人 日本臨床細胞学会, 査読委員, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会, 幹事, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 査読委員, 国内.
- 渡邊, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 編集委員, 国内.
- 渡邊, 福岡県臨床細胞学会, 理事, 国内.

## 3. 官界 なし

## 4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

## 5. 公開講座・公開講演会

- 勝田, 「内分泌糖尿病カレントフォーラム／蓄積するエビデンスを糖尿病の診療にどう活かすか?」, 内分泌糖尿病カレントフォーラム, 福岡市, 講演会・公開討論.
- 勝田, 「糖尿病治療 Update セミナー in 福岡／蓄積するエビデンスを糖尿病の診療にどう活かすか?」, 糖尿病治療 Update セミナー, 福岡市, セミナー・研修会.
- 勝田, 「博多区内科医会学術講演会／糖尿病の最新治療のエビデンス(SGLT2阻害薬)」, 博多区内科医会, 福岡市, 講演会・公開討論.
- 勝田, 「生活習慣病を包括的に考える会／糖尿病患者の包括的治療」, 生活習慣病を包括的に考える会, メディカルシティ天神、福岡, 講演会・公開討論.
- 勝田, 「第19回福岡地区実地医家の為の糖尿病／GLP-1 療法のエビデンスについて」, 日本糖尿病協会福岡県支部, 九州大学百年講堂、福岡, 講演会・公開討論.
- 勝田, 「Primary Health Care 勉強会／糖尿病患者の包括的治療戦略」, 福岡市薬剤師会, 福岡市薬剤師会館、福岡, セミナー・研修会.
- 勝田, 「糖尿病の新しい治療の現状 ～ 最新の知見を取り入れた糖尿病治療への取り組み方～」, 天神クローバー会, メディカルシティ天神、福岡, 公開講座.

## 6. 初等中等教育への貢献

- 栗崎, 「病気発見のプロフェッショナル」, 明治学園中学高等学校, 講演・セミナー等.

## 4. 教員組織および委員会一覧



# ◆教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門 平成30年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教	その他
看護学					
統合基礎看護学	樗木 晶子 諸隈 誠一 平成30年4月1日採用 藤田 君支 中尾 久子 橋口 暢子	濱田 裕子	丸山 マサ美 能登 裕子 宮田 潤子 平成30年4月1日採用 木下 由美子 平成31年3月31日退職 青本 さとみ 松尾 和枝	道面 千恵子 山口 優 酒井 久美子 藤田 紋佳 木原 深雪 潮 みゆき 前野 里子 松本 美晴 平成30年4月1日採用 森口 晴美 平成30年9月1日採用	育児休業H30.9.11～R1.10.21
広域生涯看護学	鳩野 洋子 谷口 初美	川田 紀美子 寺岡 佐和 前野 有佳里	野口 ゆかり	木村 一絵 末次 美子 佐藤 洋子 福田 陽子 平成30年4月1日採用 藤田 貴子 平成30年4月1日採用	育児休業H30.4.1～H31.3.31
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 平成31年3月31日定年退職 有村 秀孝	高橋 昭彦 納富 昭弘			
医用放射線科学	佐々木 雅之 杜下 淳次 藪内 英剛	藤淵 俊王 佐々木 智成		河窪 正照 田中 延和 ユン ヨンス 平成30年9月1日採用	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 平成31年3月31日退職 栢森 裕三 平成31年3月31日定年退職	水上 令子 平成31年3月31日退職	田代 洋行 小島 夫美子	安田 洋子	
病態情報学	水野 晋一 平成30年4月1日採用 勝田 仁		外園 栄作 藤原 美奈子 平成31年3月31日退職 栗崎 宏憲	渡邊 壽美子 木村 朋子	

《保健学部門》 平成30年度部内委員一覧

No.	1	2	3	4	5	6
委員会	総務委員会	将来計画、点検・評価委員会	人事委員会	財務委員会	入学試験実施委員会	学生委員会
合併委員会		年報委員会	教員活動評価委員会	部門長	総務委員会で検討、部門会議で選出	総務委員会で検討、部門会議で選出
委員長	部門長	部門長	部門長	【検】藤本	【放】佐々木	【放】勝田
副委員長	委員長指名	委員長指名	委員長指名	【検】藤本	【放】勝田	【放】有村
看護学	分野長 鳩野	教授 (1) 30.4~32.3 諸隈	教授 (1) 29.4~31.3 藤田		教授 (1) 29.4~31.3 中尾	教授 (1) 29.4~31.3 諸隈 (30.4~)
	分野長 藪内	助教以上 (1) 29.4~31.3 松尾 (30.4~)	助教 (1) 29.4~31.3 杜下		教授 (1) 30.4~32.3 藪内	助教以上 (1) 29.4~31.3 木下
医用量子線科学	分野長 藤本	教授 (1) 30.4~32.3 有村	教授 (1) 29.4~31.3 納富		教授 (1) 30.4~32.3 藪内	教授 (1) 30.4~32.3 有村
	分野長 藤本	助教以上 (1) 29.4~32.3 安田	助教 (1) 30.4~31.3 勝田		教授 (1) 30.4~32.3 勝田	助教以上 (1) 30.4~32.3 田中
検査技術科学	部門長 副部門長 各分野長	(各分野長) (部内) 学生委員会委員長 (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長	(各分野長)	(各分野長) (部内) 地域・国際連携推進委員会委員長 (部内) 施設・環境委員会委員長 (部内) 学生委員会委員長 (部内) 教務委員会委員長 (部内) 大学院委員会委員長 (部内) 広報委員会委員長	部門長 (各分野長)	教授 (1) 29.4~31.3 勝田 助教以上 (1) 30.4~32.3 田代
職指定の委員						

分野から選出する委員

No.	7		8		9		10		11		12	
委員会 合併委員会	教務委員会		大学院委員会		施設・環境委員会		地域・国際連携推進委員会		広報委員会		放射線安全委員会	
委員長	総務委員会で 検討、部門会議で 選出	【放】有村	前年度副委員長	【放】杜下	部門長指名	【検】栢森	前年度副委員長	【看】橋口	総務委員会で 検討、部門会議で 選出	【放】大喜	医学研究院長	住本
副委員長	総務委員会で 検討、部門会議で 選出	【看】藤田	総務委員会で 検討、部門会議で 選出	【看】谷口	委員長指名	大喜【放】	総務委員会 検討、部門会議選 出	【検】水野	委員会で選出	【検】水上	放射線取扱主任者	納富(26.4～)
看護学	教授(1)	29.4～ 31.3	29.4～ 31.3	中尾	29.4～ 31.3	谷口(H30.4～)	教授または准教授(1)	谷口・橋口・川田	教授または准教授(1)	29.4～ 31.3	濱田	/
	講師以上(1)	30.4～ 32.3	30.4～ 32.3	谷口	30.4～ 32.3	能登	助教または講師(5)	宮田、木村	助教または講師(2)	29.4～ 31.3	山口	
医用量子線科学	教授(1)	30.4～ 32.3	29.4～ 31.3	杜下	30.4～ 31.3	大喜(任期1年)	教授または准教授(1)	納富	教授または准教授(1)	29.4～ 31.3	佐々木(智)	29.4～ 31.3
	講師以上(1)	29.4～ 31.3	30.4～ 31.3	大喜(任期1年)	29.4～ 31.3	納富	助教または講師(2)	河窪 田中	助教または講師(1)	29.4～ 31.3	高橋	30.4～ 32.3
検査技術科学	教授(1)	30.4～ 32.3	29.4～ 31.3	栢森	30.4～ 31.3	栢森(任期1年)	教授または准教授(1)	水野	教授または准教授(1)	30.4～ 32.3	水上	/
	講師以上(1)	29.4～ 31.3	30.4～ 32.3	藤本	30.4～ 32.3	渡邊	助教または講師(2)	外園 藤原(平橋)	助教または講師(1)	29.4～ 31.3	小島	
職指定の委員											部門長 放射線取扱主任者【納富(26.4～)】 放射線取扱副主任者【赤坂】H29年度退職 事務部長	

※(部内)教務委員会委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。

※(全学)教育企画委員会委員は、(部内)教務委員会委員長が就任する。

【平成30年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(H29)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	アイソトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会		【放射】 佐々木 教授	2 年	H28.4.1	H30.3.31	講師以上1名	医学研究院から5名(内、保健学から1名)
2	アイソトープ総合センター 病院地区学生実習室運営委員会		【放射】 佐々木 教授	2 年	H28.4.1	H30.3.31	講師以上1名	
3	アイソトープ総合センター 病院地区実験室及び病院地区学生 実習室放射線安全委員会		【放射】 納富 准教授	2 年	H28.4.1	H30.3.31	講師以上1名	
4	アイソトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生 実習室放射線取扱副主任者		【放射】 藤淵 准教授					RIセンターから委嘱依頼有選出の必要なし
5	附属図書館医学図書館運営委員会	部門内教務委員会委員長、副委員長	【放射】 佐々木 教授 ----- 【放射】 有村 教授 (H29.4.1～)	2 年	H27.4.1 ----- H28.4.1	H29.3.31 ----- H30.3.31	教授2名	[部門内]図書委員会は教務委員会と統合→教務委員会委員長・副委員長が兼ねる
6	医療系統合教育研究センター委員会	部門内教務委員長(実質的な任期は1年)	【検査】田代講師 ----- 【放射】佐々木教授 《センター長》 ----- 【看護】橋口准教授	2 年	H29.4.1 ----- H28.4.1	H31.3.31 ----- H30.3.31	保健学部門教員から1名 ----- 保健学部門教員から1名 ----- 保健学部門の教員から1名 (医療系統合教育研究センター兼任教員)	・副センター長 ※センター長は各局選出の副センター長4名から1名が輪番で選出(原則、副センター長経験者から) ★センター長H23-H24 薬 H25-H26 医 H27-H28 歯 H29-H30 保 H31-H32 薬 ・[部門内]教務委員長 →実質的な任期は1年
7	医療系統合教育研究センター ICT活用教育推進専門部会		【放射】高橋 准教授	-	-	-		H26.6～
8	病院地区協議会	【職指定】部門長 ----- 【職指定】 医療系統合教育研究センター長	大喜 教授 (部門長) ----- (保)	-	-	-	部門長 ----- 医療系統合教育研究センター長	医学・歯学・薬学研究院長、生体防御医学研究所長、病院長、保健学部門長、医系学部等事務部長、病院事務部長、医療系統合教育研究センター長及び(オブザーバーとして)副病院長(歯科部門)

番号	委員会名	役職指定等	現(H29)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
9	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】部門長	大喜 教授 (部門長)	-	-	-	部門長	部局長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認めた者
10	総合研究棟管理運営委員会	【職指定】部門長	大喜 教授 (部門長)	2年	-	-	部門長	※4号委員を兼ねる
			【検査】栢森教授					H28.8.1
11	馬出地区職員等用駐車区域委員会		【放射】有村 教授 【看護】前野 准教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	教授1名、准教授以下1名	
12	病院サイクロロン運用・薬剤審査委員会		【放射】 佐々木 教授	2年	H29.10.1	R1.9.30	病院地区所属保健学部門の教員1名	委嘱依頼あり 選出不要
13	病院放射性医薬品委員会		【放射】 佐々木教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	教員1名	委嘱依頼あり 選出不要
14	病院先進医療適応評価委員会		【看護】青本 講師	2年	H29.4.1	H31.3.31	保健学部門助教以上、女性教員	
16	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会		【検査】外園 講師	2年	H28.4.1	H30.3.31	保健学部門講師以上2名(1名は教授とする)	委員会の構成上、H29では女性委員の選出依頼あり。
			【看護】谷口 教授		H29.4.1	H31.3.31		
17	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会		【検査】勝田 教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	
18	病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会		【検査】勝田 教授	2年	H29.4.1	H31.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	
19	医学研究院情報公開委員会	【職指定】 教育研究評議員	大喜 教授 (部門長)	-	-	-	教育研究評議員	年5回程度
			(必要に応じて選出)	-	-	-		
20	医学研究院教員業績評価専門部会	部門長 各分野長	部門長 各分野長	-	-	-	部門長 各分野長	申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている

番号	委員会名	役職指定等	現(H29)委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
21	基礎研究B棟管理運営委員会	【職指定】 ①部門長 ②当該年度施設・環境委員長 ③前年度施設・環境委員長	①部門長 ②【看護】樗木教授 ③【看護】加来教授	-	-	-	※部門長、当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる→実質的な任期は2年	基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について
22	病院運営会議 オブザーバー委員		【看護】樗木教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	保健学部門臨床系教授1名	毎月1回開催
23	安全・衛生委員会		【検査】水上准教授	2年	H28.4.1	H30.3.31		申し出がないかぎり再任 毎月1回開催
24	海外交流センター運営委員会委員		【看護】谷口教授	2年	H29.4.1	H31.3.31		再任可
25	九州大学病院特定認定再生医療等委員会	委員会より指名	【看護】樗木教授 (副委員長)	2年			委員会から指名(保から選出手続き不要)	再任可
26	KITE連絡員		【看護】野口講師 【放射】大喜教授 【検査】田代講師	-	H27.10.1 H22.4.1 H27.10.1			
27	九州大学院医研究等動物実験委員		-	2年	-	-	九州大学院医研究等動物実験委員会内規第3条9号「その他委員会が必	

【平成30年度全学委員会】

番号	委員会	現(H29)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会 (オブザーバー)	大喜 教授 (学科長)	-	-	-	九州大学教育研究評議会規則第6条第1項(学部長の推薦に基づき総長が必要と認める者)	医学研究院における九州大学教育研究評議会委員に関する申合せ(H22.11.10教授会決定)
2	キャンパス計画及び施設管理委員会	(医)					<地区協議会議事長> 医・歯・薬・病・生・保の輪番
3	研究用微生物安全管理委員会	【検査】小島 講師	2年	H29.4.1	H31.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠 ※願わくば、藤本教授、小島講師と交互に担当をお願いしたいとのこと。(H25.12.25)
4-1	放射線障害防止委員会	【放射】藤淵 准教授	2年	-	-		
4-2	放射線障害防止委員会 オブザーバー	【放射】納富 准教授	-	H26.4.1～	-		放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
5	環境保全管理委員会	【検査】外園 講師	2年	H28.4.1	H30.3.31	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題に詳しい教員)	環境安全センター委員会委員を兼ねる ★〔部門内〕施設・環境委員会構成員となる
6	環境安全センター委員会	【検査】外園 講師 (同上)	2年	H28.4.1	H30.3.31	環境安全センター委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会委員が兼ねる(H18年度から)
7	入学試験審議会	大喜 教授(学科長)	-	-	-		保健学科長がオブザーバーとして参加
8	入学試験実施委員会	【看護】中尾 教授	1年	H29.4.1	H30.3.31	九州大学入学試験実施委員会等規程第3条第1項第11号(総長が必要と認めた者若干人)(任期1年)	〔部門内〕入学試験実施委員会委員長
9	入学者選抜研究委員会	【看護】寺岡准教授	2年	H28.5.1	H30.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人)	統計のできる准教授クラス
10	学生支援委員会	【看護】藤田 教授	(2年)	H29.4.1	H30.3.31	学生支援委員会が必要と認めた物若干人	
		【検査】勝田 教授		H29.4.1	H30.3.31	学生支援委員会が必要と認めた物若干人	
11	教育企画委員会	【放射】佐々木教授	(2年)	H29.4.1	H30.3.31	医学系学府保健学専攻又は医学部保健学科から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年

12	基幹教育委員会 (H25.11 新設)	【放射】佐々木教授	(2年)	H29.4.1	H30.3.31	医学系学府保健学専攻の教授のうちから選ばれた者1人	教育企画委員会委員が兼ねる 〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
13	21世紀プログラム専門委員会	【放射】杜下教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として	看護・検査・放射分野の輪番
14	基幹教育実施会議	【放射】佐々木教授	(なし)	H29.4.1	H30.3.31	その他運営会議が必要と認められた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
15	大学院基幹教育実施会議 (H26.1 新設)	【検査】勝田 教授	(2年)	H29.4.1	H30.3.31	その他運営会議が必要と認められた者	〔部門内〕大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
16	全学情報環境利用委員会	【放射】高橋 准教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として	*26.3まで有村准教授
17	ハラスメント等対策委員会	(医) (薬) (病)	2年	H28.4.1	H30.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪番
18	ハラスメント等相談員	(医) (病)	2年	H28.4.1	H30.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として ※H30.4.1~保から選出依頼(住本研究院長より)	医・歯・薬・病・生の輪番
19	加速器・ビーム応用科学センター複担教員	【放射】納富 准教授	なし	H26.4.1~	-		
20	学生相談室相談員	【看護】藤田 教授	(2年)	H29.4.1	H30.3.31	学府・学部の教員(教授、准教授、講師)	〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
		【検査】勝田 教授		H29.4.1	H30.3.31		
21	基幹教育科目実施班員 ※理系ディシプリン科目班 生物専門チーム	【検査】杉島 教授	1年	H29.7.1	H30.6.30	各学部の教員のうちから実施会議が必要と認められた者 会議から指名あり(選出必要なし)	H26新設
22	アイトープ統合安全管理センター委員会	【放射】納富 准教授	2年	H29.4.1	H31.3.31	別表2(6)指定された研究院の教授及び准教授から選ばれた者1人 ※医学として	RIセンター複担教員(放射線科学部)
23	アイトープ統合安全管理センター委員会	【放射】藤淵 准教授	2年	H29.4.1	H31.3.31	別表2(6)指定された研究院の教授及び准教授から選ばれた者1人 ※医学として	RIセンター複担教員(放射線教育部)
24	研究活動基礎支援専門委員会	【看護】鳩野 教授	2年	H28.4.1	H30.3.31	研究活動基礎支援専門委員会要項第3条(5)その他専門委員会が必要と認められた者 委員会から指名(選出必要なし)	



25	九州大学特定臨床研究監査委員会	【看護】 樗木 教授 (副委員長)	2 年			委員会から指名(保から 選出手続き不要)	
26	支線LAN管理者	【放射】 大喜 教授 【放射】 高橋 准教 授	-	H9.4.1～ H27.4.1～			133.5.216.0/24(保健 学科本館)ならびに 133.5.213.0/24(基礎 研究B棟)の管理

平成30年度  
年 報

作成日 : 令和元年9月

発行者 : 保健学部門 令和元年度 年報委員会  
藪内英剛  
樗木晶子・諸隈誠一・野口ゆかり・有村秀孝  
河窪正照・内海健・安田洋子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門  
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1